出品セシ故ヲ、本館ヲ毫モ寃寞ヲ感セサルメンガラス。佛ニ於テハ「クルップ」「ベルタ」「スキーダ」大工場其ノ他露國及ヒ白耳義ノ如キモ館外ニ特別館ヲ設クルメ盛況ヲ見ルニ至レリ。本館内部ノ建築ヲ見ルニ各部門ニ於ケルカ如ク佛國ハ優ニ全館ノ半面積余ヲ占領シ、餘ハ獨逸墺地利、露西亞、伊太利等ニヲ之ヲ分領シ、第二砲兵ニ關スル兵器及ヒ諸材料、第三工兵及ヒ諸材料、第三海上工事其ノ他一般、第四陸海地圖、其ノ他器械類、第五經理部ニ關スル諸材料、第六衛生及ヒ諸材料等ノ六項目ニ分チテ排列セリ。以上ハ皆各國カ使用シツヽアル現世武器其ノ他之ニ關スル諸材料ニ係ルモ倘佛、露、獨ノ三國ハ別ニ館内ニ於テ回顧武器博覽會ヲ設ケ、軍器ノ變遷進歩ヲ示シ、以テ世ノ研究ニ供セリ。彼ヲ本章ヲ別チテ二節トナシ、一ヲ佛國部トシ、他ヲ諸外國部トシ、而シテ各節ト毛之ヲ二項目ニ分チテ現世武器、回顧武器ノ兩部トナセリ。

第一節　佛國出品部

佛國陸海軍兩者カ何故ニ公然出品ヲ拒絶シタルカハ世人ノ怪訝ニ堪ヘサル所ナリ。蓋シ陸海軍ニ於ケル守ルヘキ秘密ノ存スルハ固ヨリ言フ俟タスト雖モ、此ハ機カニ戰時ニ於ケル動員ノ方法、其ノ他一般戰畧等ニ過キス。世人カ是等ニ關スルモノハ必スシモ其ノ出品ヲ豫期スルモノニアラス、然ルニ是等秘密ヲ守ルヘキ二三ノ小部分ヲ除クノ外、各國カ相互ニ常ニ其ノ軍備ノ大要ヲ窺知シ、就中武器ノ如キハ有名ナル各製造所ヨリ各國共ニ供給セラルヽ事故ニ是ノ亦秘密ヲ守ルヘキニアラサルカ如シ。例ヘハ獨逸ハ佛國「クルップ」製造ノ加農式巨砲ノ長所ヲ了得シ、佛國ニ亦彼ノ「クルップ」砲ノ精ヲ知ルニアラスヤ。然ラハ即チ外形ニ顯ハレタル軍備ニ至リテハ毫モ其ノ秘密ヲ守ルヘキノ必要ナシ。故ニヤ佛ノ如キモ一二ノ國立武器製造所ヲ除キ有名ナル「クルップ」等ノ各私立製造所ヨリ盛ニ出品シ、且常ニ諸外國ニ贈多ノ武器ヲ供給スルニ於テヲヤ。然ルニ佛國陸海軍省ハ國立武器製造所、最高工藝學校、其ノ他ノ兵學校ノ出品ヲ禁止シタルカ如キハ何人モ其ノ理由ハアル所ヲ發見スルニ苦シムル所ナリ。若シ夫レ絶對的ニ秘密ヲ守ルヘキモノトセハ何故ニ參謀本部ノ地圖科及ヒ海圖科ヨリ鮮明ニシテ精密ヲ極メタル貴重ノ地圖ヲ出品セシメタルヤ。何ソ前後矛盾ノ甚シキヤ、疑フ者ハ曰ク、是レ陸海軍省ハ國防ノ秘密ヲ日實トシ、以テ近時武器ニ見ルヘキ進歩ナキヲ掩蔽セントカ爲カルヘシト。蓋シ酷評ナラン。如何トナレハ元來彼ハ學理ニ偏スル國ナルヲ以テ百般ノ問題ニ於テルカ如ク武器ノ發明改良等ニ最モ熱心シ、彼ノ潛水々雷艇ノ如キ佛國率先ノ業名ヲ負ヒ、最近ノ發明ニ係ル最大ノ利器ト現ニ其ノ試驗中ナレハナリ。其ノ他連發銃ニ、自動車ノ軍事應用術ニ、然ル「ガトリース」及ヒ「ニクローズ」兩式ノ蒸氣汽罐ニ、孰レモ皆佛國カ近年ニ至リテ發明シ、爰國爭フテ之ヲ採用スルニアラスヤ。然ラハ則チ佛ハ寧ロ世界ニ誇ルヘキ發明多キ國ニアラスシテ、何故ニ公然出品ヲ拒絶シタルカト云フニ、蓋シ陸海軍兩省ハ始メノ出品スヘキ計畫大ルシテ、獨逸カ近世發明セル銳利ノ武器ヲ出品セサルヲ見テ大ニ戒心シタルカ爲ナラン。然ルニ陸海參謀本部ノ精巧ニシテ且鮮明ナル地圖及ヒ海圖ヲ出品シ、各私設工場ヨリモ恐ルヘキ銳利ノ巨砲、銃器ノ見本及ヒ諸材料ヲ出陳セルヲ見ハ、蓋シ其ノ本旨ノ存スル所ヲ解

スルニ苦シム。

現時佛國陸海軍ニ於テ使用スル武器ハ啻ニ本館内ニ陳列スルノ[illegible]ナラス、會場内各部門ニ於テモ必ス其ノ二三ヲ散見スルヲ得、例ヘハ「シャンドマルス」冶金部ニ於テハ榴彈、彈藥罐、「ヴァンセンヌ」附屬會場ニ於テハ自動車ノ出品甚タ多ク、而シテ漸次之ヲ軍用ニ使用スルノ傾向アリ。既ニ今日ト雖モ參謀官、軍團長、師團長、若クハ傳令用トシテ使用シ、或ハ糧食運搬ノ用ニ、或ハ麵麭製造器ヲ設置シテ配付スルノ用ニ供シ、而シテ其ノ速力ハ優ニ汽車ヲ凌駕シ、且進行中自在ニ停止スルヲ得、故ニ今日ハ多ク娛樂、便利上ヨリ之ヲ使用スト雖モ、之カ軍事上ニ適スルヤ否ハ過去ノ問題ニ屬シ、今ハ唯之ヲ戰時ニ採用スル時機ノ問題ナリトス。而シテ之ヲ使用スルノ最モ盛ナルハ佛國ニ若クナク、獨逸モ亦之ヲ陸軍ニ採用スルノ計畫ヲナシツヽアリ。或ハ砲兵カ馬ニ代フルニ此ノ器ヲ以テスルノ時期、近キ將來ニ見ルナキヲ必セス。佛國ノ如キハ啻ニ軍事ノ[illegible]ナラス盛ニ消防用ニ供シテ其ノ利ヲ享ク大ナリ。是ヲ以テ本博覽會中「ヴァンセンヌ」公園ニ於テ共進會ヲ擧行シテ其ノ優劣ヲ審判シ、又巴里市内、近縣若クハ遠距離間ノ競爭會ヲ行ヒ、盛ニ之ヲ奬勵セリ。更ニ社會經濟館（パレーデニコンクレー）ニ到レハ青年人育會ニ關スル各種ノ材料アリ。其ノ會ノ目的ハ佛國青年ノ發育ヲ計ルノ趣旨ナルカ故ニ、小銃ノ使用法ヲ始メトシ、大砲、短銃、又ハ弓弩ノ使用法ヲ教授シ、而シテ其ノ教師ハ陸軍舊下士官ヨリ之ヲ採用ス。是亦間接ニ軍事ニ關スルノ問題ナリトス。要スルニ會場内到ル處直接ニ、間接ニ、軍事ニ關係スル諸材料ヲ散見セサルハナシト云フテ可ナリ。

(二)現世使用武器

現世使用武器ハ前ニ述ヘタルカ如ク六項目ニ別テ、第一ハ砲兵及ヒ其ノ諸材料ニ、此ハ第百十六類ニ屬スルモノニシテ其ノ項目左ノ如シ。

(一)第百十六類

(一)砲熕製造所及ヒ兵器製造所ノ材料及ヒ製作法

(二)陸軍用火砲及ヒ彈丸

(三)海軍用火砲及ヒ彈丸

(四)火器

(五)彈藥及ヒ爆裂藥

(六)火藥及ヒ火藥製造

(七)白刃類

(八)陸軍砲兵材料及ヒ車輛

(九)海軍砲兵材料及ヒ車輛

此等陸海軍ニ使用スル火砲、彈丸、彈藥及ヒ爆裂藥、兵器製造所ノ使用スル材料及ヒ其ノ製作法等ヲ陳列スルナリ。今各出品ニ付逐一之カ説明ヲナスニ先タチ、各出品ヲ瞥見シタル一二所感ニ付テ述ヘル所アラントス。即チ前面ノ大博覽會ニ際シテハ彼ノ無煙火藥ナルモノ未タ普ク世間ニ知悉セラレサリシニ、今ヤ各强國競フテ之ヲ使用シ、而シテ此ノ火藥ノ偉大ナル强力ニ耐抗シ得ヘキ適當ノ金屬ヲ發明シタル冶金學者ノ續出スルト、現今各國ニ於テ使用スル爆裂

藥ニ比スレハ更ニ一層ノ強力ナル爆裂ノ發明アリテ遂ニ理化學ノ進歩ヲ致スカヲ疑フ可カラス。此ノ發明ハ千八百八十九年ノ博覽會ノ當時業ニ已ニ案出セラレ、爾來今日ニ至ルマテ冶金學者及ヒ理化學者ノ心膓ヲ練リタルノ結果、此ノ如ク一方ニ於テハ強力ナル無煙火藥ヲ製スルヲ得、他方ニ於テハ「ニッケル」「滿奮」灰色(グローム)金等ノ配合ヲ以テ強力ナル鋼ヲ鑄製スルヲ得タルハ近キ十年間ノ事實ナリトス。以上ハ佛國西部ニ重ヲナル大工場ヨリ出品セラレタル兵器ニヨリテ之ヲ徴スルコトヲ得ヘシ。就中「クルーゾー」「フォルジュド、コンマントリー」及ヒ「サン、シモン」等ノ大工場ヲ以テ主トナス。今ヤ佛國西部ヲ見ルニ「カイッユ」工場ヨリ出品シタル長サ十二「メートル」半、口徑三十二「サンチメートル」ノ巨砲、又ハ之ヨリ一層大ナル加農式巨砲アリ。此ノ大砲ノ發射スル彈丸ハ二十「キロメートル」乃至三十「キロメートル」ノ遠距離ニ達シ、而シテ口徑四百〇六「ミリメートル」ノ巨砲ノ如キハ實ニ三十五「キロメートル」ニ達スト云フ。果シテ然ランニハ英佛カ海峽ヲ隔テヽ兵ヲモ動カサスシテ互ニ相砲擊スルヲ得ンカ。又小形ノ大砲ニモ種々アリ、或ハ砲臺專用ノモノアリ、或ハ艦内砲塔ニ据付クヘキモノアリ。又或ハ野砲若クハ山砲アリテ是等ハ皆其ノ機具解除組立簡捷自在ナリ。「ルプス」ノ如キ深山幽谷ニ行軍スルニ當リテハ、騾馬脊ヲ以テ之ヲ運搬スルヲ得テ甚タ便利ナリトス。又速射砲ノ見本各種アリテ或ハ旋回速射砲、或ハ「ホッキス」式速射砲、機發速射砲等アリ。小銃及ヒ見本モ亦夥シク出品セラレ、其ノ傍ニハ各形各種ノ彈丸ヲ並列シ、海軍使用ノ榴彈ノ如キハ高サ六「メートル」ニモ火砲ニ關スル各種ノ材料等ヲ陳列セラレサルハナシ。爆裂藥モ亦各性質ノモノアリテ執

リモ自下佛國陸海軍ニ於テ使用スル所ノ見本下ニ。此ノ館ニ於テハ最モ重モナル物品ノ陳列トス。就中軍用自動車ハ最近ニ至リテ初メテ軍事ニ應用セラレタルモノニシテ、其大ナル此ノ點ニ注意スルモノ淺カラス。「アンセルメ」會場ニハ無數ノ出品アリト雖モ此ノ場内ニモ亦各用途ノ自動車ノ出品アリ。其ノ三至ル迄著シキモノヲ擧レハ、軍用傳信自動車、軍糧輸送自動車、馬秣輸送自動車、其ノ他陸軍省自ラノ自動車モ今ヤ軍事上必要品トシテ公認セラレ、佛國ニ於テハ諸强國ニ先チテ之ヲ軍事ニ應用シ、獨逸ハ目下非常ナル熱心ヲ以テ之カ試驗中ニアリ。英國亦決シテ後レヲ取ラサルヘシ、彼カ今ヤ「トラクション、ヴァトル」ヲ無數ノ自動車ヲ造リテ盛ニ之カ應用ヲナセリ如キ、云フ。總覽人ハ自語スラク何故ニ速ニ馬匹ヲ廢シテ之ヲ砲兵ニ用サルヤト、今更ノ如ク公衆ノ注意ヲ惹カリ。

私設兵器製造所ニシテ巴里ニ本店ヲ構ヘ、其ノ近郊ニ五個ノ大工場ヲ有シ、最モ有益ナル出品アリシタル會社アリ。此ノ會社ハ「ソシエテー、アノニム、ドラシセーズ、デ、ミエッション、トランスポール、ド、チー、エ、ド、ゲール」ト稱ス。元來佛國ハ國立兵器製造所アリテ、陸軍省ハ公然其ノ出品ヲ拒絶シタルカ故ニ、目下佛國ハ如何ナル點ニテモ火器ノ改良發達ヲ來セシヤヲ公然窺知スルヲ得サルハ甚タ遺憾アリト雖モ私設會社ハ世界ニ需用ヲ求ムルノ必要アリ、各自競フテ鋭利ノ武器ヲ出品セリ。前述ノ會社ノ如キハ則チ其ノ一トス。此ノ會社ハ自己ノ出品ノ正確ナルヲ證明セシカ爲ニ種々ノ方

法ヲ計畫シ、材料ヲ陳列スルト同時ニ、其ノ製作方法ヲモ示スノ勞ヲ執レリ。但シ此ノ會社ハ諸外國ノ兵器製造會社カ常ニ慣用セル大業ナル外觀ノ裝ヲナサス、唯自己製造ニ係ルモノ一個ツヽノミヲ出品シ、而シテ製造ノ正確ヲ示サントシテ、特ニ四區ニ分劃シテ之ヲ明ニセリ。第一區劃ニ於テハ既往百年間ニ於ケル武器ヲ陳列シテ其ノ變遷ヲ示セリ。即チ火石銃(フユジー、アルビエール)ヲ使用シタル時代ヨリ、降テ小口徑ノ連發銃ヲ使用スル今日ニ至ルマテノ火器ヲ陳列シ、且彈藥筒ノ如キモ其ノ小ナルモノニ至リテハ六「ミリメートル」半ノモノアリテ、其ノ種類三十以上ヲ陳列セリ。第二區劃内ニハ製造機械ノ正確ヲ示スヘキ種々ノ證明並ニ口徑ヲ計ル尺度ノ機械等ハ各小模型ヲ作リテ陳列セリ。第三區劃ハ同會社ノ從來之ヲ使用シ且目下各邦國ニ於テ使用シツヽアル、各口徑ニ適應スル種々ノ彈藥筒ヲ出品セリ。中ニハ十二「ミリメートル」内外ノモノアリ、又晩近佛國ニ於テ發明シタル自動短銃(ピストレー、チートマチック)用ノ見本アリ、第四區劃ニハ小銃用彈丸匣、旋回大砲自動大砲用ノ彈丸匣、爆裂彈匣及ヒ各種類ノ爆裂彈等ノ出品ナリ。

此ノ會社ハ二個ノ工場ヲ有シ、「ムーリノォー」工場ニテハ主トシテ各種ノ大砲ヲ製造スルニ足ルヘキ加工金屬品ヲ製造シ、工場ノ廣サ七「ヘクタール」職工ハ平時ニアリテハ千三百乃至千六百人、「プリュエール、ド、セーヌ」工場ハ主トシテ爆裂彈ヲ始メ其ノ他ノ彈藥製造ヲ專トシ、工場ノ廣サ三「ヘクタール」半ニシテ職工ノ數、平時三百人乃至四百人ナリ。此ニ特筆スヘキハ二十年乃至三十年間勤續スル職工ノ數、百七十五人ノ多キニ達シ三十年以上ノモノ實ニ百十人ヲ踰ユノ事ナリ。以テ此ノ會社カ如何ニ職工ヲ優待スルカヲ知ルコトヲ得。抑各製造會社カ老練ナル技師ト職工トヲ要スルハ固ヨリ言ヲ須タスト雖モ、就中兵器製造ノ如キハ充分ナル經驗ヲ有スルモノヲ要シ、此ノ經驗ハ短日月間ニ得ヘキニアラス、故ニ諸強國カ共ニ精密ナル器械ノ製造ヲ希望スルモ常ニ困難ヲ感スル所以ハ熟練ナル技師ト職工トノ得易カラサル點ニ在リ。此ノ両工場共ニ多クハ機械ヲ以テ製造シ、手工ノ應用ハ漸次減少シテ今日ハ唯纔カニ機械ノ運轉上ニ使用スルニ過キス。以上ハ出品ノ重要タルモノニシテ其ノ餘一々之ヲ詳說セスト雖モ、軍機ノ秘密ニ關スル材料ノ外ハ一トシテ出品セラレサルノ兵器ナシ。假令佛國ノ陸海軍カ出品セサルモ各兵器製造會社カ此ノ如ク相競フテ出陳セルヲ以テ、仍陸海軍ノ出品ヲ要スルハ所謂望蜀ノ類カ。佛國陸海軍ノ爲ニ辯スル者ノ言ヲ聞クニ曰ク佛國ニ於ケル近時ノ發明品ト改良ヲ施シタル二三ノ點ハ日尚淺ク未タ世ニ發表スルノ機會ニアラスト。要スルニ本館内ニ見ル佛國以下ノ各國出品ニ係ル武器ハ己ニ人ノ知悉セルモノヽ見本ニ外ナラスシテ、唯双互ノ間ニ於ケル優劣ノ競爭ニ過キナルナリ。

(二)第百十七類　陸軍工兵及ヒ其ノ所屬勤務ニ屬スル項目ヲ擧クレハ左ノ如シ。

(一)工兵材料

(二)鐵道布設

(三)殖民地ニ於ケル鐵道線路ノ調査及ヒ其ノ敷設

(四)佛國及ヒ殖民地ノ兵舍法

(五)電氣及ヒ電氣ノ應用

(六)軍用氣球科
(七)電信及ヒ電話科
(八)橋梁

是等ニ關スル出品ハ軍事ノ點ヨリ論スルトキハ其ノ重要ナルコト前者ニ讓ラス、殊ニ出品者ノ多クハ平常陸海軍兩省ニ材料ヲ供給セル會社若クハ一私人ノ製造所ニ係ル。就中殖民地ニ布設スル鐵道ノ雛形ノ如キ觀ルニ足レリ。此ハ佛國工兵士官ノ研究ノ結果、案出セラレタルモノトス。橋梁モ亦工兵士官ノ案出ニ係リ、解組自在ニシテ極メテ輸送ニ便ナルモノアリ。其ノ他佛國內及ヒ殖民地ニ設クヘキ兵營ノ雛形、軍事上各方面ノ用途ニ充ツヘキ電氣機械、軍用輕氣球ノ如キハ各種ノ形狀アリ。佛國陸軍ハ此ノ點ニ付テハ諸外國中一日ノ長タルモノナリ。「盲障(ターボ)トナルヘキ覆鑊頂(ブレンデー)形」ハ「セメント」ヲ以テ築造シ、敵ノ進軍ヲ支障シ又ハ重要ナル防禦工事ヲ成スニ當リテ之ヲ用ウ、其ノ巧妙ナル世人ノ賞賛ヲ得タリ。

軍用電氣ノ器械及ヒ輕氣球ノ如キハ近年殊ニ各種ノ研究ヲ怠ラス、軍用輕氣球ハ最モ近年ニ至リテ改良セラレ、其ノ出品ハ「ムードン」ノ輕氣球管所長「ルナール」少佐ノ監督スル輕氣球ノ外尙一私人又ハ輕氣球私立團躰ヨリ種々ノ形狀ヲ異ニセルモノヲ出品シタルハ、一旦緩急ノ際應用スヘキモノニシテ、工兵科用トシテ最モ重要物ナルヲ示セリ。電氣ノ適用ハ漸次大ニ擴張セラレ、或ハ探海ニ、或ハ搜索用ニ其ノ他防禦ニ其ノ便頗ル多岐ニ亘リ、嚮キニ北米合衆國ト西班牙國間トノ戰爭ニ於テ盛ニ之ヲ應用シ、其ノ有効ナルヲ是認セリ。此ニ於テ乎今回佛國ノ「ソ

ーテル、チ、アルレー」「バルビエ、ヅナル」二工場ヨリハ緻密精巧ノ有力ナル電氣器ノ見本ヲ出品シ、又電信及ヒ電話ノ機械ヲ裝置シ、尙軍用無線電信機ヲ裝シテ特ニ巴里市內ニ支局ヲ設ケ、以テ之ト通信ヲナシ、廣ク之カ應用ヲ示シテ公衆ノ感賞ヲ博セリ。以上ノ出品ヲ以テ之ヲ見ルニ武器ノ改良發達ト共ニ工兵科ニ及フ任務ノ益擴張セラルヽコトヲ知ルヲ得ヘシ。往時ニ在テハ對壕坑道、點火、野外築城工事、橋梁道路、鐵道等ノ諸工事ヲ以テ重要ナル任務トナスニ過ヘサリシカ、今モ無線電信ニ、電話ニ、軍用鳩使用法ニ、輕氣球ニ、其ノ運用ヲ辨ヘ進テ電氣學ヲモ研究セサルヘカラスシテ、將來尙益軍器ノ改良發達ヨリ生スル戰術ノ變更ニ基キ彌任務ノ錯雜スルヲ想見スルニ至レリ。

(三)第百十八類ハ海上工事、水事作業、水雷等ニ屬シ其ノ項目ヲ擧クレハ即チ左ノ如シ。

(一)軍艦
艦躰及ヒ其ノ附屬品、起動及ヒ蒸汽機械其ノ附屬品、艤裝料
(二)兵器製造所ノ器具及ヒ製品
(三)電氣ノ應用
(四)水事作業
(五)攻擊及ヒ防禦水雷
(六)學校圖面寫眞
(七)海上救助

此ノ項目ニ關スル材料ノ陳列ニシテ是レ亦海軍省ヨリハ出品ナク、何レモ私設造船所又ハ私設兵器製造所ヨリノ出品ニ過キスト進モ、佛國ニ在テモ諸强國ト同ク重要ナル造船所ハ何レモ私設ナルカ故ニ敢テ出品ノ價値ニ輕重アラサルナリ。其ノ重ナル出品ノ會社種々アリト雖モ就中「ソシエテー、デ、フォルジュ、エ、シャンチエー、ド、ラ、メヂテラネー」「コンムパギニュ、デ、アットリエー、エ、シャンチエー、ド、ラ、ロワール」等ノ諸會社ヲ以テ主トス。出品ノ最大部分ハ一般世人ニ解シ難キモノニシテ寧ロ斯道者ノ參考ニ資スヘキモノタリ。而シテ斯道者ハ前回ノ博覽會ニ出品シタル諸材料ヲ記臆スルナラシ、實ニ陸海武器ノ改良進歩ハ千八百八十九年以來今日ニ至ルマテ僅々十年間ニ於テ顯著ナル發達擴張ヲ見ル。殊ニ海軍事業ニ關スル進歩甚タ壯大ナリトス、試ニ十年前ニ比スレハ殆ト隔世ノ感アリ。畢竟是レ各國トモニ其ノ海軍ヲ擴張シ、或ハ創設セシ爲メ、巨費ヲ吝マス、軍艦ノ新造及ヒ水電艇等ノ發明ニ資セリ。實ニ千八百八十九年以來造船事業ノ繁昌ト其進歩ハ先人ノ夢想タモ及ハサル所トス。

本部ニ於ケル出品ノ重要ナルモノヲ擧クレハ第一ニ指ヲ蒸汽機關ニ屈セサルヘカラス、而シテ佛國ヨリ出品シタル機關ハ中外ノ最モ屬目シタル處ニシテ大ナル面積ヲ有シ、水雷艇用ノ蒸氣機關トシテハ「ノルマン」式アリ、戰鬪艦若クハ裝甲巡洋艦等ノ如キ大艦又大郵船ノ機關トシテハ「ミルヴィル」式アリ、運送船用ノ機關トシテハ「ニクロース」式アリ。皆船躰ニ因リテ用途ヲ異ニシ、今日世界ニ於ケル蒸氣機關中最良トシテ稱賛セラレ、彼ノ海上ノ覇權ヲ握リ世界ニ雄飛スル英國海軍ニ在テスラ其ノ軍艦ニハ佛國「ミルヴィル」式ヲ採用シ、且英國ニ於テ昨今建造シタル我諸戰鬪艦朝日、敷島等ヲ首トシ其他多クノ裝甲巡洋艦ハ皆「ミルヴィル」式機關ヲ採用シタルヲ觀ルニ彼レカ今日機關ノ最良タルヲ知ルニ足ル。近時ニ至リ英國一二ノ新聞紙ハ盛ニ「ミルヴィル」式ヲ攻擊スルモ「ミルヴィル之ニ答ヘテ「是レ粗脫ナル頭腦ヲ有スル英人カ精巧緻密ナル佛國式機關ヲ操縱スル能ハサルニ坐スルノミ」ト曰ヘリ。何レカ是、何レカ非ナルヲ知ラスト雖モ現ニ各國競フテ之ヲ採用スルノ點ヨリ見ルトキハ未來ハ知ラス今日ニ於テハ最良ノモノタルヲ疑ハス。而シテ此ノ「ミルヴィル」式ハ前回博覽會ノ時ニ於テハ未タ今日ノ如ク改良セラレサリシ、然ラハ即チ之ヲ以テ既往十年間ノ進歩ヲ代表スルモノト謂フヲ得ヘシ。聞ク處ニヨレハ以上敍述セル近世蒸氣汽罐ハ大ニ石炭ノ消費ヲ節約スルコトヲ得ト云フ。又各種ノ金屬ヲ以テ混成シタル鋼ノ製造法ヲ發見シタルカ故ニ、從前ノモノニ比スレハ同シ厚サノ金屬板ヲ以テ製シタル盲障ノ如キハ今日三倍以上ノ抵抗力ヲ有セリ、即チ三倍以上ノ保護力ヲ有スルモノナリ。又軍艦內ニ据付タル砲塔掩護ノ如キモ亦此ノ鋼ヲ以テ製セハ三十五十四若クハ七十「ミリメートル」ノ厚サニ於テ充分ニ砲士ヲ保護スルコトヲ得、一言セハ冶金學ノ進歩ノ爲ニ艦躰ノ保護力ヲ增加シ、若クハ艦躰ノ重ヲ減スルコトヲ得タリ。以上ノ材料ハ皆本部ニ出品セラレタリ。其ノ他砲塔ト共ニ各種ノ巨砲「十乃至十六「サンチメートル」ノ速射砲ヲ併置ス。軍艦ニ付テハ各造船所ニ於テ造リタル各種ノ雛形ヲ出陳セリ。現ニ博覽會ノ當時進水サレタル我カ一等甲裝巡洋艦吾妻號ノ雛形ノ如キモ陳列セラレタルヲ見ル。水雷艇ニ付テハ普通水雷艇、水雷驅逐艦及ヒ潛水々雷艇ノ見本雛形無數ニ並列セラレ、其ノ秘密ヲ守ルヘキ要部ノミハ或

ハ之ヲ蔽ヒ或ハ之ヲ除脱シテ示サヽリシカ故ニ之カ全躰ヲ窺知スル能ハサリシハ甚タ遺憾トスト雖モ此ノ如キハ各國皆然ラサルハナシ。

右潜水々雷艇ニ殆ト十年前ヨリ佛國ニ於テ熱心ニ研究シ、電氣機關及ヒ蓄電氣ヲ裝置シ、一時最モ困難ヲ感シタル一定ノ深サニ船躰ヲ水中ニ維持スルコトヲ發見シ、近時漸ク其ノ目的ヲ達シタリト云フ。又此ノ部ニ於テ著シキモノハ近時電氣力ヲ艦内ニ應用スルノ實益進歩セル狀ヲ顯ハシタルコト是ナリ。彼ノ水壓力ノ作用ニ因リテ砲塔及ヒ巨砲ヲ運轉セシムルコトヲ發見シタル當時ハ世呼テ海軍ノ一大發達ナリトナシタリシカ、是レ十年前ノ往時ニ屬シ今日ハ電氣力ヲ以テ之ニ代ヘ砲塔、巨砲ノ運轉ハ勿論、巨大ナル諸機械、通風器、喞筒、若クハ柁ニ至ルマテ悉ク電氣力ニヨリテ運轉セラル。是レ亦本部ニ於テ近年ノ進歩ヲ證明シ得タリ。此ノ他、水事工業等ニ關スル種々ノ出品アリト雖モ要スルニ以上記述シタル品類ヲ以テ本部ノ重要ナルモノトス。

(四)第百十九類　地圖科、海圖科、各種ノ器具

(一)陸軍地學部

測地、地理圖、地形圖、標高圖、視力機械、精密機械、寫眞機械、陸軍典籍、

(二)海軍水路部

海圖、科學用器械、航海用器械、海軍典籍、

本領ハ製圖作業、即チ正確ナル機械ニヨリテ海陸軍ニ關スル測地學及ヒ地形學上ノ發達ヲ來シタル材料幷ニ其ノ結果ヲ蒐集シタル場所ナリ。則チ此ノ部ニ於テ最モ感嘆スヘキ出品ハ佛國陸軍參謀官ノ著作シタル梯尺八万分一ノ佛蘭西地圖是レナリ。此ノ地圖ハ千八百十八年ニ着手シ千八百八十年ニ脱稿シ、其ノ後二十年間ノ研究ヲ經テ充分ノ修正ヲ加ヘタルモノニシテ多少ノ批評アルモ佛蘭西國地圖ノ最モ精密ナルモノトス。其ノ他著色佛國地圖ハ梯尺二十万分ノ一ノ地圖並ニ五万分ノ一ノ地圖「アルジェリー」及ヒ「チュニジー」ノ地圖等ハ最モ顯著ナルモノニシテ尚「マダガスカル」及東京(トンキン)ノ地圖アリ。是等皆陸軍省ノ出品ニ係ル。海軍水路局ヨリ出品セル各種ノ測量圖及ヒ沿岸ノ要點ヲ示シタル地圖甚タ多シ。以上諸地圖ノ外、測地若クハ測海用ノ各種ノ器具及ヒ此ノ事業ノ方法ヲ示シタル諸材料ヲ出品セリ。此ノ測量器具ハ近年ニ至リ最モ改良セラレタルモノニシテ内外ノ稱賛ヲ博シタリ。尚軍事用ノ寫眞器具、眼鏡等アリ。就中「クレルモン、ユエ」氏ノ出品シタル兩眼鏡「オーブリー」氏ノ出品シタル測丈器等ニ於テハ最モ人目ヲ引ケリ。此ノ他海陸軍兩省ヨリハ軍事ニ關スル書籍ヲ出品シ、而モ其ノ多クハ孰レモ兩省ニ籍ヲ置クモノヽ手ニ依リテ著作セラレタルモノナリ。而シテ地圖及ヒ之ニ關スル諸機械ハ獨リ此ノ部ノ陳列ニ止マラス、第三部(文學、科學)ノ十三、十四、十五ノ三類ニ陳列セラレタルモノ甚タ多シ。又豫備士官ノ團躰ヨリハ各種ノ馬具、武器、及ヒ騎藝用ノ諸材料ヲ出品シタリ。

(五)第百二十類　經理部

(一)陸兵、船員及ヒ海兵ノ被服、軍裝、寢具、陣營具及ヒ廠舍器具

(二)經理部用各種ノ機械及ヒ器具

(三)糧食

野戰用ノ麵麭貯蓄食料品食料品ヲ保存スル裝置

(四)樂器

(五)裝蹄馬具類

(六)遠洋漁業

陸海軍經理部ノ主タル目的ハ被服及ヒ糧食ヲ供給スルニアリテ、其ノ要務ノ頗ル複雜ニシテ且多端ナル軍事上重要ナルニモ拘ハラス他ノ局部ニ比スレハ其ノ動作ノ外形上ニ顯ハルヽモノ少シ、隨テ本部ノ出品モ亦二三ヲ除カハ世人ノ注目ヲ引クモノ少キハ敢テ怪シムニ足ラサルナリ。例ヘハ糧食被服馬具鞏秣等ノ供給ニ關スル諸材料ノ說明即チ一箇年ニ消費スル未成品或ハ既成品ノ總價額二億二十八百萬法、而シテ是等製作ノ諸工場ノ組織ノ如キハ注意審按スルニアラスンハ何人ノ目ニモ入リ易カラス軍事上最モ困難ノ業ニ屬ス。假ニ絨ノ供給ヲ以テ之ヲ例センニ今日佛國軍隊ニ於テ使用スル品類ヲ百九種ニ分チ、內八十九種類ハ兵士用絨二十種類ハ下士用絨又海軍ニ必要ナル絨ハ八種類アリ。其ノ他五十萬ノ常備兵ヲ養フノ困難ナル狀況到底此ニ記述シ盡スヘキニアラス。

此ノ部ニ於テ何人ノ眼目ヲ出品中最モ重ナルモノヲ擧クレハ、陸軍御用商人カ協同シテ現今佛國軍隊ニ於ケル番兵科ノ服裝等ヲ示サンカ爲ニ上軍團長ヨリ下兵士ニ至ルマテノ百個

以上ノ實物大ノ活人形ヲ作リテ出陳シタルモノニシテ「パノラマ」ヲ以テ「アルプス」山ノ風光ヲ遠景トシ山麓ニ野營ヲ展開シ騎馬ノ軍團長ヲ傍ニハ傳令士官手綱ヲ控ヘテ其ノ命令ヲ受ケ、惟幕ノ內ニハ三人ノ參謀官地圖ヲ繙キテ戰略ヲ議シ、騎兵ハ遙カ彼方ニ聞ユル砲聲ニ向テ走リ、軍醫ハ今ヤ擔架ヲ以テ運ヒ來リシ負傷兵ヲ手術シ、輜重兵ハ軍糧ヲ各隊ニ配付シツヽアリ其ノ光景歷々眞ニ迫リリ。換言スレハ百餘個ノ活人形ノ舞臺ヲ以テ各兵科ノ服裝、位階裝具野營野戰病院及ヒ糧食等ニ關スル動作ヲ示シタルモノニシテ、博覽會中此ノ活舞臺カ正シク壯觀ヲ極ナリトス。前回ノ大博覽會ニ於テモ御用商人ヨリ種々ノ出品アリシモ、今回ノ如キ大仕掛ハ一モアルカシ。此ノ如キ方法ヲ以テスルトキハ無味淡泊ナル經理部ノ作業ヲ示スコト蓋シ困難ナルヘシ。此「パノラマ」光景ノ傍ニハ糧食供給ニ關スル種々ノ出品アリテ人ヲシテ二層理解ニ便ナラシメタリ。其ノ一ハ麵麭製造ノ諸材料ノ陳列ニシテ此ノ製造材料ハ竈、煉粉器及ヒ諸種ノ附屬品ヨリ成レリ。是レ容易ニ移動シ得、且分解自在ナルモノナリ。今此出品セラレタル材料ヲ大別シテ二種トカシ、一ハ運行竈他ハ分解自在ナル竈ニシテ、瑞典伊太利ニ於テ專ラ使用セリ。佛蘭西及ヒ境地利ノ軍隊ニ於テモ之ヲ用ヰ分解自在ナル竈ニ至レリト云フ。其ノ他野菜及ヒ肉類ヲ凍冷保存スル人器具アリ、此ハ艦隊ニ於テモ此ノ方法ヲ採用シ、從前ノ如ク數千ノ動物ヲ運搬スルノ煩累ヲ省クニ至レリ。又常ニ戰陣中最モ困難ヲ感シタル野菜類ニ於テモ此ノ方法ニヨリテ常ニ兵士ニ供給スルコトヲ得即チ野菜類ハ或ル技術ヲ以テ乾燥シテ一種ノ罐詰トシ、之ヲ食ス

ルニ當リテ依然青色ノモノヲ味ヒ得ルナリ。尚軍隊用音樂器、馬具、遠洋漁業ニ關スル諸材料ノ出品アリ。其ノ他開期中本館ト「ヴァンセンヌ」會場トノ間ニ於テ屢〻軍用鳩ヲ放チテ公信ヲ行ヒ以テ出品ノ一トセリ。

(六)第百二十一類、衛生及ヒ衛生材料

(一)平時及ヒ野戰ニ於ケル陸軍衛生勤務、負傷者輸出ノ材料及ヒ方法

(二)海軍衛生勤務、負傷者輸送ノ材料及ヒ方法

(三)負傷者救護會

(四)漉水器其ノ他水ヲ清淨ナラシムル裝置

此ノ部ニ出品セラレタル諸材料ニヨリテ世人ハ軍隊ニ行ハルヽ衛生ヲ理解シ、父兄ハ其ノ子弟ノ入營ニ付テ大ニ安堵スルヲ得タリ。前回ノ博覽會ニ於テハ大家「パストウール」ノ發明ニ係ル衛生用ノ機械及ヒ外科用ノ器械ヲ出品セシト雖モ、當時世界各國其ノ學理ヲ信スルモ未タ其ノ應用ヲ實地ニ施サヽリシニ、今ヤ既ニ佛國ニ於テ此ノ種ノ器械ヲ製作シテ之ヲ實地ニ應用シタルカ故ニ「パストウール」發明ニ係ル衛生學ノ恩澤ニ浴スルモノ蓋シ佛國軍隊ヲ以テ最先トナス。大仕掛ノ漉水器、新式ノ消毒機、蒸氣機及ヒ噴霧機等ヲ採用シタルモノハ軍隊病院ヲ以テ初トス。是等ノ衛生器及ヒ醫術器械ハ皆本館ニ陳列セラレタリ。且目下佛國ニ設立セル三個ノ赤十字社ヨリモ出品セリ。其ノ一ハ佛蘭西貴婦人協會(會頭「フーシル、ド、カイツユ」令婦人)其ノ二ハ佛國婦人協會(會頭「ヨクロン、シュワルツ」婦人)其ノ三ハ負傷兵救護會(會頭「ダヴー」將軍)等ノ各赤十字社ハ移動病院、通常病院、野戰病院ノ小模型、外科用及ヒ衛生用ノ器具、擔架等ノ一切ヲ出品シ、其ノ他一私人ヨリモ亦各種ノ衛生用器械ヲ出陳シテ此ノ場ノ光彩ヲ添ヘタリ。以上本館内ニ陳列セラレタル公私ノ武器出品ニ付キ説明ヲ畢レリ。

(七)「クルーゾー」兵器製造所特別館

本館ハ陸海軍館ト商業航海特別館トノ間ニ位シ、一半ハ「セーヌ」河畔、他ノ一半ハ鐵道線路上ニ建築セラレ、全館ヲ蔽フニ船艦ノ甲殼材料タル鐵板ヲ以テシ、之レヲ塗ルニ赤色ヲ以テセリ。高サ二十七「メートル」内部ノ直徑四十三「メートル」其ノ狀圓形ニシテ恰モ鉢ヲ倒ニセルカ如シ。「ケー、ドルセー」方面ニハ二十四「サンチメートル」ノ巨砲數門ヲ裝置シ、宛然艦内ノ砲塔若クハ隱顯砲塔ノ如キノ觀アリ。而シテ館ノ頂ニハ直徑十二「メートル」ノ軍艦檣樓ヲ設ケ、此ノ檣樓ノ頂上ハ地上ヨリ四十「メートル」ノ高サニ及フ。此處ニモ亦數個ノ速射砲ヲ裝置シ全建築ノ材料四百噸ノ重量タリ。遠ク之レヲ望メハ威風凜々恰モ「セーヌ」河岸ノ防禦砲臺カト怪マル。實ニ「クルーゾー」會社ノ建築ニ耻チサルモノト謂フ可ヘシ。

「クルーゾー」製造所ハ「ソーヌ、エ、ロツール」縣内ニアル人口二萬五六千ノ一小都會ニ設ケラルヽモ、啻ニ佛國第一ノ武器製造所タルノミナラス、獨逸「クルップ」製造所ト匹敵スヘキ歐洲ニ於ケル一大製造所タリ。現時ノ社長ハ「シネイデル」氏ニシテ近年「ロワール」ノ鍛鐵工場ト合併セシ以來、益業務ヲ擴張シ、廣ク内外各強國ノ武器製造ヲ引受ケ、殊ニ加農式大砲ト水雷艇ノ構造トヲ以テ名アリ。此ノ製造所ノ特長ハ武器ノ製造ニアリト雖モ又鍛鐵、鍛鋼、電氣、鑛山及ヒ諸建築ノ諸材

料ヲ製造シ其ノ供給莫大ナリ。本特別館ニ出品シタル其ノ重要ナルモノヲ擧ク[illegible]砲塔内ニ裝置セラルヘキ二十四「サンチメートル」ノ砲、四十五口徑ノ大砲、十五「サンチメートル」及ヒ三十四「サンチメートル」ノ沿岸榴散砲「シネイデル、加農」式十五「サンチメートル」ノ榴散砲「ハイドロブスマチック」大砲、其ノ他砲底、彈丸等ノ見本及ヒ雛形ニシテ一々枚擧ニ遑アラス。而シテ唯武器ノミナラス、最速力ノ蒸氣機關車「チュイル」式ノ出品ヲ見タリ。此ハ二百噸ノ列車ニテ一時間ニ百二十「キロメートル」(我三十里ニ當ル)ノ距離ヲ馳セ、電氣機關車ハ緩坂路ニシテ三百噸ノ列車ヲ一時間ニ四十乃至五十「キロメートル」(我十里乃至十二里)ニ達スヘシ、其他一万七千百馬力ノ强力ヲ有スル「クレベル」式ノ原動器見本ノ如キ總テ本館内ノ壯觀タルモノトス。其他尚其出品ノ多キ算フルニ堪ヘス。

元來佛國ハ前ニ叙述セルカ如ク官立武器製造所及ヒ鍛鐵工場ヲ有スト雖モ、其ノ秘密ニ亘ラサルモノハ「クルトゾー」工場ニ命スルヲ以テ常トス。蓋シ官立ニ比スレハ其ノ價格廉ナルカ故ナリ。然ルニ尚官立武器製造所ヲ有スル所以ノモノハ、私立ニ比シ軍機ノ秘密ヲ守リ得ヘキヲ以テナリト云フ。

(二) 武器回顧博覽會

佛國ハ本陸海軍館内ニ英雄紀念室ヲ設ケ以テ既往ニ於ケル英雄ノ靈魂ヲ祭リ、一ハ以テ將來ニ於ケル青年ヲ鼓舞スルノ具トナシタリ。陸軍大臣ハ千八百九十七年六月廿二日付ノ達ヲ以テ「陸海軍器回顧博覽會」ニハ現今ノ軍隊ニ於テ既ニ不必要ニ屬スル機械、器具及ヒ其ノ方法ト佛國陸海軍隊ノ歷史ニ關スル參考物品及ヒ諸材料ヲモ包含ス」ト蓋シ前回ノ大博覽會ニ於テ武器回顧博覽會ノ設ケアリシモ、當時ハ戰場ニ緣ミアル物品ノ陳列ヲ主トシタリ。今回ハ委員長「エドワール、ドタイッ」氏ノ考案ニ基キ、物品ヨリモ寧ロ佛國ニ偉蹟ヲ遺セル英雄豪傑ノ歷史ヲ公衆ノ腦髓ニ浸染セシムルヲ以テ主旨トナシ、之カ爲ニハ佛國ノ各博物館、或ハ其ノ子孫カ祖先ノ遺物ヲ保存セルモノヲ蒐集シテ此ノ諸材料トナシタルカ故ニ何人モ一タヒ足ヲ此處ニ入ルレハ儼然トシテ襟ヲ正サヽルハナシ。

王政時代ノ陳列ニ充テタル二個ノ室内ニハ有名ナル戰場畫家「オラス、ヴェルネー」ノ傑作タル「サックス」「コンデー」「チュレンス」「シュシェー」ノ諸大將及ヒ米國ノ獨立戰爭ヲ援助シタル「ラ、ファイット」其ノ他有名ノ將士ノ肖像ヲ掲ク。孰レモ温容ニシテ沈勇ノ態度ヲ彰セリ又有名ナル畫家「ダヴィド」ノ手ニ成レル那翁一世ノ肖像「デュピュフ」ノ傑作タル「ヴィクトル」ノ肖像「ツロー」ノ畫キタル「ミュラー」ノ肖像等ハ其ノ畫ケル者畫カレタル者共ニ當代ノ名家タリ。其ノ他那翁一世ニ從テ歐洲ノ野ヲ蹂躙シタル「ネイー」「ダヴー」「スウール」ノ三大將等ノ像ヲ並立ス。今此等ノ肖像ニ於ケルヨリモ尚一層深ク感ヲ與フルモノヲ此等將軍ノ有セシ紀念物ナリトス。彼ノ「スウール」將軍ノ屢々戰場ニ於テ進軍ノ號令ニ使用シタル長劍、那翁一世ヨリ賞與トシテ贈ラレタル「ヴィクトル」大將ノ戰場携帶ノ指令劍「マランゴ」ノ激戰ニ於テ那翁一世ノ着用セシ藍色外套ノ切片及ヒ那翁一世ノ眞筆書翰「ワグラム」戰場ニ於テ「ラザル」ノ燻セシ煙管「ベレシナ」河ノ寒氷ノ爲メ「ボーラン」大尉ノ隱囊中ニ運轉ヲ止メタル懷中時計、那翁三世カ「ソルフェリノー」ノ戰爭ニ於テ千八百五十九年六

廿廿四日墺軍ヲ撃退シタル當時ニ用ヰタル眼鏡、馬鞍、手綱、邪翁一世ヨリ「ドウーヲー」將軍ニ贈與シタル指令劍、其ノ他革命時代及ヒ第一帝政(那翁一世ノ時代)時代ニ於ケル軍隊各兵科ノ服裝ヲ陳列シ、尚「アルヂェリー」遠征ニ從軍セシ諸勇士ノ紀念品等一見感慨多シ而シテ佛國人トナク外國人トナク殆モ此ノ館内ニ入ル者ノ帳然大息ニ堪ヘサルモノハ不世出ノ英雄タル那翁一世カ遠懐千秋「セント、ヘレナ」島ニ孤囚ノ終焉ヲ遂ケタル後猶シ歸リタル「襟飾リ」又彼カ歐洲ノ野ヲ驅逐シタル當時常ニ被レル軍帽及ヒ彼レカ最モ親昵シタル近衛兵第一及ヒ第二「タルナディエー」聯隊ニ屬セル聯隊旗ナリトス。此ノ近衛聯隊兵ハ當時佛國ニ於ケル最精鋭トシテ稱セラレ、那翁一世ニ從テ各所ニ轉戰シ、毎ニ大偉功ヲ奏シテ列國ノ恐ルヽ所タリ。今回顧博覽會ニ陳列セラレタル無數ノ紀念品ノ由來ヲ詳說セン、ヨリハ寧ロ此ノ一軍旗ニ付テ語ルヲ愈レリトス。如何トナレハ此ノ軍旗ハ那翁「ボナパルト」カ將ニ帝位ヲ退カントスルニ際シ「フォンテーヌブロー」宮殿ノ袂別ヲ惜ミ抱持シテ放タサリシ無限ノ紀念物タレハナリ。

第二節　各國部

本博覽會各部門ニ於ケルカ如ク諸外國モ亦本陸海武器館ニ出品セリト雖モ其ノ陳列他館ニ比スレハ少シク不備不整頓ノ憾アリ。蓋シ他部門ニ於テハ佛國ノ如ク各部類毎ニ出品スルモ此ノ武器館内ニ於テハ或ハ甲ノ部類ニ出品シテ乙ノ部類ニハ之レヲ見ルコトナシ。故ニ到底秩序的ニ說明スル能ハサル況ヤ二ノ邦國ヲ除ク外ハ其ノ出品大同小異悉ク擧示スルノ必要

(一)　露西亞

各國中最モ武器ノ出品ニ意ヲ用ヰタルハ露國ニシテ當ニ本館内ニ於テ重要ナル大區域ヲ占メタルノミナラス、尚近傍ニ於テ特別館ヲ設ケタリ。抑本館露國部ニハ陸軍省ヨリハ工兵ニ關スル諸材料ト經理及ヒ軍事衛生ニ關スル夥多ノ材料ヲ出品セリ。其ノ經理部ヨリハ今茲ニ「ラス」第三世ノ半身像ヲ出シ、其ノ周圍ニハ實物大ノ活人形ヲ以テ、目下露國軍隊各兵科ノ軍裝ヲ顯ハセリ。即チ「コザック」騎兵、步兵、工兵等ノ風俗ヲ示シ、就中「コザック」騎兵ノ如キハ最モ能ク「ラシア」人種ヲ代表スト云フヘシ。海軍省ハ軍艦用ノ燈明器一切、砲兵ノ材料、軍艦用ノ探海電氣、小蒸氣、短艇、怒洋艦、戰鬪艦ノ模型並ニ巨大ナル沿岸砲數門ヲ裝置ス。工兵隊ヨリハ或ハ寫眞、或ハ雛形ヲ以テ各工兵隊ノ管轄ニ於テ施行シタル事業ヲ示表セリ。現ニ軍用輕氣球隊ハ「佛國萬國」博覽會ニ於ケル風船ヲ吊シ、輕氣隊士ニ擬シタル活人形ヲ之ニ乘セタリ。此ノ風船ハ千八百九十七年佛國前大統領「フェリックス、フォール」ガ「クラスネ、セロ」ニ赴キシ時其ノ面前ニ於テ始メテ大空ニ擧ケシモノナリト云フ。軍事衛生ヨリハ内科及ヒ外科ニ於ケル戰時及ヒ平時ノ準備、病者ノ統計表等ヲ出品セリ。其ノ他鐵道ノ材料兵學校ノ組織等陳列セラレサルハナシ。

特別館ハ露西亞ノ北部ニ産スル木材ヲ以テ「ケー、ドルセー」内本武器館ノ對方、英國「マキシム」特別館ノ傍ニ設ケラレ、其ノ出品ハ砲兵ニ供給スル材料、兵器製造所ニ於テ製造スル諸武器等ニシテ、要スルニ露國現時砲兵ノ形勢ヲ知ルニ足ルモノタリ。即チ館ノ入口ニハ巨大ナル二個ノ沿岸防禦砲ヲ裝置セル隧顯砲塔、十二「アース」大砲ノ砲塔ハ共ニ彈裝其ノ他運轉等皆水壓機ヲ以テ之ヲ成セリ。是ハ聖彼得堡ノ「ノベル」工場ニ於テ製造シ、大佐「ドウールラシェー」氏ノ考案ニ基キタルモノナリ。其ノ他野戰砲、砲臺砲、攻城砲等ニ用ヰル各種ノ彈丸ヲ陳列ス。殊ニ著シキハ六「アース」ノ野戰臼砲用ノ砲塔トス。此ハ將軍「アンジェルハルト」氏ノ考案ニ依リテ築造セラレタルモノニシテ「キエゾ」ノ兵器製造所ヨリ出品シタルナリ。之ヲ見ルモ如何ニ露國カ大口徑ノ野戰臼砲ヲ用ヰルカヲ知ルヘキナリ。其ノ他莫斯科感ハ「セストロレツスク」等ノ武器製造所ニ於テ作リタル各種ノ武器及ヒ大砲、各種ノ小銃、銃劍、彈藥、彈藥製造ノ統計、其ノ他ノ軍糧ヲ出品シ、殆ト戰場ニ於テ同盟與國ニ有力ナル援助ヲ與フヘキ材料ハ千ト雖テ陳列セラレサルハナシ。尚兵學校ヨリハ各科ノ敎育、組織等ニ關セル諸材料、最近ノ案出ニ係ル軍事上有効ナル諸器械、寫眞及ヒ石版事業ノ一般「ホトリトグラフィー」「ユリタグラフィー」ニ「アース」大尉ノ著作タル中央亞細亞ノ精密ナル地圖ヲ出陳シ「ロボロスキ」大尉ノ遠征家、探險家ノ經過セシ通路ヲ示セリ。其ノ他波斯國內ニ於ケル地圖ノ如キ大ニ稗益ヲ與ヘタリ。

露國現世ノ武器ニ於テハ以上ノ如ク熱心以テ出品セリト雖モ武器回顧博覽會ニ於テハ唯四

人ハ活人形ヲ以テ往古ノ騎兵ノ服裝ヲ示シタルノミ。

(三)獨逸

獨逸國部ハ如何ナル事由ニ依ルカ近世ノ武器トシテハ大砲ハ勿論、小銃ト雖モ一ノ出品スルモノナク人ヲシテ殆ト千八百七十年以來改良發造ヲ來セシ器武ナキカト怪シマシムルニ至リヲ。然ニ本武器館內ニ於テハ獨逸軍隊現今ノ裝具、服裝糧食、野戰病院ノ組織ニ至ルマテ到底之ヲ見ル能ハサルナリ。然レトモ最近ノ改良タル「モゼル」銃、近年「クルップ」工場ニ於テ製造シタル遠射砲及ヒ自動連彈砲ノ如キハ假令獨逸政府ハ之ヲ世ニ示スヲ憚カルト雖トモ、其ノ何物タルヲ知ラサルノ邦國ナシ。要スルニ獨逸ハ陸海軍用ノ大砲及ヒ小銃其ノ他ノ兵器ハ出品セスト雖モ模型軍艦ノ陳列ハ頗ル多シ。是等ノ模型及ヒ出品材料ニ因リテ之レヲ徵スルニ海運事業ノ盛ナルコト佛國ヲ凌駕シ、今ヤ將ニ英國ト拮抗セントスルノ勢アルヲ知ルヘシ。此ノ模型ニ英國ト雖モ模型軍艦ノ陳列ハ頗ル多シ。是等ノ模型及ヒ出品材料ニ因リテ之レヲ徵スルニ海運事業ノ盛ナルコト佛國ヲ凌駕シ、今ヤ將ニ英國ト拮抗セントスルノ勢アルヲ知ルヘシ。此ノ模型出品其ノ過半ヲ占ム。就中特ニ進歩ヲ顯ハシタルモノハ清國政府ノ需ムニ應シテ築造シタル巡洋水雷艇ナリトス。此ノ艇ハ二個ノ機關ヲ備ヘ、必要ノ場合ニ於テハ個々ニ分レ各自其ノ働キヲナスモノニシテ馬力ノ總數ハ二萬四千、一時間二十五海里ヲ疾走スト云フ。清國ハ此會社ハ供給ニ依リテ目下世界ニ伏テ第一ノ速力アルモノ四隻ヲ有セリ。又同會社ノ出品ニ係ル「ニコラエフ」二世下稱スル裝甲一等巡洋艦ハ露國ノ依賴ニ應シ又「アラン、ッョー、セフ」皇帝號ト稱スル海防甲鐵艦ハ墺地利ノ需メニヨリテ築造シタルモノニシテ、何レモ獨逸國近來海軍ノ進歩

ヲ示スモノト云フヘシ。其ノ他光線ノ作用ニヨリテ提寫スル器械ノ出品アリ。而シテ是ハ先年佛國ニ於テ發明シタルモノニシテ唯佛ノ發明ヲ採テ以テ之ヲ軍事ニ應用シタルニ過キサルカ故ニ特ニ世人ヲ驚カスニ足ラサルナリ。以上ハ獨逸出品ニシテ海軍ニ關スル重要ノモノトス。

各國中武器回顧博覽會ニ出品シタルモノハ僅カニ露國及ヒ獨逸ノ二國ノミトス。而シテ獨逸ノ部ハ頗ル壯麗ニシテ技術ノ精巧ト、仕掛ノ大トヲ以テ佛國出品部ニ於ケル(第百二十經理部)陸軍御用商人ノ出品ニ係ル現世各兵科ノ服裝ヲ示シタル一大パノラマ」ト相對シ、與ニ本館ニ於ケル偉觀トス。獨逸ハ千六百八十年ヨリ千八百六十三年ニ至ルマテノ獨逸及ヒ普魯西軍隊ノ服制ヲ示シタル活人形二十二個ヲ並列セリ。皆實物大ニシテ其顏貌ハ有名ナル彫刻家「バウル、ヴェーネル」氏ノ製作ニシテ或ハ銃ヲ肩ニスルモノ、或ハ劍ヲ手ニスルモノ或ハ騎馬セルモノ等アリテ大凡之ヲ以テ各時代ノ服裝ヲ識別スルコトヲ得セシメン。然ト雖モ是等ノ武器陳列內館ニ於ケル出品トシテハ敢テ利益アリト云フヲ得ヘカラサルモ博物館ノ陳列品トシテハ偉觀タルヲ失ハス聞ク所ニヨレハ今帝カ博覽會開場後伯林府ニテ博物館ヲ設ケテ之レヲ保存セシムルノ意ヲ以テ特ニ製作セシメタルモノナリト云フ。

(三)英國其他ノ諸國

英吉利、北米合衆國、墺地利、伊太利、白耳義其他ノ邦國皆本館內ニ多少ノ出品ヲ見サルハナシ。就中英吉利及ヒ白耳義ノ二國ハ本館ノ前面ニ方リテ特別館ヲ設ケタリ。此ノ英國館ハ「マキシム」

製造所ノ建築ニ係リテ軍艦ニ模擬セリ。其ノ內部ニハ「アームストング」「マキシム」砲其ノ他戰鬪艦、巡洋艦、水雷艇等ノ縮少模型ヲ出品セルコト其ノ數夥シ、中ニハ我國ノ敷島、朝日、富士、八島、等ノ各戰鬪艦ノ縮少模型アリタリ。要スルニ前述セルカ如ク各國ノ出品皆大同小異ナルノミナラス其項目ニ對スル品類、各部ニ於テ出品スルナク、露、獨、英ノ出品ヲ除ク外固ヨリ特記スルモノナキヲ以テ今之カ說明ヲ畧センノミ。但シ茲ニ一言セサルヘカラサルモノハ我國ハ何故ニ本武器館ニ出品セサリシカト云フ是レナリ。我ハ唯百二十一類ニ於テ軍事衛生ニ對シテ赤十字社ノ出品アルノミ、「シャン、ド、マルス」會場內)何ソ其レ寂寞タルヤ。此ニ出陳スヘキ材料ノ豐富ナルニモ拘ラス僅ニ赤十字社ノ統計表ヲ揭ケ、或ハ其ノ成績表ヲ少數ノ有志者ニ頒ツニ止リタルハ誠ニ遺憾ト謂フヘシ。熟考フルニ戰勝國タル我日本カ自ラ世界萬國ニ推薦センニハ、陸海武器館ニ精銳ナル武器ヲ出品スルヨリ善キハナシ。赤十字社ノ一部ヲ以テスルモ東京澁谷ニ建設セラレタル赤十字社病院ノ模型ヲ出陳セハ列國ノ稱贊ヲ博シタルハ疑ナシ。又博愛、弘濟ノ二病院船ノ完全ヲ示サハ歐米人ノ畏敬ヲ受ク果シテ幾許ソヤ。其ノ他日清戰役ニ使用シタル擔架、野戰病院ノ模型等ヲ出陳セシメタランニハ、我國カ唯武勇一偏ニ長セルノミナラス、更ニ仁愛道義ニ富ムノ情ヲ知ラシムルヲ得タラン。回顧スレハ土耳其ノ如キ、其ノ兵頗ル勇、曾テ「タニューブ」河畔ニ於テ露兵ヲ窘メテ大ニ聲名ヲ擧ケタリト雖モ毫モ之カ爲ニ歐米先進國ノ尊敬ヲ博セサリシ所以ノモノハ他ナシ、彼レカ唯武勇ニノミ偏シテ仁惠ヲ重ンセサレハナリ。今回ノ博覽會ニ於テ我國ハ其ノ文明道義ヲ發揮スヘキ千歲一遇ノ好機ヲ有シツヽ之ヲ逸シ

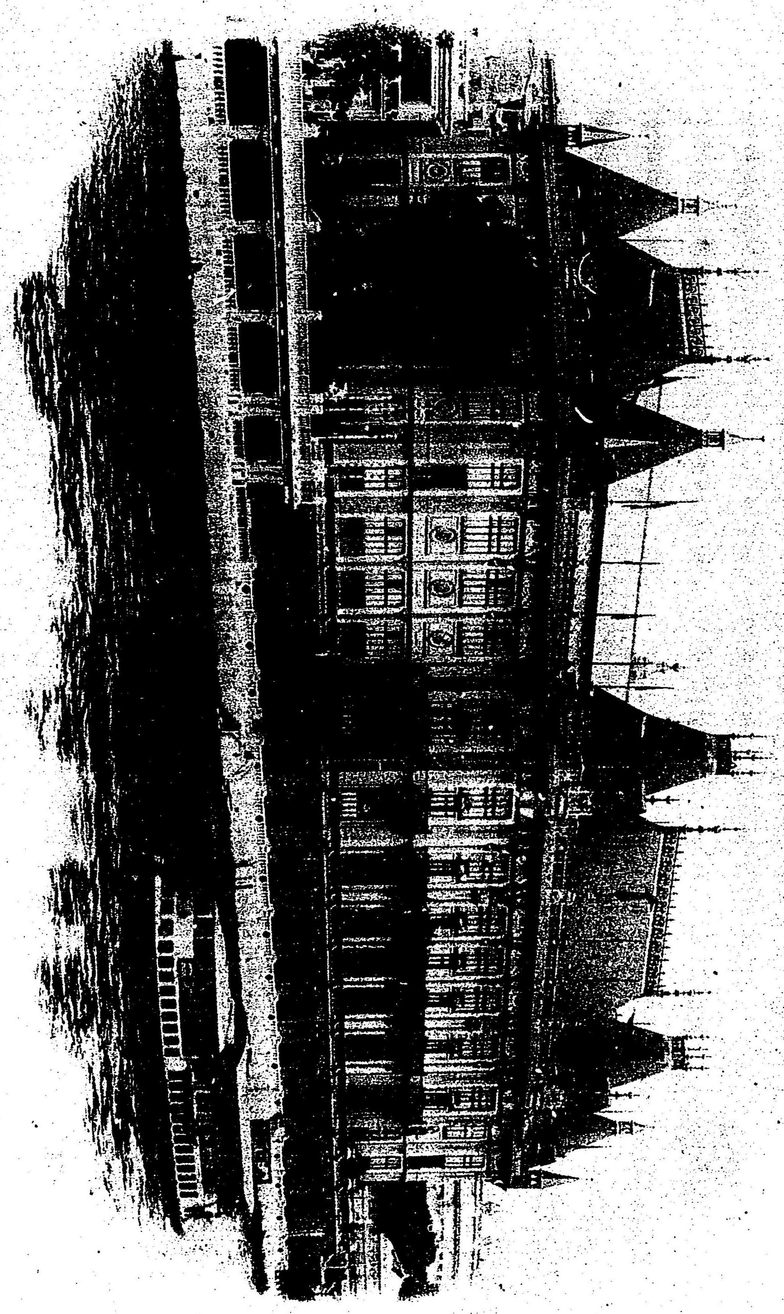
第十六章　各種特別館

今回ノ博覽會中佛國政府ノ設備シタルモノ其他一般陳列場以外ニ於テ出品者自ラ特別ノ館ヲ建設シタルモノ甚タ少カラス前章各部ノ出品ヲ記述スルニ當リ既ニ間々之ヲ述ヘタリ今本章ニ於テ最モ特種ニシテ重要ナル二三ノ特別館ヲ敘記セントス。

巴里市ハ今回ノ博覽會ニ際シ巴里ノ行政一班ヲ示サンカ爲ニ博覽會場内ニ特別巴里市館ヲ設置スルノ議ヲ決シ之ニ要スル經費ノ總額ヲ三百万法ト定メタリ其ノ費目左ノ如シ。

一　巴里市館建築費	六十万法
一　出品準備費	五十四万五千法
一　裝飾費其ノ他一般ノ費用	十八万法
一　諸經費及ヒ豫備費	七万五千法
一　市ノ催シニ係ル祝祭費	六十万法
一　其ノ他ノ諸祝祭ニ補助スヘキ費用	百万法

巴里市ハ是ノ如ク合計三百万法ヲ支出シテ、行政ノ一班即チ敎育、衛生、水道、警察、牢獄、慈惠病院及ヒ慈善事業、道路、入市稅、關、建築、美術、公立質舖、市稅ノ說明及ヒ其ノ沿革等ヲ示スヘキ物料ヲ本特別館内ニ陳列シタリ。蓋シ巴里ノ行政ハ其ノ規模頗ル宏大ニシテ市ノ經費ノミヲ以テ殆ト一小邦國ノ總豫算ニ匹儔スルヲ見ル。左レハ佛國ニ遊フ者又巴里ノ市政一班ヲ研究調査セ



市里巴

シコトヲ希ハサルナシ。宇内ノ首府トシテノ巴里、都府ノ模範トシテノ巴里市タルモノ此ノ大博覽會ニ際會シテ其ノ經營ニ係ル行政事務ヲ天下公衆ニ示サントシタルハ誠ニ宜ナリトス。市會ニ於テハ前述三百万法ノ費用ヲ可決スルト同時ニ組織委員會ヲ設ケ、千八百九十八年六月廿五日ヲ以テ第一回會議ヲ開キ、又別ニ準備委員會ナルモノアリテ諸般ノ計畫ヲ整理シタリ。其ノ組織委員ノ重モナルモノヲ擧グレバ、「セーヌ」縣知事、警視總監、「セーヌ」縣會議長及ヒ縣會議員四人、市會議員四人、萬國大博覽會事務官長等ニシテ尚其ノ他教育、美術、慈惠、土木、交通、水道、下水、衛生、建築、天文及ヒ氣象臺、消防及ヒ市財政等ニ關スル專門ノ士ヲ盡ク網羅シタリ。

巴里市館ハ「セーヌ」河畔「クールラレイヌ」岸堤ニ建築セラレ、長サ百「メートル」、幅廿八「メートル」ニシテ階下地平室ノ廣サハ三千二百平方「メートル」、階上ノ廣サ千七百平方「メートル」ノ宏大ナル一館ナリ。此ノ建物ハ巴里市廳館ヲ模擬シタリシト雖トモ、其ノ大躰ニ於テハ復興式ニ則リ、外觀ノ裝飾ヲ施サス、勉メテ簡潔淡白ヲ主トシ、而カモ能ク風韻ヲ失セサル好個ノ建築ニシテ實ニ巴里ノ本質ヲ表彰スルモノトイフヘシ。其ノ對岸ニ併立セル諸外國館ノ燦爛タル裝飾ト相映シテ、一層ノ趣味ヲ添ヘ、博覽會場内ニ於ケル一大偉觀タリ。此ノ建築ハ現時市廳ノ有名ナル建築技師「コリッスグラヴオギー」氏ノ担任ニ屬シ、氏ハ此ノ建築ニ據リテ一層ノ名譽ヲ高メタリ。其ノ内部ハ階上、階下共ニ勉メテ館ノ中央ヲ空虛ニシ、且階下ノ中央ニ頗ル洒落ナル庭園ヲ設ケ、且觀覽者ヲシテ各方面ヨリ入場シ得ルノ便利ヲ圖リタリ。本館内ニ陳列シタルモノ大要左ノ如シ。

(一) 警察事務ニ關スル出品

本館ノ正面ハ「アヴニュー、ダンタン」通リ「アンヴァリード」橋畔ニ在リ。此ノ正門ノ入口ニハ警視廳ノ出品ヲ陳列セリ。佛國歷代ノ警視總監ノ寫眞又ハ油繪、肖像若クハ半身像ヲ聯ネ、及ヒ帝國、王國、共和各朝ニ於ケル警視總監、其ノ他一般警察官ノ服裝、徽章、勳章、等ヲ陳列シタリ又他ノ一室内ニハ大革命時代ノ書類、路易十四世ノ逮捕狀「ロンシエルジユリー」牢獄ノ遺跡殘片、有名ナル「バスチール」獄門ノ殘跡及ヒ「サン、ペラージ」獄門等ノ出品アリ、人ヲシテ坐ロニ往時ヲ追懷シテ轉タ凄然タラシメタリ「バスチール」ノ牢舍カ大革命ノ時代ニ於テ如何ナル關係ヲ有シタルカハ更ニ之ヲ說クノ要ナシ。而シテ「コンシエルジユリー」ノ獄内ニハ嘗テ路易十五世ヲ暗殺セントシタル反逆者ヲ投シタルコトアリ、又「サン、ペラージ」牢獄ニハ大革命ヲ鼓舞シ、佛國民ヲ激勵シテ盛ニ民主々義ヲ主張シタル一世ノ女丈夫「ローラン」夫人ヲ監禁シタルコトアリ、今是等牢獄ノ遺物ヲ眼前ニ見ルモノ誰カ懷古ノ情ナキヲ得ンヤ。其ノ傍ラニ陳列シタル是等牢獄ニ使用シタル巨大ノ錠及ヒ鍵ノ如キハ巨砲ヲ以テモ尙且片碎スルコト能ハス、一見人ヲシテ慄然タラシム。其ノ他「ルイ、フィリップ」王ヲ暗殺セントシタル「フイスキト」及ヒ其ノ黨類ヲ死刑ニ處シタル斷頭器那翁三世ヲ弑セントシテ使用シタル爆烈彈ノ如キ、將タ古來ヨリノ罪人名簿ノ如キ、是等珍貴ノ出品甚タ豐ナリキ。

尙一ノ別室アリ、是處ニハ罪人ノ人相書及ヒ罪人ヲ辨識スル方法、人躰ヲ量ル器具一切、毒藥分拆ノ試驗所住所姓名不分明ノ死屍留置場衛生事務、留置所其ノ他古來殺人犯罪人ノ寫眞等要

スルニ警察ニ關スル事項ハ細大漏サス之ヲ陳列シタリ、是ノ室ヲ出ツレハ更ラニ「セーヌ」縣部ノ出品室ニ入ルヘシ。

(二)縣行政ノ事業

「セーヌ」縣部ノ出品費用ハ九万法ニシテ、陳列塲所ノ面積百二十二平方「メートル」ナリ。出品項目ノ重ナルモノヲ擧クレハ憲兵屯營ノ雛形、縣下ノ各學校、縣立牢獄ノ雛形等アリ。其ノ他佛國有名ノ畫伯「ヴェルネー」、十八世紀ノ未ニ巴里ニ生レタル高名ナル著作者「エロール」、大革命史及ヒ佛國史ヲ著シタル一世ノ大史家「ミシレー」、十八世紀ニ於ケル佛國ノ小說家「ボール、ドコック」及ヒ那翁第一世ノ麾下ニ在リテ各地ノ戰塲ニ大功ヲ立テ就中伊國「リヴオリー」ニ於テ大戰功ヲ奏シタル一世ノ豪傑「マツセナ」將軍等ノ出產及ヒ死亡證書ノ出品ハ實ニ公衆ノ好奇心ニ投シ、其ノ前常ニ市ヲ爲スノ狀況ナリキ。

其ノ他「セーヌ」縣內ニ於ケル町村行政ニ關スル事項、例ヘハ養育院及ヒ町村工事一切ニ關スル出品アリ。其他各學校生徒ノ製造シタル物品、勞働者同盟組合ノ建築シタル小形家屋ノ雛形及ヒ安價居住團躰ノ沿革幷ニ其ノ事業ノ成績一班ノ表ヲ揭示シ、瘋癲院ノ雛形及ヒ事務一班幷ニ共和政躰ヲ代表シタル半身像等ノ陳列アリ。

(三)庭園及ヒ受水盤

本館大躰ノ建築ハ復興式ニ則リ、全ク外觀ノ燦爛タルヲ避ケタルト同時ニ內部ノ構造ハ勉メテ雅致ニ富ミタル古代ノ希臘及ヒ亞剌比亞式ヲ採リ、且ツ空氣ノ流通ヲ宜クシ、散步ニ便ナラシムル等實ニ博覽會期ト共ニ取毀ツ可キ建物タルヲ忘レシムルモノナリキ。全体ノ建築ハ名譽高キ「グラヴイギー」氏ノ設計ニ基クト雖モ、內部ノ設計、意匠及ヒ庭園ノ構造ハ園藝學者トシテ有名ナル「ガテリエー」氏ノ考案ニ依レリト云フ。

庭園ハ本館ノ中央ニ在リテ、巴里市內ノ散步及ヒ市內各衢ノ並木培養ノ職ヲ司ル市廳ノ或ル一課、主トシテ之ヲ擔任シ、「ガテリエー」氏ヲシテ設計セシメタルモノナリ。此ノ庭園ハ全然佛國風ニ造リ、其ノ中各所ニ休憩椅子ヲ置キ、花瓶ヲ安置シ、四季ノ草木殊ニ熱帶地方ノ草木ヲ植エタリ。而シテ古代ヨリ今日ニ至ルマテノ有名ナル大理石ノ立像ハ鬱葱タル樹木ノ間ニ散見シ其風趣鞠スヘシ。眼ヲ轉シテ一方ヲ顧ミレハ巴里市ノ巨大ナル地圖ハ屋壁ニ懸ケラレ、名種ノ市街交通機關ノ線路ハイフモ更ナリ、町名、下水、堀リ割リ、甚キハ街衢ノ兩側ニ植附ケアル並木ニ至ルマテ一々明白ニ指示サレタリ、其精細ニシテ鮮明ナルハ眞ニ驚クヘシ。又此ノ庭園ニ安置セラレタル前述ノ大理石立像及ヒ草木ハ巴里市ノ嗜好家カ常ニ蒐集シタルモノヽ中ヨリ借リ來リタルモノ多ク、而シテ何レモ稀代ノ珍品ナリト云フ。

庭園ノ中央ニ大ナル受水盤アリ、四個ニ之ヲ區分セリ。四個何レモ現時巴里市全都ニ供給スル爲メニ「セーヌ」、「ウールク」、「ヴアンヌ」及ヒ「アヴル」ノ四河川ヨリ引用シタル飲用水及ヒ雜用水ノ貯水盤ニシテ、觀覽者ハ何人タリトモ此ノ四河川ノ水味ヲ試嘗スルコトヲ得ベク爲シタル其ノ趣向ノ意表ニ出テタル頗ル公衆ノ賞讚ヲ博シタリ。

(四)市行政ノ事業

巴里市ノ出品費用ハ十二萬二千法ニシテ、其ノ陳列場ノ面積三百九十二平方「メートル」ナリ。主トシテ慈善院及ヒ其ノ事業日々巴里市民ニ供給スル食糧品及ヒ其ノ分配ノ方法、市街ノ掃除及ヒ一般衛生幷ニ建康ニ關スル行政、埋葬ニ關スル設備、其ノ他各種ノ事物ヲ公衆ノ縱覽ニ供セリ。出品ノ重モナルモノハ慈善院ノ項目ノ下ニ於テハ救育院及ヒ「ポーリー」、「ローラン」、「ミシユレー」、「サント、ジャンヌ」、「ニコラ、フラメル」、「ブノワー」、「マロン」等各所ニ設置セラレタル貧窮婦女授産所ノ組織、事務及ヒ雛形、巴里市ノ負擔ヲ以テ「マルヌ」縣「シャルメル」地方ニ於テ農業ノ奬勵及ヒ授産ヲ目的トシテ施行スル移民事業及ヒ孤兒院、二三ノ慈惠事業ニ關スル組織、事務ノ一般並ニ雛形等是レナリ。

就中公衆ノ注意ヲ惹キシハ市街ノ清潔、掃除及ヒ一般衛生ニ關スル事業ニシテ、巴里住民ノ健康ヲ監督スル事務ノ大要ヲ示シ、且消毒室、病院ノ有樣之ニ附屬スル蒸浴所、病者ヲ運送スル馬車並ニ轎網帶ノ各種類等ヲ陳列シ、其ノ側ラニハ病院使用ノ各員、病院附屬馬車ノ御者及ヒ看護歸等ノ模範立像ヲ安置スル等一見其ノ事業ノ完備セルコトヲ想像セシメタリ。

市內交通機關トシテハ往古ヨリ今日ニ至ルマテ巴里ニ行ハレタル大小各種類ノ乘合馬車、其ノ他普通ノ馬車ヲ陳列シ、又巴里市中ノ有名ナル街區公園若クハ遊步場等ハ大寫眞ヲ以テ之ヲ表ハシタリ。

埋葬事項ニ關シテハ先ツ第一ニ火葬用ノ竈場ノ雛形、墓地取締法等アリ。其ノ他醫學博士「シャック、ベルチロン」氏ノ苦心調査ノ結果ニ成レル巴里市民ノ死亡、婚姻、疾病ニ就テノ男女兩性、年

齡及ヒ街區ノ關係、比例等ヲ解圖ヲ以テ示シタル統計表ハ頗ル有益ノモノタリ。

巴里市三百万ノ住民カ由テ以テ其ノ生命ヲ保持スル日々ノ食糧品及ヒ其ノ分配ノ方法ハ、巴里市トシテ當然勉ムベキ且最モ苦心スベキ重大ノ問題ニシテ、正シク市行政中ノ最モ重要ナルモノナリ。左レハニヤ本館內ニ於テモ特ニ廣大ナル暗室ヲ設ケ、分チテ七區ト爲シ活動寫眞ノ作用ニ依リ其ノ內部ヲ電氣力ヲ以テ照ラシ、食糧品及ヒ其ノ分配ノ方法ヲ二百五十以上ノ寫眞ヲ以テ示シタリ。即チ觀覽者若シ雙眼鏡ニ依テ此ノ二百五十以上ノ活動寫眞ヲ順次正シク其ノ初メヨリ一覽スルトキハ、先ツ巴里附近ニ設置セラレタル大小數個ノ屠牛豚場ノ建物ヲ見ルヘク、次テ顯ハルヽモノハ日々、國ノ內外ヨリ供給シ來ル牛豚馬驢ヲ滿載スル列車ノ進行、停車場ノ狀況、屠牛場ニ於ケル屠殺ノ狀況ヨリ遂ニ賣肉店ノ截肉臺ニ登レル模樣ニ至ルマテ、遂次其ノ順序ヲ觀覽スルコトヲ得テ、恰カモ身ヲ現況ニ置クノ感想アリ。其ノ他夜半近郊ヨリ馬車ニテ家禽、家畜、野菜、菓實ヲ市內各所ノ市場ニ運搬シ來ル田夫野婦ノ粗朴ナル服裝、質朴ナル動作等細密ナル點ニ至ルマテ之ヲ寫シ、且大小各所ノ市場ニ於ケル都人士ノ群集スル狀況等歷々活動寫眞ニ現出ス。

其ノ他市廳ノ監督ノ下ニ在ル「モンスーリー」氣象臺事務一班モ亦其ノ附屬品タル各種ノ器械ト共ニ公衆ノ觀覽ニ供セラレタリ。巴里市試驗所モ亦市ノ直轄事業ニシテ、其ノ陳列室ニハ各種ノ黴菌ヲ發見シ、實ニ斯學ノ北辰泰斗トシテ四方ノ尊崇ヲ受ケタル近世ノ大學者「パストウル」先生ノ寫眞ト共ニ數十個ノ器械及ヒ試驗室ノ構造ヲ示ス出品アリタリ。

消防ノ部ニ於テハ大小各種ノ消火用ノ器械ヲ陳列シタリ。而シテ就中縦覽人ノ注意ヲ惹キシハ目下殊ニ佛國ニ於テ行ハルヽ自動車式喞筒ノ雛形是レナリ。其ノ他家蓄衛生ノ保護事業トシテ獸醫學校ノ組織、其ノ事務一班及ヒ黴菌ノ重モナル二三ノ種類等要スルニ家蓄衛生ノ保護ニ關スル一切ノ事項盡ク之ヲ網羅シタリ。

(五) 慈惠及ヒ救助事業

慈惠及ヒ救助ニ付テハ年々巴里市會ニ於テ多額ノ費用ヲ負擔スト雖モ、而モ其ノ一半ハ慈善家ノ寄附ニ據ルモノニシテ、其ノ組織及ヒ運用ノ大ナルコトハ短日月ノ旅客之ヲ知ラスシテ去ルモノ蓋シ多カラン。單ニ病院ノ數ノミヲ以テモ尚且市ノ內外ニ於テ大小二十余ヲ有シ貧民及ヒ其ノ敎育ノ下ニ養ハルヽ小兒ニ供給スル爲メ數個所ニ麵包製造所ヲ設ケ、其ノ他特別ノ屠牛場ヲ設置シ、野菜及ヒ菓實ハ特ニ近郊ニ地ヲ選ヒテ耕作セシムル等其ノ組織ノ大ナルト運用ノ妙ナルトハ當ニ是レ巴里市カ彼ノ下水工事ノ完備ト共ニ宇內ニ誇ルヘキ一大事業タリ。

是ノ慈善事業ヲ司ル慈惠院ハ本館內ニ其ノ席ヲ占メ、其ノ組織ト運用ノ況狀トヲ公衆ニ示シタリ。卽チ其ノ室ヲ分チテ七區トナシ第一區ハ主トシテ慈善事業ノ歷史沿革、第二區ハ稚兒養育、第三區ハ小兒養育第四區ハ各授產學校、第五區ハ濟貧事業ノ方法一班、入院養育及ヒ住居救濟ノ方法第六區ハ各病院又ハ救育所ノ構造、第七區ハ統計ヲ陳列セリ。

出品中ノ珍貴又ハ重要ナルモノヲ擧クレハ先ッ大功勞アル慈善家ノ油繪像又ハ寫眞アリ。就中最モ珍貴ナルハ千五百年代ニ生レテ其ノ一生ヲ不幸者ノ救助ニ捧ケタル高僧、サン、ヴインカン、ド、ポール」ノ自筆ノ書ナリ。其ノ他慈惠院附屬ノ各授產學校男女生徒ノ手製ニ係ル手細工物例ヘハ帽子、針、衣服、靴、錠及ヒ鍵等一々枚擧ニ遑アラス。又禮節ヲ辨ヘサル小兒ノ爲ニ特ニ設ケタル一課、癲癇病者ノ爲ニ設ケタル特別造營物等ノ狀況ヲ示スヘキ出品アリタリ。

病院又ハ救濟院ノ構造ニ付テハ古代ノモノト今代ノモノトヲ擧ケテ其ノ比較ニ便ナラシム。稚兒用ノ寢臺中ニハ四人臥ノモノアリ。是レ亦古今ノ新舊比較陳列ヲ爲シ、其ノ寢臺ノ側ニハ夜間用若クハ疾病者ニ要スル一切ノ道具ヲ備ヘ付ケタリ。其ノ完美ナルコト中等以上ノ生活ヲ爲スモノヽ所用ニ堪フ。蓋シ之ヲ見ルトキハ不幸者ヲ憫ムノ博愛家ヨリモ寧ロ其ノ境遇ヲ羨ムノ貧窮者多カルヘシ。其ノ他婦人科ニ於テハ出產用ノ諸器具、虛弱ナル稚兒養育ノ方法、寢鑑、出生シタル稚兒ヲ包ム襁褓、飮乳器ニ至ルマテ盡ク備ハラサルナク、感情强キ婦人ノ如キハ覺ヘス淚ヲ湛ヘタルモノ多キヲ見タリ。

就中最モ珍貴ナルハ棄兒收容器是レナリ。蓋シ棄兒養育ノ事ハ今日最早之ヲ行フノ國勘ナク。佛國ノ如キモ近世ニ至リテ全ク廢絕シタレトモ、從前ハ棄兒養育ヲ以テ慈善事業ト爲シタルコトアリ。是處ニイフ棄兒收容器ハ其ノ當時ニ使用シタル紀念物ノ一ナリ。卽チ貧窮又ハ或ル秘密ノ爲メニ稚兒ヲ膝下ニ於テ自ラ養育スルコト能ハサルモノハ夜間陰カニ來リテ養育院ノ門前ニ裝置サレタル收容器中ニ投シ、鈴ヲ鳴ラシテ去ル。吏員ハ其ノ音ヲ聞クトキハ直チニ來テ稚兒ヲ拾ヒ揭ケ之ヲ養育シ、敎授シ、而シテ後チ產ヲ授ケテ世ニ立ッノ方法ヲ敎フルノ仕

組ニシテ、即チ此ノ方法ニ依リテ墮胎、其ノ他有ラユル愛酷ノ手段ヲ防クノ効力アリト雖モ、更ニ一方ヨリ之ヲ論スレハ慈恵院ハ宛然私生兒繁殖ノ媒介者ト爲リ、其ノ結果寧ロ社會ノ風儀ヲ亂スノ恐レナシトイフヘカラス、是ニ於テ近世佛國ノ如キハ毋ニシテ若シ其ノ子ヲ他人ニ托セサルヘカラサルカ如キ境遇ニ陷リタルトキハ親ラ慈恵院長ヲ訪ヒテ其ノ事情ヲ語リ以テ其ノ許可ヲ受ケサルヘカラストノ規定ヲ設ケタリ、但シ院長ハ何人タリトモ毋ノ姓名ハ勿論、一切秘密ヲ守リテ之ヲ他ニ漏サヽルノ責務ヲ有セリト云フ。斯ノ如クニシテ一旦其ノ子ヲ托シタル毋ハ小兒カ或ル年齢ニ達スルノ期間其ノ子ニ面會スルコトヲ嚴禁シ、其ノ間如何ナル口實ヲ以テスルモ更ニ毋子ノ面會ヲ許サス。是レ棄兒ヲ爲ス者ニ對スル責メテモノ制裁ニシテ之ナキニ於テハ殆ト其ノ濫用ヲ防クノ途ナケレハナリ。然トモ毎月一回慈恵院ヨリ毋ニ對シ其ノ兒ノ養育ノ狀及ヒ成績等ヲ報知スルヲ以テ、之ニ依テ毋ハ其ノ子ノ生長、安否、成績等ヲ知ルコトヲ得ルナリ。

現時此ノ大事業ヲ指揮監督スルモノハ有名ナル「ナヒヤス」博士ニシテ氏ハ當時齡已ニ七十ヲ超ユルト雖モ、尚懼傑トシテ日々其ノ業務ニ從事シ、中外ノ尊敬ト信任トヲ受クルコト淺カラスト云フ。

(六) 上水及ヒ下水渠、道路幷ニ點燈

水道事業、道路及ヒ點燈ニ關スル出品費トシテ十三萬七千三百五十法ヲ分與セリ。之ニ要スル總面積ハ七百六十平方「メートル」ナリ。

(一) 上水及ヒ下水渠　三百萬ノ人口ヲ有スル巴里市ニ日夜水ヲ供給シテ不足ヲ感セシメス、且市街ノ清潔ヲ保ツ爲メニ要スル雜用水ヲ供給スルノ容易ニアラサルコト幷ニ是レカ爲ニ佛國カ苦辛經營ノ結果現ニ其ノ事業ノ雄大ナルコト歷米ヲ通シテ第一ニ位スルコトハ世ノ既ニ熟知スル所ニシテ、茲ニ詳說スルノ必要ナケレハ、唯單ニ出品ノ項目ヲ揭クルニ止ムヘシ。上水幷ニ下水渠ノ實況ヲ寫ス爲ニ毫モ實際ト異ナラサル模型ヲ作テ之ヲ展示シ上水渠ニ付テハ之ニ要スル一切ノ機關器械ハイフモ更ナリ、濾過ノ方法ニ至ルマテ雛形ヲ以テ之ヲ示シ且其ノ疏水渠ノ模樣ヲ一層明瞭ナラシメンカ爲ニ截切又ハ側面圖ヲ以テ之ヲ顯ハシタル等最モ精密ヲ極メタリ。

(二) 巴里市ノ道路ハ敷石、敷木及ヒ「アスパルト」敷ノ三ツニ區別ス之ニ關スル出品ハ此ノ三者ノ優劣、代價ノ高低幷ニ耐久ノ如何ヲ示シタルニ外ナラサルナリ。其ノ內最モ重要ナルモノハ敷木ノ材料ト耐久ノ度トニアリ。即チ其ノ材料ハ松、山毛欅、「サパン」其ノ他數種類ヲ擧ケ、而シテ生木ト「クレオソー」劑ヲ以テ防腐シタルモノトノ二類ニ分チテ、各其ノ見本ヲ陳列シ、敷地用ノ「アスパルト」ニ付テモ數種ノ見本ヲ出シテ代價ト耐久ノ度トノ關係ヲ示シタリ。

(三) 點燈事業ハ巴里市ノ行政事務トシテ其ノ整備セラレタルコト、道路ニ讓ラス。巴里ノ如ク清潔ニ巴里ノ如ク照ラサレタル都府ハ之ヲ他邦ニ求ムヘカラス。其ノ出品ノ種類ハ要スルニ電氣ト瓦斯トノ二種ニ過キスト雖モ各種ノ機關器械組織及ヒ運用ノ方法ハ是處ニ陳列セル雛形ト統計トニ依リ其ノ盛大ノ狀況ヲ表彰セリ。

(七)　古代ノ巴里

今代ノ巴里ヲ説明スルト同時ニ回顧博覧會ノ趣意ヲ以テ古代巴里委員會ヲ設ケ、本特別館内ニ一室ヲ占メ、遠クハ「ゴール」羅馬人民ノ遺品ノ殘片、古代巴里ノ地圖及ヒ家屋構造ノ模様ヨリ住古ノ油繪、水彩畫、千五百年代ノ繡箔、武器徽章、陶器ニ至ルマテ細大漏サス陳列シタリ。是レ蓋シ考古者ニ採リテハ無上ノ珍寶タルヤ論ナキナリ。

(八)　美術歴史調査會「カルナヴァレー」館及ヒ書籍館

美術歴史「カルナヴァレー」館及ヒ書籍館ノ出品費用ハ四萬八千法、面積ハ五百四十六平方「メートル」ヲ充テタリ。

(一)美術部ニ於テハ有名ナル諸大家ノ油繪例ヘハ景色畫トシテ其ノ名一世ニ高キ「ハルピギー」ヲ初メトシテ「ボア」「ラファエリー」「セスブロン」等ノ油繪ヲ陳列シ、彫刻家トシテ高名ナル「ダルー」及ヒ「ペヴルー」諸氏ノ作物及ヒ彫版者トシテ名高キ「デデータン」「ダニエール」「シユッピエイ」ノ作等モ亦共ニ陳列セラレタリ。

(二)歴史調査會モ亦其ノ事業ノ一班ヲ示サンカ爲ニ歴史ニ關スル各種ノ材料ト古來有名ナル書籍ヲ出品シ、就中五十二卷ノ大部タル巴里沿革史ノ如キ、將又三十卷ヲ以テ完備セル「大革命間ニ於ケル巴里史」ノ如キハ最モ考古學者ノ貴重スルモノナラン。

(三)「カルナヴァレー」館ハ其ノ初メ個人ノ創設ニ係リタルモノナレトモ、千八百六十六年ニ至リ巴里市ヨリ買上ケラレ巴里市會附屬ノ古物展覽所ト成リテ主トシテ大革命時代ニ於ケル遺物ヲ陳列セリ。本特別館内ニ於ケル「カルナヴァレー」館ノ出品モ多クハ革命時代ノ遺物タルハ當然ナレトモ前數代ノ製作ニ係ル家具、室内粧飾織物及ヒ繪畫等モ亦出陳セラレタリ。就中最モ珍貴ニシテ公衆ノ注意ヲ惹キシハ那翁第一世ノ愛兒ニ當時巴里市ヨリ獻シタル襁兒寢籃是レナリ。

(四)書籍館ノ部ニ於テハ解圖ヲ初メトシテ古來有名ナル大家、高僧等ノ自筆歴史上ノ材料、理化及ヒ文藝ニ關スル歴史ノ材料、王家ヨリ發シタル命令、逮捕狀及ヒ其ノ書面等其ノ數非常ニ夥多ナリキ。

(九)　建築

建築ニ關スル出品ノ費用トシテ六方法ノ支出ヲ爲シ三百平方「メートル」ノ面積ヲ以テ之ニ充テタリ。出品ノ重モナルモノハ「ソルボンヌ」文科大學ヲ初メトシテ大小各學校、救育院、兵營、消防營所及ヒ區役所等ノ建築ノ模型並ニ其ノ寫眞、其ノ他巴里ノ有名ナル「サンピエール」大寺院ノ再興修理、墓地ニ於ケル藏骨室ノ模様ヲ繪畫ヲ以テ示シタルモノ、如キ蓋シ其ノ重ナルモノナリ。

(十)　教育行政

教育ハ建築、美術及ヒ「カルナヴァレー」ノ出品ト共ニ本館ノ階上ニ其ノ區ヲ占メ出品ノ經費トシテ六万法ヲ支出シ、其ノ出品ノ陳列ニ充テタル面積七百平方「メートル」ナリ。

教育ハ本館ノ出品トシテ巴里市ノ最モ力ヲ致シタル所ナリ。而シテ普通教育ニ關スルモノ甚

タ少ナクシテ實業教育ニ關スル各種學校ノ成績表、生徒ノ出品殊ニ多ク、又寫眞ヲ以テ是等諸學校ノ構造及ヒ生徒ノ器械躰操ヲ示シ、尚生徒ノ製作ニ係ル陶器、水彩畫、圖畫、家具、銅細工、釘綴、織物等見ルヘキモノ甚タ多シ。ベルナール、バリッシー」實業學校ハ陶器附繪、織物、圖案、土工圖案等ヲ教授シ、「エチエヌ」學校ハ主トシテ製本ヲ教授シ、其ノ他「ブール」學校ニ於テハ家具其ノ他室内裝飾等ヲ教ユル所ナリ。是等諸校ノ生徒ノ手ニ成リタル出品殊ニ見ルヘシ。其ノ他「シャタル」、「ロレーン」及ヒ盲啞學校生徒ノ製作ニ係ル物品モ頗ル多シ。

(十一) 入市稅關

入市稅關所ハ前紀百年間即チ千八百一年ヨリ千八百九十九年ニ至ルマテ入市稅トシテ收納シタル金額ノ解圖表ヲ掲示シ公立質舖ハ千七百十七年ヨリ千八百九十九年ニ至ル百八十二年間取引ノ實況ヲ是レ亦圖書ヲ以テ示セリ。其ノ他巴里市ノ財政一班ヲ示ス表アリ。

第二　巴里商業會議所特別館

巴里商業會議所ハ十九世紀ノ半頃ヨリ内外各地ニ擧行セラレタル博覽會毎ニ必ス參同シテ顯著ナル名譽ノ褒賞ヲ得サルコトナシ。即チ千八百五十五年、千八百六十七年及ヒ千八百七十八年ノ巴里萬國博覽會ニ於テハ金牌ヲ得、千八百八十九年、ニ於テハ大賞ヲ得、又千八百九十一年ノ露國莫斯科博覽會ニ於テハ紀念賞狀、千八百九十四年ノ白耳義「アンヴェルス」博覽會ニ於テハ名譽賞狀ヲ得、千八百九十六年佛國「ルアン」ノ博覽會ニ於テハ「オール、コンクール」ナリ、千八百九十七年白耳義「オリユッセル」ノ博覽會ニ於テハ大賞ヲ得タリ。

當博覽會ニ於テハ會議所ハ本來其ノ管轄ニ屬スル業務ヲ各部各類ニ出品スヘキモノナレトモ世人ノ之ヲ商業會議所ノ組織及ヒ其ノ運用並ニ其ノ目的ヲ一括シテ之ヲ通覽セシムルニ便センカ爲ニ博覽會事務局ト交渉ノ結果一ノ特別館ヲ設ケ商業會議所萬般ノ出品ヲ集メテ此ノ館内ニ陳列セリ。其ノ敷地ハ殆ト三百平方「メートル」ニ達セリ而シテ其ノ地區ハ「シャンド、マルス」附近ノ人目ニシテ商業航海館ノ側ニ建築シ、四通八達ノ要衝ニシテ尤モ博覽會觀覽者ノ注目スル好位置ヲ占メタリ。建築ノ技師ハ「メッサジエリー、マリチーム」會社特別館ヲ建築シタル「リュシャン、ヒアイー」氏ニシテ十八世紀ノ建築方法ニ依リテ設計シタル所ナリ。其建物ノ構造ハ木材平家建ノ尤モ高キモノニシテ外形ハ彫刻シタル石像ナリ。外觀極メテ牢實ノ態ヲ備フト雖モ其ノ實ハ博覽會閉會ト共ニ壞頽スヘキモノナリ。其ノ内部ノ壁畫ハ商業學校繪畫教授「シャンノ」氏ト巴里商業會議所カ施シタル事實ノ重ナルモノヲ繪畫ニ依テ現ハシタリ。其ノ尤モ顯著ナルモノハ「セーヌ」河畔「イヴリー」河港ノ大事業ナリトス。

抑々巴里商業會議所ノ組織及ヒ目的ハ敢テ佛國内ニ於ケル他ノ商業會議所ニ異ナラス、何レモ皆千八百九十八年ノ法律ニ基クモノナリト雖モ其ノ位地首府ニアルト共ニ他ノ模範トナルヘキ責任ヲ有シ其ノ事業ノ廣大ナルニ由リ自ラ他ト異ル待遇ヲ受ケ他ノ商業會議所會員ノ數ハ十五人若クハ廿人内外ナルニ巴里商業會議所ノミハ三十六人ノ議員ヲ有シ議長一人副議長二人書記二人ヲ置キ其ノ組織尤モ廣大ナリ。

今巴里商業會議所カ本特別館ニ於テ出品ヲ爲シタル事業ヲ列擧スレハ左ノ如シ。

第一　商業會議所本來ノ事務殊ニ政府ノ諮問ニ對スル答申
巴里商業會議所ノ事業中尤モ重要ナルモノハ政府ノ諮問ニシテ、此ノ會議所ハ商工務省ノ管轄ニ屬シ、當該官廳ヨリ諮問ヲ受ケタルトキハ其ノ事項ニ對シテ答申スルノ義務ヲ有シ、稅關、入市稅、經濟上ノ問題、交通機關、商業ニ關スル法律規則、輸出入及商業敎育等ニ關スル事項ニ付常ニ政府ノ諮問ヲ受ケテ有益ノ調査ヲナセリ。

第二　商業敎育
巴里商業會議所カ財政上ノ援助ヲ與ヘ之ヲ監督維持スル特別學校ハ左ノ如シ、

特別高等商業學校
高等商業學校
商業學校
商業書籍館
尙他ニ有益ナル學校ヲ起シ專ラ商業ノ實力ヲ養成スルニ勉メツヽアリ、特別高等商業學校及ヒ高等商業學校ハ政府ニ公認セラレタルモノニシテ、其ノ卒業生ハ種々ノ特權ヲ有ス。就中二年ノ兵役ヲ免セラルヽカ如キ最モ重大ナル恩典ナリ。特別高等商業學校ハ中學校若クハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル生徒ニ特ニ商業敎育ヲ授クルモノナリ。同校ノ卒業生ハ優等ナル成績ヲ顯セリ。即チ千八百八十一年ノ設立以來千八百九十九年ニ至ル間ニ卒業シタルモノニシテ

社會ニ事業ヲ爲スモノヽ數ハ千六百六人ノ多キヲ以テ數フ。內農工商ノ事業ニ從事スルモノ二千四百九十五人、諸官廳及ヒ其ノ他ノ行政官廳ニ事務ヲ執ルモノ五十三人、未タ職業ヲ有セサルモノ五人、其ノ他五十三人ハ死亡又ハ去就未明ノモノニ屬セリ。又高等商業學校ハ千八百二十年ニ於テ早ク其ノ設立ヲ見、以テ今日ノ優勢ヲ占ムルニ至レリ。以上二校ノ生徒ハ多ク富裕ナル商人ノ子弟ナリ。普通商業學校ハ普通ノ商業學ヲ敎授スル處ニシテ、各商店ノ番頭又ハ會社ノ雇員トナルヘキモノヲ養成ス。茲ニ尤モ特筆スヘキハ各卒業生ハ各校共ニ各自ノ校友會ヲ組織シ十萬法以上ノ基本金ヲ有セリ。而シテ基本金ノ大部分ハ寄附ニ係ルモノナリト云フ。校長又ハ商業會議所ハ卒業生ノ爲ニ斡旋ノ勞ヲ執リテ適當ノ位置ニ推薦シ、校友會モ亦協力シテ之ヲ補助セリ。以上ノ事實ハ巴里商業會議所ヨリ此ノ特別館ニ出品シタル說明書ニ依リ其ノ間ノ消息ヲ知ルヲ得ヘシ。夜學校ハ男女ヲ問ハス、晝間一定ノ職務アルモノヽ爲ニ無報酬ニテ敎授スル所ニシテ、其ノ授業ハ極メテ簡易ノ科目ニ過キス即チ左ノ如シ。

男子部
英、獨、西班牙其ノ他ノ外國語ノ內一箇
ノ製圖法、商業上ノ法律規則一般
婦人部
文字ノ書キ方、商業ニ用ヰル簡易ナル算法、帳簿ノ取扱、商業上ノ書信、業務ノ編成、商業ニ關スル法律規則一般、速記術、器械算術、日用商業上ノ簡易外國語、婦人小兒等ノ簡易ナル衣服

ノ裁縫法、

此ノ夜學校ハ非常ニ有益ニシテ、其ノ功績ノ著シキハ更ニ辨明ヲ要セス。千八百七十三年始メテ男子ノ爲ニ之ヲ設立シ、其ノ翌年ニ至リ婦人部ヲ設ケタリ。

商業書籍館ハ千八百二十一年ニ巴里ノ或ル紳商カ其ノ秘藏ノ商業上ノ書籍ヲ巴里市ニ寄附シタルヨリ始マレリ。而シテ之ヲ公衆ニ縱覽セシムルニ至リタルハ其ノ後千八百二十九年十二月九日ニシテ、商業會議所ハ決議シテ一週間三度ヲ限リ縱覽セシムルコトニ制限セリ。當時其ノ書籍館ヲ二層完全ナラシメンカ爲メ、英國出版ノ書籍多數ヲ購入セリト云フ。而シテ千八百九十四年ヨリ稽商業上ノ參考トナルヘキ雜誌ヲ毎週刊行セリ。此ノ書籍館タル彼ノ有名ナル國立書籍館ト南ヲ相並シテ、蓋シ最モ著大ノモノナリトス。然ルニ茲ニ千八百九十九年五月十四日ニ至リ一朝火災ノ爲ニ此ノ書籍館三室ノ内二室ヲ烏有ニ歸セシメタルハ頗ル悲シムヘキコトナリトス。是ニ於テ商工務省及ヒ外務省ハ直ニ外國駐劄ノ各公使ニ訓令ヲ發シテ燒亡シタル原物ノ蒐集ニ勉メ、且書籍ノ購入ヲ命シ、商業會議所ハ百方之カ蒐集ニ勉メ、巴里市モ亦切リニ之ヲ援助シタルカ爲メ、家屋ノ改築及ヒ蒐集ノ書籍等茲ニ舊觀ヲ恢復シテ更ニ一層ノ完全ヲ來シタルハ所謂禍却テ幸トナリタルモノニシテ現時ハ五萬卷以上ノ書冊ヲ藏セリ。又新築ノ館ハ國立書籍館ヲ摸擬シタルモノニシテ頗ル宏大ナリ。

第三、商業會議所ニ屬スル各種ノ建物

稅關ノ荷物取扱所

生糸及ヒ毛糸ノ檢查所

紙ノ試驗及ヒ分析所

「イヴリー」河港ノ停車場

次器ノ檢查及ヒ證明所

商品取引所

以上ノ内尤モ重要ナルモノハ「セーヌ」河岸「イヴリー」河港ノ停車場ナリトス。巴里ノ附近セーヌ」河上流「イヴリー」ノ村落ニ新ニ築設セラレタル新港ハ長サ二十五「キロメートル」ニ亘ル港ニシテ、即チ巴里市ノ爲メニ「セーヌ」河ト鐵道會社トノ連絡ヲ助クル爲メニ設ケラレタルモノナリ。千八百九十三年佛國工部省ニ於テ始メテ此ノ考案ヲ立テ其ノ翌年即チ一千八百九十四年ニ其ノ工事ニ着手シタリ。而シテ峻工シタルハ博覽會ノ前年千八百九十九年ノ十月ナリトス。此ノ工事タル主トシテ「オルレアン」鐵道會社ト「セーヌ」河トヲ連絡スルモノニシテ、猶第二ニ着手スヘキ工事ハ「地中海巴里」鐵道線トノ連絡ナリトス。「イヴリー」河港事業ノ工費ハ總計百參十八萬法ニシテ、内二十一萬五千法ハ堤防築港費、十四萬法ハ鐵道トノ連接費、十三萬法ハ港ノ造築費、八十九萬五千法ハ旅客ノ停車場及ヒ倉庫建築費ナリトス。而シテ築港ニ要シタル土地ハ其ノ全部ヲ擧ケテ有志者ノ寄附ニ係リタルヲ以テ、此ノ費用中ニ含蓄セス。若シ之ヲ買收シタランニハ蓋シ巨大ノ額ニ上リタルヘシ。

「イヴリー」河港カ巴里市ニ與フル所ノ利便ハ、此ノ河港ニ於テ取扱ヒタル輸出入ノ額カ佛國ノ

第一海港ニ於ケルヨリモ多額ナルニ依テ知ルヘシ。工部省ノ統計表ニ依レハ千八百九十八年ノ一年間ニ巴里ニ輸入シタル商品ノ高九百十六萬四千八百二十五噸、一噸千「キロ」ニシテ其ノ爲メニ使用シタル船舶ノ數ハ四萬六千四百五十七艘ナリ。同年ニ於ケル地中海第一ノ港タル馬耳塞港ニ於ケル輸出入ノ重量總額ハ五百五十九萬五千六百四十七噸ニシテ「イブリー」河港ノ總噸數ニ比シテ少キコト三百十六萬四千八百二十五噸ナリトス。然トモ斯ル重要ナル「イブリー」河港ナルニ拘ハラス、唯一ノ缺點タルハ起重機ノ設備不完全ナルコトヽス。目下裝置シタルモノハ微力ニシテ强力ニ堪フルモノナク、現ニ先年水利ニ依リテ巴里ニ輸送ス可キ非常ニ重量ナル物品ノ如キハ獨逸ノ漢堡ニ廻送シ、同處ヨリ更ニ巴里ニ輸送シ來リタルコトアリト云フ。斯ル不便アルヲ以テ商業會議所ニ於テハ目下强力ヲ有スル起重機据付ノ設計中ナルヲ傳聞セリ。

火器ノ檢査及ヒ證明所ハ佛國内ニ「リエージユ」「サンテチェンヌ」ノ二個所ニアルノミニシテ、爲メニ巴里ノ銃獵器械販賣店ハ少ナカラサル不便ヲ感シタリシカ、千八百九十五年初メテ巴里ニ火器驗査所ヲ起シ、其ノ建物ハ巴里商業會議所ノ管轄ニ屬シタリ。

第四　公益事業

商工業ニ關スル事項ノ參考トナルヘキモノ、産地ノ證明及ヒ行商人ノ身分保證

佛國内及ヒ外國トノ電話線

第五　國立外國貿易取調所（オフイス、ナシヨナール、デユ、コンメルス、エキステリエール）

是ハ政府ノ設立ニ係リ、巴里商業會議所ハ之ニ對シ補佐ノ任ヲ盡セリ。

第六　輸出奬勵會

第七　外國語學奬勵會

以上ノ二項ハ商業會議所ハ尤モ力ヲ其ノ設立ニ盡シ且之ヲ保護奬勵セルモノナリ

以上列記シタル七種ノ事項ニ付多數ノ統計表、解圖、寫眞、說明書若クハ雛形等ヲ展列シ以テ其ノ狀況ヲ示セリ。殊ニ佛國ト外國トノ電話線路ヲ示シタル大ナル地圖ハ頗ル明瞭ナルモノナリ。其ノ他巴里商業會議所創立當初ヨリ今日ニ至ルマテノ議長ノ姓名ヲ列記シタル名簿、副議長及ヒ書記、議員等ノ名簿ヲモ共ニ出陳セリ。尙商業會議所ノ事業ヲ說明シタル冊子ヲ出版シテ有志者ニ頒與セリ。何人ト雖モ此ノ冊子ト出品物トヲ對照セハ世界ノ都府タル巴里ニ於ケル商業會議所ノ組織ノ宏大ナルト其ノ事業成績ノ顯著ナルトヲ悉知スルヲ得ヘク蓋シ博覽會場内ニ於ケル各種ノ特別館中尤モ有益ナルモノナリ。

第三　海事商業會議所特別館

海事商業會議所特別館ハ「セーヌ」河畔「トロカデロ」庭園外「ケー、ドビリー」ニ建築セラレ、「セーヌ」河ヲ夾ンテ商業航海館ト相對セリ。蓋シ亦幾多ノ特別館中重要ナルモノヽ一ナリトス。

抑佛國内ニ於ケル大小無數ノ商業會議所中、千九百年大博覽會ニ特別館ヲ設ケテ、其ノ組織運用及ヒ事業ヲ公衆ニ示シタルモノハ唯一ノ巴里商業會議所ノミ、是レ他ナシ巴里ヲ除キ他ノ商業會議所ハ規模小ニシテ財源モ亦從テ豐富ナラサルヲ以テ巴里商業會議所ニ倣フコトヲ

得サルニ職由セスンハアラス。海事商業會議所特別館ハ多少其ノ組織及ヒ目的トヲ異ニシ、又比較的財源ヲ有スルカ故ニ、今回別ニ一ノ特別館ヲ設ケタリ。

是ヨリ先キ佛國ノ海事商業會議所ハ此ノ博覽會ニ參同センカ爲ニ其ノ要スル所ノ一切ノ經費ヲ豫算シ、之ニ備フルノ途ヲ立テタリ。其ノ計畫ハ即チ博覽會ニ要スル經費トシテ特別ニ各港ノ輸出入ニ對シテ課稅ヲ爲スニ在リ。商工務省ハ初メ之ニ認可ヲ與フルニ躊躇セシカ考究ノ末遂ニ之ヲ認可スルニ至レリ。

本特別館ハ長サ五十「メートル」幅十「メートル」ノ建物ニシテ、其ノ建築ハ技術上ヨリ之ヲイヘハ何等特別ノ美觀ナキ極メテ平凡ナルモノニ過キス、他ノ特別館ニ比シテ甚タ遜色アリ。且其ノ位置ハ「トロカデロ」庭園「セーヌ」河岸ノ一隅ニアリタルヲ以テ、人多クハ之ヲ知ラスシテ過キタリ。然トモ館中ノ出品物ニ至テハ尤モ重要ニシテ、正ニ佛國港灣ノ運命ヲトスルニ足ル所ノ出品多々アリタリ。

佛國内ニ於ケル海事商業會議所ノ數ハ十七ニシテ今回皆此ノ特別館ヲ設クルノ企擧ニ共同セリ。即チ「ボルドー」「イヨン」「ブーローギュ」「カレー」「サン、セット」「ディエップ」「ダンケルク」「グランヴィル」「アーヴル」「オンフルール」「フェカン」「馬耳塞」「ルアン」「ナント」「ロッシエル」及ヒ「シエルブール」等ニシテ各其ノ管轄内港灣ノ物産統計表、港口及ヒ沿岸ノ雜形、輸出入ノ額其ノ他特別稅ノ收入統計表等ヲ出品セリ。此ノ特別館ノ入口ノ四方ニハ參同シタル各港ノ名ヲ記セリ。船具及ヒ航海業ニ關スル出品ハ之ヲ商業航海館ニ陳列シタルヲ以テ本館中ニハ統計表ノ如キモノ多ク。素人ニ注目セラルヽコト少キモ各港灣ノ實況ヲ示シタル浮彫雛形ノ如キハ巧妙ニシテ其ノ中ニ「アーヴル」及ヒ「馬耳塞」ノ如キ極メテ精巧ニシテ且ツ雄大ナルコト感賞ノ外ナク頗ル公衆ニ注目セラレ、殊ニ「アーヴル」ヨリ輸出入物品ノ見本ヲ出シタルハ外國貿易商ノ爲メニ參考トシテ尤モ稗益アルモノナリ。

此ノ特別館ニ入リテ沈思默考セハ苟モ常識ヲ備ヘタルモノハ必ス二個ノ思想ノ其ノ念頭ニ泛ヲアラン。即チ第一ハ十年以來佛國カ巨資ヲ費シテ重要ナル以上ノ築港工事ヲ成就シタルト同時ニ第二ニハ是等ノ築港工事カ果シテ佛國ニ利益ヲ與ヘタルヤ否ヤノ問題ヲ喚起シ來ルヘシ。現ニ「パリス」港ノ如キハ僅ニ五「メートル」ノ深サアルノミ近世海運事業ノ發達ト共ニ競フテ吃水ノ深キ巨大ナル船舶ヲ造ル今日ニ於テ、是等ノ大船ヲ此ノ港内ニ入ルヽコトヲ得サルノ事實ニ兆シテ、佛國ハ猶將來港灣改築ニ莫大ノ資金ヲ要スルコトヲ知ルヘク、前途甚タ困難ナルヲ想像スルニ足ル。

抑佛ノ海運事業ノ發達ヲ妨クルモノハ船舶ノ缺乏ニアラス技術ノ拙劣ナルニアラス、又資本ノ不足ニモアラス、近時漸ク吃水ノ深キ船舶ヲ增スニ拘ハラス其ノ船舶ヲ碇繫スヘキ港灣ノ不足ナルニ在リ。而シテ港灣ノ改築ハ莫大ノ費用ヲ要シ。一私人ノ到底能ク爲シ得ヘキ所ニアラス、必ス國家ノ施爲ヲ待タスンハアラサルナリ。斯ル必要ナル事業ノ刻下ノ急務タルコトヲ政府ニ悟ラシムルノ方法ヲ執ルハ一ニ此ノ海事商業會議所ノ力ナリトス。是ニ於テ知ル、今回十七ノ各海事商業會議所カ一致シテ博覽會ニ參同シ、以テ政府及ヒ公衆ニ此ノ急務ヲ知ラシ

メンカ爲メナルコトヲ、實ニ千九百年ノ博覽會ニ於ケル此ノ特別館ノ設立ニ以上ノ大希望ヲ
孕メル重大ナル潛勢力ヲ有スルモノニシテ、將來佛國ニ於ケル港灣改築事業ヨリ海運事業ノ
優勢ヲ求ムヘキノ原動力タルハ疑フヘカラサル所ナリトス。

第四　新聞記者特別館

新聞記者特別館ハ「セーマ」河畔「ケー、ドルセー」ニ設ケラレ、墨西哥特別館ト「ルーマニー」國料理店
トノ傍ニ位置ヲ占メ、佛國博覽會事務局ノ近傍ニアリ。交通ノ便ヨリイフトキハ所謂四通八達
ノ要區タリ。然トモ建築地域ノ狹隘ナルカ爲ニ其ノ建築設計上頗ル苦心ヲ要シタリ。擔當技師
「マッソン、ド、ッウルベイ」氏ガ四階造リノ建物ヲ築造スルノ設計ヲ立テタルハ是カ爲ナリ。此ノ四
階構造ノ建築物ハ博覽會場内唯是ノ館アルノミ。
本館ノ構造ハ煉瓦ヲ以テ木骨ヲ包ミ、長サ五十「メートル」幅十「メートル」ニ過キスト雖トモ加モ
四階ノ高樓高ク聳ヘ、却テ他館ヲ凌クノ趣ヲナシタリ。其ノ裝飾ハ内外共ニ勉メテ淡泊清雅ヲ
主トシ彼ノ巴里市特別館ト相待テ公衆ノ賞讃ヲ博シタリ。
内部ノ階下ハ新聞記者ノ通信室ニ供シ其ノ別室ハ電信電話ヲ設ケテ他ト交信ヲ爲スコトヲ
得、更ニ一方ニハ役員ノ事務室アリテ室内日々ノ出來事ヲ掲示セリ。二階ハ大ナル議式室ニシ
テ萬國新聞記者ノ大會ハ此ノ室ニ於テ行ハレタリ。正面ニハ三個ノ女畫像アリ、中央ノモノハ
新聞ヲ代表シ、兩側ノモノハ電信電話ヲ表スル女神ナリ。更ニ三階ハ主トシテ事務員ノ執務ス
ル所ニシテ、四階ハ休憩室ニ充テタリ。四方ニ廻廊ヲ設ケ洒落ナル椅子ヲ配置ス。又昇降器ノ設

ケアリテ、建築ノ狹小ナルニ拘ラス、廣ク萬般ノ需用ニ應スルコトヲ得ヘシ。
千九百年博覽會ニ際シ新聞記者ノ團体モ亦此ノ計畫ニ
洩レサランカ爲メ千八百九十九年十二月中佛國新聞社々長組合ハ特ニ佛國新聞記者各團躰
ノ總集會ヲ開催シ、新聞記者モ亦千九百年中其ノ代表者ヲ巴里ニ派出センコトヲ決議セリ、此
ノ會議ノ結果商務大臣ト交渉スヘキ委員ヲ選定シ交渉ノ結果、商務大臣ハ一ノ省令ヲ發シテ
千九百年大博覽會ニ於ケル新聞記者高等委員會ノ組織ヲ命シタリ。即チ高等委員會ハ博覽會
開期中、主トシテ各官廳、博覽會事務局及ヒ各新聞社トノ間ニ立テ仲介ノ勞ヲ執ルノ職務ヲ有
ス。此ノ令達ニ依リ高等委員會長ニ「ラヤン、デュピュイ」氏ヲ任命セリ。
氏ハ巴里新聞記者組合長及ヒ新聞總團躰ノ長タル有名ノ士ナリ。副會長ニハ巴里新聞記者組
合ノ副會長「カサギャク」及ヒ佛蘭西共和黨新聞記者團躰長「ラン」氏、巴里新聞記者團躰長「アルフ
レット、メヲエール」氏、佛國地方共和黨新聞記者團躰長「レオン、ブリエール」氏其ノ他二名ヲ撰任セ
リ。書記長トシテハ共和黨新聞記者團躰ノ書記長タル「リュシャン、ヴイクトル、ムニエー」氏撰ハレ
タリ。
此ノ委員會ハ博覽會場内ニ新聞記者無料入場問題ヲ措置スルノ外猶博覽會ニ關スル諸般ノ
通信報告ヲ各新聞ニ送ルノ責務ヲ有スルヲ以テ、特ニ此ノ特別館内ニ一室ヲ設ケテ日ニ博覽
會場内ニ起リタル事項及ヒ計畫等其ノ他總テ佛國事務局ヨリ通知シ來ル毎ニ時々刻々之ヲ
掲示シ、同時ニ各新聞社ニ報導セリ。又博覽會ニ來リタル各國ノ新聞記者ヲ招待シ、是カ爲ニ斡旋

ノ勞ヲ執レリ。此ノ委員會ノ招待ニ依リテ各國ヨリ來リタル新聞記者ハ其ノ數四百六十人以上ニシテ、内英吉利、瑞典、亞米利加等ヨリハ婦人記者」ノ來會シタルモノアリ。此ノ好機ニ乘シ萬國新聞記者會議ヲ催シ、種々ノ重要問題ヲ討議セリ。其ノ内尤モ重大ナルモノハ第一、既ニ各國ニ設ケラレタル新聞記者團躰ノ會員タル證明ヲ得タルモノハ何レノ國土ニ至ルモ其ノ自國ニ於ケルト同一ノ特權待遇、利便ヲ享受シ得ヘキコト、第二、宇内ノ戰爭ヲ裁斷スヘキ國際新聞記者裁判所ヲ設クルコト第三、新聞記者學校ヲ興スコト、第四、特ニ新聞社ニ限リ電信郵便稅ヲ遞減スルコト等重ナル問題ニシテ、此等ヲ論議スル爲メ十數日ヲ費セリ。

本邦新聞記者トシテ日報社ヨリ飯塚茂太郎、中央社ヨリ星一ヲ代表者トシテ出席セシメ且兩氏ノ名義ヲ以テ、日本新聞ノ沿革ニ關スル小冊子ヲ佛英ノ二國語ニテ印刷シテ之ヲ四百六十人ノ萬國新聞記者ニ配布セリ。

從來此ノ萬國新聞記者會議ハ毎年各國ニ行ハレ既ニ瑞典國「ストックホルム」、伊太利國羅馬、葡萄牙國「リスボン」府等ニ開設シタルコトアリ、千九百年ニ於テハ博覽會ヲ好機トシテ巴里ニ之ヲ開設シ、頗ル多數ノ來會者アリタリシハ已ニ述フルカ如シ茲ニ尤モ特筆シテ感謝スヘキハ各國新聞記者ニ對スル佛國ノ新聞記者特別委員會及ヒ佛國政府、巴里市長カ斡旋ノ懇篤周到ナリシニアリ。即チ各國ノ新聞記者ハ數回大統領官舍ニ招待セラレ、又市長ハ其ノ市廳ニ特ニ新聞記者ノ爲メニ遠來ノ勞ヲ慰ムル爲メ饗宴ヲ開キ、巴里新聞記者高等委員會ハ佛國ヲ三分シテ、伊太利國境「アルプス」山地方ニハ「オランジュ」ノ舊城ニ、「ロアール」縣ノ廣原等名所舊蹟ノ存スル所ニ特別上等滊車ヲ以テ無賃ニテ案内シ、其ノ到ル處ニ歡迎セラレ、馬車、滊船及ヒ休泊等ニ至ルマテ一切ノ費用ハ擧テ其ノ地方官廳又ハ有志家ニ於テ負担シ又各新聞記者ノ歸國ニ際シテハ各鐵道會社ハ國境ニ至ルマテ無賃ニテ乘車セシムル等其待遇ノ厚キハ誠ニ感嘆ニ堪ヘサル所ナリ。

第五　殖民地新聞記者團躰特別館

此ノ特別館ハ佛國所屬ノ各殖民地ニ於ケル新聞記者及ヒ其ノ母國タル佛國ノ新聞記者ニシテ日常殖民地問題ニ熱心ナル記者ノ一團躰ニ依テ造ラレタルモノナリ。「トロカデロ」庭園内佛國殖民地ノ中央ニ建築セラレ「イスヒタリエー」氏ノ建築ニ係ル。固ヨリ宏大ナル建築ニアラスト雖モ甚タ堅牢ニシテ室ノ構造空氣ノ流通ヲ自在ナラシメ、尤モ殖民地ニ適合スル建築ナリトス。室内ハ「セネガール」「コンゴー」「マダガスカル」「トンキン」等佛國所屬ノ各殖民地ヨリ集メタル槍及ヒ弊、其ノ他ノ生産物ヲ以テ裝飾シ、中央ニ設ケラレタル大ナル讀書室ニハ各殖民地ニ於テ發刊スル新聞及ヒ母國ニ發行スルモノニシテ殖民地問題ニ熱心ナル新聞ヲ集メテ何人ニモ之ヲ縱覽セシメ公衆ニ殖民地問題ヲ研究スルノ便ヲ與ヘ、又遠ク殖民地ヨリ來リタルモノヲシテ此ノ特別館ニ入リテ恰モ其ノ國ニ歸リタル思アラシメタリ。

抑殖民地新聞記者團躰ハ已ニ十年以前ニ巴里ニ設ケラレタルモノニシテ百五十名以上ノ會員ヲ有セリ。會長ハ「ポールヴィヴィヤン」氏ニシテ尤モ熱心ナル殖民地研究者タリ。十年以前ハ佛國新聞記者ニシテ殖民地問題ヲ研究スルモノ尠少カリシニ、同氏ハ早ク主導者トナリテ熱心ニ

此ノ團体ヲ組織シタリ。蓋シ今日佛國カ殖民地問題ニ熱心ナルニ至リタルハ同民ノ唱導與テ力アルモノナリ。

此ノ特別館ハ佛國民ニ其ノ所屬地ノ模様ヲ居ナカラニシテ知ラシメ、殖民問題上少ナカラサル利益ヲ與ヘタルハ言ヲ俟タナル所ニシテ、人若シ殖民地ノ風土、氣候、人情、生産物ノ如何等ニ就テ聞カント欲スルトキハ事務員ハ喜ンテ細詳ナル說明ヲ爲シ毫モ遺憾ナカラシメタリ。

第六　加特力傳道特別館

加特力傳道特別館ハ「トロカデロ」庭園内葡萄牙國特別館ト地下鑛山トノ間ニ建築セラレ、建築技師ハ「モンタマール」氏ニシテ洒落ナル構造ナリ。此ノ館内ニハ專ラ外國ニ派遣セラレタル佛ノ傳道師ノ事業ト其ノ成績及ヒ歷史的紀念物等ヲ蒐集セリ。蓋シ佛國傳道師カ生死ヲ賭シテ深ク不毛ノ地ニ入リ布敎ノ爲ニ足跡ヲ印シサル地方ハ是カ爲メニ商品販賣ノ媒介トナリタリ。國權ノ擴張上與テ力多キハ更ニ喋々ヲ辨ヲ竢タサル所ニシテ、彼等カ幾多屍ヲ原野ニ曝スノ悲境ニ遭遇スルモノ多キニモ拘ハラス、不屈不撓猶勇氣ヲ奮ツテ布敎ニ從事シ其ノ經過シタル地方ニハ學校ヲ興シテ文明ノ傳播ヲ計リ若クハ許多ノ書籍ヲ著ハシテ未開ノ地ヲ紹介スル等其ノ効績列擧ニ遑マアラストス。今此ノ特別館ニ於テ此等傳導師ノ遺業ヲ追懷スヘキ出品多々ナルヲ見テ誰カ感慨ナキヲ得ンヤ。

先ツ館内階下ノ一室ニ入リテ第一ニ注目セラルルハ六個ニ區分シタル「デオラマ」ニ於テ幾多傳道師ノ遭難ノ樣ヲ顯ハシタルモノ是レナリ。一見悲慘ニ堪ヘサラシムルト同時ニ彼等ノ勇氣ト熱心トニ感動セサルヲ得ス。其ノ内尤モ慘憺ノ極ト云フヘキモノハ千八百三十八年佛領東京ニ於テ彼ノ有名ナルモンセギユール、ボリー」氏カ土人ノ爲メニ虐殺セラルヽ圖ニシテ、鉈刀ヲ用テ首ヲ切ルコト六回ニシテ未タ斷タス、七回ニ至リテ始テ首落チントスルノ有樣ヲ寫キタルモノヽ如キハ一見掩目シテ再ヒ視ルヲ厭ハシム。又千六百八十三年「アルヂエリー」港砲撃ニ方リテ當時ノ佛國領事ニシテ傳道師代理ノ資格ヲ有シタル「シァンル、ヴアシエー」氏カ土人ノ建築シタル砲臺ニ裝置シアル砲門ニ吊リ下ケラレ、死ヲ以テ改宗ヲ脅迫セラルヽノ狀態ヲ示シタルカ如キ人ヲシテ慄然タラシム。此ノ歷史ハ彼ノ有名ナル佛ノ海軍大將「デユケーヌ」ノ「アルヂエリー」砲撃ニ際シ起リタル出來事ニシテ、歷史上有名ノ事實ナリ。其ノ他世界ノ僻偶ニ於テ熱心ニ經營シツヽアル處ノ傳道師及ヒ女僧等ノ苦心艱難ノ有樣、亞弗利加「コンゴー」ノ空漠ナル原野ニ建テラレタル極メテ寂寥タル寺院中ニ生活スルノ有樣「ビルマ」國ノ首府「マンダレー」ニ於ケル癩病病院ニ於テ女僧カ懇篤ニ癩病ノ土人ヲ看護スルノ有樣等皆此ノ「シオラマ」中ニ描出セラレタリ。

階下中央ノ一室ニハ「チーグル」河ヲ航行スル船ノ柳製ニシテ其ノ内部ヲ樹脂ニテ塗リタルモノヲ出陳セリ。

階上ニハ數多ノ出品アリ、本特別館ノ出品ハ寧ロ此ノ階上ニ網羅シタリト云フヘシ。陳列ノ裝置ハ布敎團躰ト國別トニ依リテ區分シタリ。概括シテイヘハ幾多熱心ナル傳導師カ經過シタル地方ノ人情風俗ヲ調査シタル書籍又ハ傳道師ノ經營ニナル學校生徒ノ成績及ヒ製作品等、

ナリトス。實ニ此等ノ物品ニ就テ深ク考フルモ如何ニ彼等カ人跡到ラサルノ僻土ニ刻苦艱難シタルカヲ判斷スルニ難カラス。其効果ハ非常ニ良善ニシテ彼等ハ只宗教ノ普及ニ對シテノミ効力アリタルニアラス、汎ク學術上ニ於テ至大ノ功績ヲ顯ハシタルモノト謂フベシ。殊ニ彼等カ外國ニ於テ著ハシタル處ノ地圖及ヒ各地ノ人情風土記等ハ地學協會及ヒ學者團躰ニ殊ニ貴重セラレテ有益ノ材料タルモノナリ。館中ノ貴重品ハ即チ此等ノ書籍ニシテ一タヒ亡失ノ不幸ニ遭ヘハ再ヒ見ルヲ得サル逸品タルモノナリ。

又布教園躰ノ會員カ小亞細亞及ヒ亞剌比亞語ヲ以テ著ハセル書籍ト支那ノ文章ニ關スル說明書幷ニ「アルマン、ダヴイド」僧ノ著ハシタル支那ノ禽鳥ニ關スル大部ノ書ハ蓋シ貴重品中ノ貴重ナルモノナリ。西藏ノ植物說明書、清國ノ軟體動物ニ關スル「ウード」氏ノ著書モ頗ル注目スヘク其ノ他支那國ノ部ニ至レハ支那人ニシテ加持力教ノ布教師トナリタル異風ナル支那服ヲ着タル模擬人形アリ、又七寶燒ノ多枝燭臺、十字架、古代佛像等數多アリ。亞非利加部ニハ土人ノ常ニ崇拜スル所ノ神ヲ顯ハシタル粗書ヲ無數出陳セリ。日本部ニ於テハ築地ノ天主教ノ家屋、神田小川町ニ於ケル女僧ノ學校ニ於ケル貧窮女生徒ノ手作物品及ヒ其ノ家屋ノ雛形等アリ。又朝鮮、南洋諸島ニ至ルマテ凡ソ足跡ノ及ヒタル地方ハ一トシテ出品セラレサルナシ。猶特筆スヘキハ本館中ノ尤モ偉觀トシテ著シキモノハ羅馬法王「レオン」十八世ノ油畫ニシテ、有名ナル「ハンヲヤマン、コンプダン」氏ノ筆ヲ揮ヒタルモノナリ。其ノ畫像ハ白衣ヲ着シ、赤キ上衣ヲ纏ヒ、笑ヲ含ミタル白晝異光ヲ放テル炯眼ハ殆ト眞ニ迫リテ活ケルカ如シ。

第七　佛語擴張會特別館

佛語擴張會ハ原語之ヲ「アリヤンス、ラランセーズ」即チ佛國同盟ト稱スレトモ其ノ實ハ佛語ノ擴張ヲ目的トスルモノニシテ佛蘭西語ノ範圍ヲ世界ノ各隅ニ擴張スル爲メニ設ケラレタルモノナリ、現ニ巴里市「ソルネル」街ニ其ノ事務所ヲ置キ、盛ンニ佛語ノ擴張ニ盡力シ、既ニ多數ノ會員ヲ有シ、昨年（千九百年）ノ如キハ、其ノ事業ノ爲ニ一個年間ニ二十五萬法以上ヲ費シタリト云フ。今回ノ博覽會ニ際シ其ノ組織趣旨ヲ知ラシメンカ爲メニ特別館ヲ「トロカデロ」庭園内佛國殖民地ノ中央ニ設ケ、佛國ノ各殖民地及ヒ保護國ニ關スル書籍ヲ多數ニ蒐集シ殖民地ヨリ來リタル子弟其ノ他諸外國人ヲシテ佛語ヲ學フノ便ヲ得セシムル爲メ初歩小學ノ科目及ヒ日用佛語ヲ其ノ館内ニ於テ無報酬ニテ日々教授シタリ。現ニ本邦人中此ノ特別館ニ通學シテ居ルモノ數人アリタリ。

因ニ云フ昨年博覽會ノ爲ニ多數本邦人ノ渡航シタル機會ヲ利用シテ日佛協會ヲ巴里ニ創立シタリ。此ノ會ノ設立ニ付テハ在神戸佛國領事「ルイ、フォッサリュー」氏創立委員長トナリ最モ幹旋盡力シ「ポアソナード」「ベルタン」「アッペル」博士及ヒ「ルボン」博士等本邦ニ久シク滯在シタル佛國人ハ熱心ニ之ヲ贊成シ、本邦人ニ於テモ當時ノ佛國公使栗野慎一郎、平山成信、林事務官長等ノ諸氏ヲ生トシ在巴里本邦人ノ多クハ其ノ會員トナリタリ。昨年八月中「トロカデロ」日本喫茶店樓上ニ於テ始メテ日佛協會創立會ヲ開キ多數ノ推薦ニ依リ栗野公使「ポアソナード」兩氏ヲ以テ名譽會長トナセリ。在佛國日本公使ハ名譽會長ノ任ヲ受クルノ規約ナリ。其ノ後二回大宴

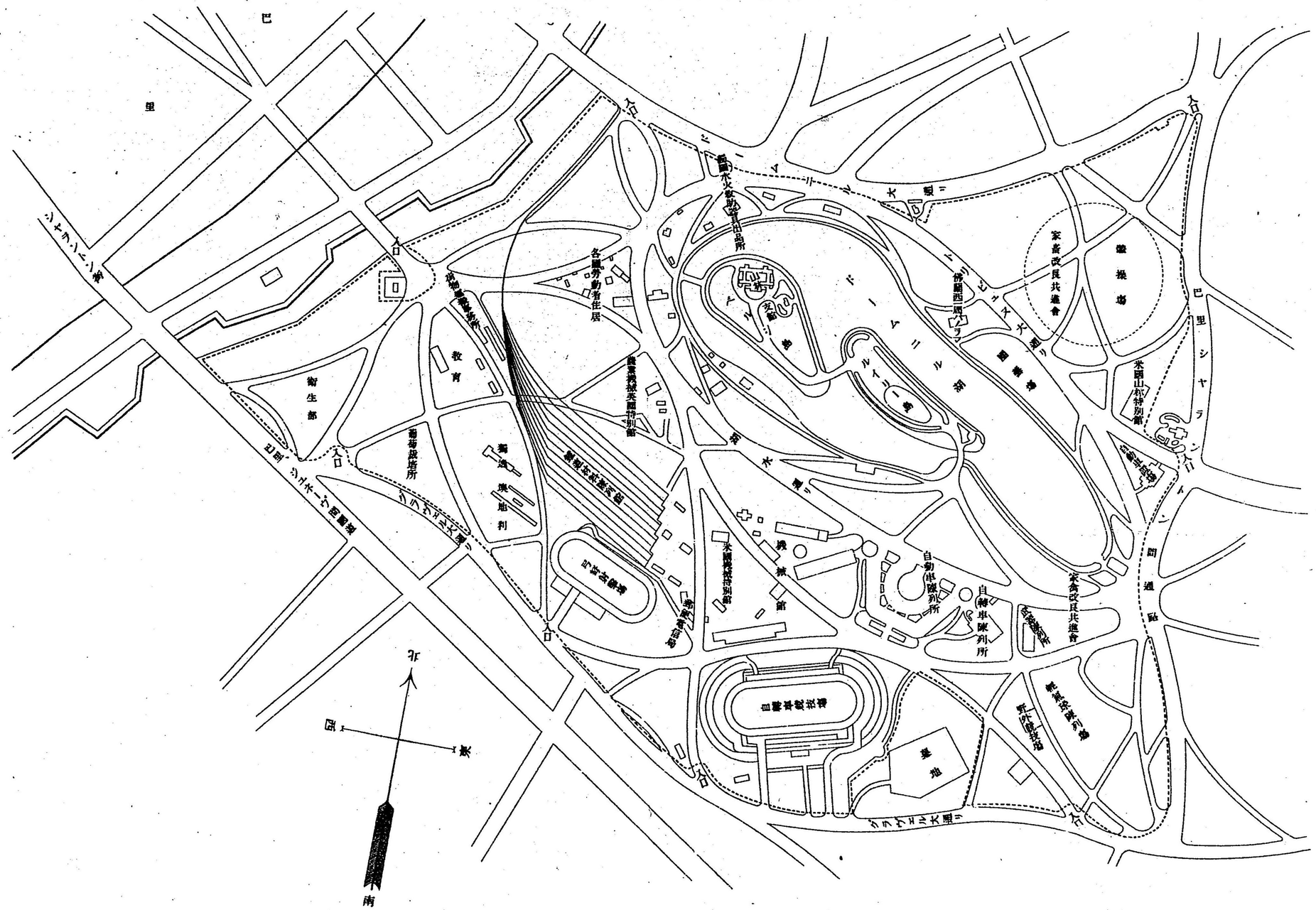
會ヲ催シ、東西兩美術國ノ和親ヲ謀ルニ勉メタリ。而カモ其ノ是ニ至リテハ佛語擴張會ノ熱心ナル補助ニ職由セスンハアラス。其ノ後十月ニ至リ巴里市繪畫學校視學官「フエリックス、レガーメー」氏ノ斡旋ニヨリ當時巴里ニ日本美術家ノ多ク來リタルヲ好機トシ「カルチエ、ラタン」ニ日佛美術家ノ懇親會ヲ開キタルコトアリシガ此ノ時モ亦佛語擴張會ハ少ナカラザル寄附ヲ爲シ、其ノ盛擧ヲ扶ケタリ。

第八　佛國三大銀行特別館

博覽會場内ニ於ヲ特別館ヲ設ケタル銀行三アリ、即チ「クレヂー、リオンネー」銀行「コントアール、ナショナル、デスコント」銀行是ナリ。何レモ佛國中最モ大ナル銀行ノ一ニ居リ、其ノ本店ヲ巴里ニ有シ、國内各地ハ勿論廣ク外國殖民地ニ支店ヲ設ケ、盛ニ其ノ業務ヲ擧クルモノナリ。其ノ資本ハ「クレヂー、リオンネー」ハ二億法「コントアール」ハ一億法「ソシエテ、ジェネラール」ハ一億六千法ニシテ、何レモ金融界ノ大勢力タリ。三者共ニ今回ノ博覽會ニ際シ富籤ノ發行ヲ引受ケタル「シンヂケート」中ニ其ノ名ヲ列セリ。

以上三銀行ハ會場内「シャンド、マルス」ナル「エッフェル」塔ノ附近ニ於テ各其ノ特別館ヲ設ケ、其ノ館内ニ於ヲ預金手形支拂、保護預リ等諸般ノ銀行事務ヲ執リ、公衆ニ便利ヲ與フルト同時ニ其ノ業務整頓ノ狀ヲ示サンコトヲ希圖セリ。又新聞雜誌ヲ備ヘテ公衆ノ閲覽ニ供シ、或ハ電信ノ往復ヲ媒介スル等銀行事務以外ニ於ヲ公衆ノ利便ヲ圖リタルモノ少カラス。亦務メタリト謂フヘシ。

圖全ヌンセンアヴ場會属附



十九世紀間ニ行ハレタル數回ノ萬國博覽會ハ何レモ巴里市内ニ開設セラレ且其ノ位置ハ最初「ルーヴル」宮殿内ニ擧行セラレタル以來「シャンゼリゼー」「アンヴアリード」「トロカデロ」「シャン、ド、マルス」ト漸次西方ニ向テ進ムノ傾向アリ、東方ニ位置セル諸街衢ハ常ニ其ノ恩惠ニ浴スルノ幸運ニ際會スルコトヲ得サリシナリ。

百種ノ科學工藝ハ歳月ト共ニ進ミ、大小博覽會ノ各地ニ開設セラル毎ニ出品人ノ數ヲ增シ、殊ニ較近ニ至リ進歩ノ著大ナル到底從來ノ場所ノミヲ以テ急激ニ增加セル出品人ノ多數ニ滿足ヲ與フル能ハサルノ狀況ナリ。今回千九百年大博覽會開設ノ議アルヤ、或ハ「プーローギュ」ノ公園ヲ以テセントシ、或ハ「サン、クルー」ヲ採ラントシ、甚キニ至テハ「ヴェルサイユ」ニ開設セントノ意見ヲ有シタル者サヘアリタリ。

斯クテ巴里ノ兩極端ニ位セル東西ノ兩區ニ於テ一時盛ンニ場所ノ競爭ヲ生ゼシカ、「ヴァンセンヌ」ノ區民ハ其ノ選出市會議員ヲ始メトシ下院ノ議員等ノ後援ニ依リ盛ンニ上下兩院其ノ他ノ官廳ニ懇請シ、數千人ノ連署シタル歎願書ヲ呈出シテ「ヴァンセンヌ」ニ會場ヲトセンコトヲ請願シタリ、然ルニ同公園ハ市ノ中央ヨリ隔離セルヲ以テ最初ハ之ニ反對スルモノ多カリシモ、非常ノ熱心ト不撓ノ忍耐ト加フルニ此ノ地方ノ區民ハ從來曾テ一回タモ斯ル恩惠ニ浴シタルノ幸福ナキトノ理由アルニ依リ稍其ノ目的ヲ達スルニ至リ、即チ先ツ各種ノ共進會ト郊外競技トノミヲ「ヴァンセンヌ」公園地ニ行フコトニ決セラレタリ。

第一戰ノ勝利ニ鼓舞セラレタル同區民ハ一層ノ勇氣ヲ以テ全勝ヲ期シ全會場ヲ其ノ地ニ設クルニ至ラサレハ止マサルノ決心ヲ示シタリ。恰モ好シ此ノ時ニ於テ「シヤン、ド、マルス」及ヒ「アンヴアリード」ノ兩地ノミニテハ到底廣ク內外ノ出品人ニ滿足ヲ得セシムルコト能ハス、必ス他ニ其ノ不足ヲ補フノ地ヲ選ハサル可ラストノ議アリ、是ニ於テカ古來絕エテ斯ル祝祭ニ參與スルノ幸福ヲ得サリシ區民ニ慈愛ヲ分タンカ爲メ、並ニ巴里市ヨリ受ケタル二千萬法ノ補助金ニ對スル報償トシテ「ブーローギユ」ノ公園ヲ捐テ、遂ニ「ヴァンセンヌ」公園內ニ大博覽會ノ附屬館ヲ建設スルコトニ決シタリ。

數千「ヘクタール」廣サアル同公園ハ其ノ中央ニ幽邃ナル池湖ヲ有シ、最モ舟遊ニ便ニシテ又各種郊外ノ競技ヲ行フニ便ナル此ノ地ニ如クモノナシ。唯市ノ中心ヲ離ルヽコト少シク遠キニ失スルヲ憾ミトス爲スノミ。兎ニ角市內會場ノ廣サハ百十八「ヘクタール」ナリシニ、今又加フルニ百二十「ヘクタール」ノ廣大ナル附屬館ヲ以テス、本博覽會ノ廣大ナル以テ知ルヘシ。

「ヴァンセンヌ」ハ巴里ノ東南ニ位シ同市ノ中心ヲ去ルコト七「キロメートル」、人口二萬七千五百人ヲ有スル一小都街ナリ。今日ハ造兵工廠、砲兵學校及ヒ各部ノ兵營アリテ、其ノ公園ノ有名ナルト共ニ亦樞要ノ一地區トナレルモ、昔時ハ王家ニ屬シタル狩獵ノ地ニシテ、今モ尙公園ノ森林中ニ當時ノ建築ニ係ル城砦ノ遺趾ヲ留ムルアリ。

巴里市ト「ヴァンセンヌ」トノ間ヲ連結セル交通機關ハ從來ヨリ存在スルモノアリ、又博覽會ノ爲ニ新タニ設ケラレタルモノアリ。首府電氣鐵道ハ其ノ最モ大ナルモノナリ。(第一編第五章參

照)

「ヴァンセンヌ」附屬館ハ前ニ述フル如ク其ノ廣サ殆ト巴里市內本會場ニ及ハントシ、面積廣濶ナルヲ以テ主トシテ土木、運搬及ヒ農業ノ如キ廣大ナル場所ノ占領ヲ要スル部類ハ多ク之ヲ此ノ附屬館ニ移シ、尙各種ノ競技會ヲ此ノ地ニ擧行シタリ。是レ亦廣大ナル場所ヲ要スルカ爲ニ外ナラスト雖モ、之ニ依テ市ノ中心ト甚タ隔絕セル此ノ地方ニ多數ノ人ヲ集ムルノ趣旨ヲモ兼ネタルコト明カナリ。尙同館內ニ陳列セラレタル各種出品ヲ大別スレハ凡ソ左ノ七區ニ分類スルコトヲ得ヘシ。

第一、鐵道、馬車鐵道其ノ他各種ノ市街鐵道ノ車輛、器具一式、之ニ充テタル總面積ハ二萬平方「メートル」

第二、自動車、各種ノ自轉車及ヒ各種ノ發動機等、此ノ第二區ハ二部ニ區分セラレ、一ハ主トシテ自動車ノ陳列ニ充テ、其ノ面積五千六百平方「メートル」他ノ一ハ專ラ諸器械ヲ陳列シ、二千四百平方「メートル」

第三、輕氣球

第四、農業用ノ各種機具、園藝及ヒ樹木培養法

第五、山林及ヒ果物ノ採摘

第六、海陸軍武器館

第七、敎育

左ニ順序ヲ追ヒ各區出品ノ概況ヲ述フヘシ、但シ是處ニ陳列セラレタル事物モ亦固ヨリ以上各章ニ於テ說述シタル各部類ノ一ニ屬スルモノナルニ由リ、間々重複スルモノアルヲ免レス、讀者之ヲ諒トセヨ。

第一節　鐵　道

「ヴァンセンヌ」公園ノ中央ニ湖水アリ、名ケテ「ドームニル」湖ト云フ。本附屬館、各種ノ共進會及ヒ野外競技ハ皆此ノ幽邃ナル湖水ノ周圍ニ於テ擧行セラレ、之ニ充テタル總面積ハ百二十「ヘクタール」即チ百〇九萬強平方「メートル」ナリ。鐵道及ヒ其ノ他各種ノ市街鐵道車輛器具ノ陳列館ハ同公園ノ正門ヲ入リテ最先ノ場所ニ位シ、城砦ニ接近シ、陸軍省ノ所轄地ナルカ故ニ、閉場後ハ直チニ舊形ニ復シ其ノ他一二ノ命令覺書ニ服從スヘキ條件ヲ以テ開場ヲ許可セラレタリ。本鐵道館ハ十棟ヨリ成立シ、之ヲ分チテ五部ト爲シ、而シテ各部ニ四線路ノ鐵道ヲ布設シ、總計二十二線ノ鐵路此ノ十棟內ニ並行セリ。土木及ヒ運搬ニ關スル第六部第三十二類ノ出品ヲ此ノ內ニ陳列シ、總面積ハ二萬平方「メートル」即チ二「ヘクタール」ヲ占メタリ。其ノ陳列品ノ種類ヲ列擧スレハ左ノ如シ。

第一部ニハ廣軌及ヒ狹軌鐵道、轉路器、回轉橋、降雪ヲ防禦スル建設物、機關車、客車、貨車及ヒ共通制動機等ノ運搬用器具、其ノ他旅客運賃表、列車表、其ノ他總テ鐵道營業ニ關スル事物ヲ陳列セリ。

第二部ニハ第一部ニ陳列シタル以外ノ方式ニ成リタル鐵道ニ關スルモノヲ出品セリ。其ノ重要ナルモノハ齒條鐵道、鋼索鐵道、高架鐵道、滑車鐵道、其ノ他回轉架道等ナリ。

第三部ハ「トラムウェー」ニ關スル部門ニシテ、其ノ陳列品ノ重モナルモノハ鐵軌ノ各種類、轉路器、獸力ヲ以テ運轉スル車、自動機關車、機械力ヲ以テ運搬スル車輛、其ノ他之ニ用ヰル發動機（熱湯、壓搾シタル空氣、電氣等ノ如キ）等ナリ。

第四部ニハ鐵道ニ類似シタル特別ノ運搬方法ヲ陳列シタリ。例セハ船舶ヲ運搬スル鐵道ノ類ヲ云フ。

第五部ニハ參考書類ヲ陳列セリ。即チ鐵道ニ關スル統計及ヒ地圖、其ノ他種々ノ出版物等是レナリ。

此ノ鐵道館內ニハ歐洲各國、北米合衆國及ヒ佛國ノ諸鐵道會社ヨリ最急行機關車、整頓シタル瀧車ノ一列、特別上等車、及ヒ各種ノ貨車等ヲ出品シ、十個ノ連棟ヨリ成レル大館ニ二十二條ノ鐵軌ヲ連ネ其ノ上ニ是等ノ車輛ヲ陳列シタル等ノ設備ヲ見レハ、宛然一個ノ萬國大停車場タルノ觀アリ。

佛國ハ館ノ左翼ヲ占領シ、諸外國ハ其ノ右翼ヲ占メタリ。諸外國中北米合衆國及ヒ伊太利ノ二國ハ本館ノ外別ニ各特別ノ機械館ヲ設置シタリ。左ニ各國出品物中顯著ナルモノ二三ヲ擧ケシ。

本會場ノ各部ノ出品物ヲ通觀セハ佛國ノ工藝ハ巍然トシテ諸國ニ卓絕スルモノアルヲ認メタリシモ、一歩ヲ「ヴァンセンヌ」ノ附屬館ニ容レテ鐵道ニ關スル各國ノ出品ヲ比較スルトキハ、佛國ノ甚タ諸強國ニ劣ルモノアルヲ見ルナリ。之ニ反シテ北米合衆國ノ如キ各種ノ機械的事業就中鐵道事業ハ駸々乎トシテ日ニ進歩シ、或ハ巨大ニシテ便利多キ或ハ輕快ニシテ緻密ナル種々ノ材料ヲ出品シテ舊世界ノ人心ヲ驚歎セシメタルニ比スレハ、聊其ノ時運ニ後レタルヲ感セスンハアラス。唯僅カニ東部鐵道會社ヨリ出品シタル最急行機關車等二三ノ材料ノ稍見ルヘキモノアリシノミ。佛國諸鐵道會社中參同シタル重モナルモノハ官設鐵道ヲ始メトシ巴里、里昂、地中海會社、「オルレアン」、「東部、北部鐵道會社等ナリ。是等諸會社ノ出品多クハ各種類ノ信號機械、轉路器等ニ過キス、其ノ間多少見ルニ足ルヘキ改良ヲ加ヘタル點ナキニアラスト雖モ、堂々タル佛國ノ大鐵道會社ノ出品トシテハ遺憾ナキ能ハス。例ヘハ「オルレアン」會社ノ出品ニ係ル圓形信號機ノ如キ要スルニ平凡タルヲ免レス、其ノ他銅ヲ以テ被裝サレタル機關モ亦凡タルヲ免カレサルナリ。

東部鐵道會社ハ前者ニ比シ稍有益ナル材料ヲ出品シタリ。即チ一時間ニ百三十「キロメートル」ヲ馳走スル最強力ノ機關車ヲ始メトシ甚タ精密ナル構造ヲ有スル機關メ動キニ依リ無數ノ信號板及ヒ夜間數十色ノ信號器ヲ上下スル電氣信號機（エレクトロ、ヒマフール）ノ如キ又ハ精巧ナル器具ヲ鐵軌ノ上ニ設置シ、汽車ノ其上ヲ通過スルトキハ電氣ノ作用ニ依リ次ノ停車場ニ電鈴及ヒ信號ヲ以テ其ノ通過ヲ豫報スル機關ノ如キ、最モ有益ナル材料ト爲スヘク稍佛國ノ面目ヲ保チタリ。

巴里里昂、地中海鐵道會社ヨリ出品シタルモノハ、内稍見ルヘキモノハ細長ノ長方形ナル風切（ロンヌ）形機關車ナリ、此ノ機關車ハ其ノ面ヲ灰白色ニ塗リタリ、蓋シ黑色ハ漸次世ニ捐テラルヽノ兆ヲ顯ハスカ如シ。又外國ニ於テハ近時漸ク丈高キ機關車ヲ製造スルノ傾向アレトモ、佛國ハ如何ナル理由アリテカ此ノ大勢ニ背キ依然トシテ舊形ニ甘シセリ。

北部鐵道會社ヨリ出品シタルモノハ最急行機關車及ヒ佛内重要ニシテ人目ヲ引キシモノヽ内重要ニシテ人目ヲ引キシモノハ最急行機關車及ヒ佛國ト白耳義國トノ間ニ交通連絡ヲ司リ、二國ノ貿易ニ貢献センカ爲ニ新タニ製造セラレタル巨大ノ汽車等ナリ。其ノ他官設鐵道局ヨリモ大小各種ノ機關、器具ヲ出品シテ稍佛國陳列部ニ光彩ヲ添ヘタリ。概シテ私設鐵道ハ官設鐵道ニ劣ルカ如シ。

（二）外國部

外國部ニ於テハ無數ノ機關車、客車及ヒ貨車列ヲ爲シ盛觀ヲ極メタリ。元來鐵道ニ關スル博覽會ナルモノハ其ノ陳列上甚タ廣大ナル場所ヲ要シ、之ニ適當スル地ヲ見出スニ困難ナルカ爲ナリ。然ルニ鐵道ノ諸機關ハ日々ニ改良刷新ヲ加ヘ、彼ノ「マレー」式ノ諸強國間ニ擴張セラレタル如キ實ニ昨今ニ在リ。抑此ノ式ノ發明者タル「マレー」ハ佛國人ニシテ氏ハ十五年以來間斷ナク之ヲ佛國ニ實施セント企テシカ不幸ニシテ自國ノ歡迎ヲ受ケス、反ツテ外國ノ喝采ヲ博シ遂ニ氏ヲシテ「何人モ其ノ生國ニ於テハ大事ヲ行フコト能ハス」

ト云フ諺ノ世ヲ欺カサルヲ感セシメタリ、而シテ「マレー」式ノ利害得失ニ關シテハ既ニ定論アレハ茲ニ之ヲ贅セス。

瑞西國、第一部ニアルヤ瑞西國ノ鐵道部ニシテ「シャフース」製鐵所ノ出品ニ係ルモノ最モ多ク、而シテ其ノ大半ハ諸外國ノ依頼ニ應シテ製造シタルモノナルカ如シ。諸材料中二三ノ重要ナルモノヲ擧クレハ挨及鐵道會社ノ爲ニ製造シタル機關車ハ車首甚タ低ク、而シテ耕耘用ノ鋤ニ極似シタル砂除ケノ幅廣キ機械ヲ裝置シ、全ク砂漠地ノ專用ニ屬スヘキモノニシテ、石炭又ハ石腦油ノ兩樣ヲ用キヘキモノナリ。其ノ他尚里昂市街ト同市「フウールウイエール」丘トノ間ヲ上下スル「ウエスト、リヨネー」鐵道會社ノ爲ニ製造シタル電氣車ノ如キハ平路ヲ馳走シ、又坂路ヲ昇ルニ堪フヘキ齒條式(クレマイエー)裝置ヲ有シ最モ利便ナルヲ認メタリ。

英國　瑞西國ニ近キ場所ヲ占領シタルハ英國ナリ。英國モ亦大小各種ノ機械ヲ出品シタルカ、就中吾人ノ注意ヲ引キタルハ重油ヲ用キル機關車ナリ。此ノ機關車ハ六百哩ヲ走ルニ四百「ガロン」ノ重油ヲ以テ足レル頗ル利便ノモノニシテ、現ニ英國ノ或鐵道會社ノ如キハ此ノ種ノ機關車六十臺餘ヲ使用シ非常ノ好成績ヲ得タリト云フ。結局右機關車ニハ二ツノ利便アリ、第一運轉ノ停止中ハ燃料物ヲ燒カサルコトヲ得ルカ故ニ經濟上ノ利得アリ、第二保存上頗ル簡易ナリ。

獨逸國、匈牙利王國、伊太利國ニ獨逸國ノ出品物中最モ重要ニシテ有益ナリト認メラレタルモノハ當時「ザン、ゴタルド」線ニ使用スル二十五臺ノ機關車ノ内其ノ一臺ヲ出品シタルモノヲ是レナ

リ。又匈牙利王國ヨリ出品シタル巨大ナル客車ノ一列ハ製造ノ完全ナルト内部ノ裝置周到ナルトニ依リテ人目ヲ引キ、又「ブダ、ペスト」市、市街電氣車モ亦好成績ナリ。伊太利國ハ北米合衆國ト同樣ニ自國專用特別館ヲ他ニ設置シタレトモ、本鐵道館ニモ亦「ビユルマン」式特別上等汽車ノ一列ヲ排列シタリ。

露國　露國ハ各部ニ於ケルト同樣本鐵道部ニ付テモ亦大ニ力ヲ致シ、陳列品モ饒多ナリ。其ノ中比較的重要ナルモノハ三個ノ「シリントル」ヲ有スル新式ノ機關車ヲ附シタル急行列車及ヒ聖彼得堡莫斯科間ニ使用スル上等寢臺付客車ノ如キハ最新式ヲ應用シ頗ル見ルヘキモノナリ。就中最モ暖國ノ人ヲシテ一種ノ興味ヲ感セシメタルハ、露國ニ於テ冬間屢見ル甚タ危險ナル鐵路ノ積雪ヲ排除スル各種ノ方法ヲ模型ト圖畫トヲ以テ示シ、傍ラニ積雪防禦具、雪掻キ及ヒ積雪障碍具ヲ裝置シタル特別機關車等ヲ陳列シタルモノ是レナリ。

北米合衆國　北米合衆國ハ別ニ自國專用ノ廣大ナル特別機械館ヲ設置シタレトモ、鐵道ニ關スル諸材料ハ伊國ト等シク萬國共同ノ鐵道大館ニ出品シタリ。合衆國近世ノ進歩ハ實ニ驚歎ノ外ナク特ニ物質的ノ學問ニ於テ之ヲ見ル。今ヤ本博覽會ニ在テモ同國ノミニテ四萬平方「メートル」ノ特別機械館ヲ設置シ、鑛山、冶金、農業其ノ他諸般ノ事業ニ關スル大小各種ノ機關及ヒ機械ヲ陳列シ左シモ廣大ナル機械館ヲシテ尚且場所ノ狹隘ヲ憾マシメ、鐵道本館ニモ亦各種ノ機關器具ヲ出品シテ大ニ其ノ國光ヲ輝カスニ勉メタルハ實ニ盛大ト謂ハサルヘカラサルナリ。例ヘハ異常ナル巨大ノ機關車ニシテ石油ヲ以テ運轉スルモノアリ、或ハ石炭ヲ以テ燃料

トスルモノアリ、其ノ車輛ノ巨大ナル直徑三「メートル」ニ及フモノアリ、其ノ他「ロツキ」山顛傾斜ノ經過ニ專用スル機關車ハ十個ノ車輛ヲ列子其ノ大ナルコト實ニ異常ニシテ見ル者唯驚クノ外ナカリキ。

又高サ四十二「メートル」幅六十九「メートル」ノ絶大ナル鐵道圖ヲ出品シタルモ北米合衆國ナリ。此ノ地圖ニ二種ノ甚タ注意スヘキ特長アリ、其ノ一ハ合衆國ノ領内ヲ流ルヽ大小ノ河川ト、總鐵道線路トヲ浮彫ノ如ク凸出セシメタルト、他ノ一ハ此ノ河川ト全線路トヲ照スニ數色ノ光彩ヲ發スル電氣燈ヲ以テシ、其ノ位置區劃ヲ最モ明晰ナラシメタルコト是レナリ。此ノ考案ハ衆目ノ集注スル所トナリテ、彼ノ「シャン、ド、マルス」區ノ呼物ノ一タル衣服館ニ於ケル里昂市織物商ノ意匠ニ係ル里昂絹織物ノ見本室内ニ於テ大小數十婦ノ活人形ニ流行服ヲ着セシメ、電氣ヲ以テ絹色ノ光澤ヲ放タシメタルノ考案ト共ニ東西相伯仲シテ頗ル世ノ賞讃ヲ博シタリ。」

其ノ他、墺國及ヒ白耳義ノ二國モ亦種々ノ機械、機關車等ヲ出品シタレトモ、顯著ナルモノナシ。唯佛領「アルジェリー」ノ部ニ於テ南「アルジェリー」會社ノ出品シタル新式材料ハ稍觀覽者ノ注意ヲ引キタルモノヽ如シ。

以上佛國及諸列國ヨリ出品シタル大小各種類ノ鐵道ニ關スル材料ヲ研究スルニ一長一短アリト雖モ、要スルニ佛國ハ鐵道ノ部門ニ於テハ外國ニ一歩ヲ輸スルコト明白ナル事實ニシテ同國ノ爲メ頗ル遺憾トスヘシ。

部國佛館械機メンセンテグ

部國外

第二節　第二區乃至第七區ニ關聯スル各種發動機

(一)　自動車及ヒ之ニ關聯スル運搬ノ出品ハ本部ノ重要ナルモノニシテ、

自動車及ヒ自轉車ハ一半ヲ「シャンド、マルス」會場ニ收メ、他ノ一半ヲ「ヴァンセンヌ」ニ移シタリ。然トモ第一區ノ鐵道機關車、其ノ他客車等鐵道ニ關スル運搬ノ出品ハ本部ノ重要ナルモノニシテ、第二區ノ自動車及ヒ自轉車ノ如キハ寧ロ重キヲ「シャンド、マルス」ノ本館ニ置ケリ。「シャンド、マルス」ト當「ヴァンセンヌ」ト二出品シタル佛國及ヒ諸外國ノ自動車ヲ比較スルニ、第一等ハ佛國ニシテ諸列國ニ擯ンスルコトハ顯著ナル事實ナリ。又外國中稍見ルヘキモノハ獨、英及ヒ北米合衆國等ニ過キス。而シテ其ノ形狀ハ數十種類ニ及ヒ、例令ハ「ランドウ」形ナルモノアリ、馬車形アリ、其ノ馬車形ノ內ニモ猶數十種アリ、特ニ甚キニ至ッテハ水雷艇形ニ象ルモノ、水雷驅逐艇形ニ摸擬スルモノ等愈〻出テ、愈〻奇形ヲ案出スルノ形勢ナリ。其ノ迅速ナルニ至テハ一時間ニ七八十哩ノ快速力ヲ出セリ。各種ノ自動車中一般ノ意向ニ適スルモノハ姍雅ニシテ華美ナル形ヲ愛スルモノヽ如シト雖モ、審査ノ結果ニ依レハ靜泰（コンフォルタブル）安逸ノ點ニ最モ重キヲ置キタルカ如シ。

以上所記ノ交通機關全體中鐵道ノ部門ニ於テハ北米合衆國ヲ第一等ト爲シ、自動車ニ付テハ佛國ハ正ニ首位ヲ占ムル榮譽ヲ得タリ。

(二)　輕氣球

輕氣球モ亦運搬及ヒ土木ノ部門ニシテ、市內會場タル「シャンド、マルス」ニ於ケル第六部第三十四類ニ屬セリ。然トモ場所ノ狹隘ナルカ爲メ亦「ヴァンセンヌ」ノ附屬館ニ移サレタリ。

出品ス重ナルモノハ輕氣球ノ製造ニ要スル材料、軍用輕氣球、方位ヲ定メテ進行スル輕氣球、繫留輕氣球及ヒ降下用ノ傘等總シテ輕氣球ニ關スル事物一切ヲ網羅セリ。

佛國ニハ曾テ輕氣球倶樂部ノ設ケアリ、殊ニ千八百七十年ノ獨佛戰爭以來朝野擧テ此ノ問題ノ研究ニ熱中シタルカ故ニ其ノ出品物ノ豐富ナルコト素ヨリ其ノ所ナリ。佛國ト優劣ヲ爭フハ諸強國中唯一ノ獨逸アルノミ。即チ此ノ二大軍國ヲ外ニシテハ敢テ見ルヘキモノナシ。又氣球ノ大競爭會（グランコンクール）ハ六月十七日ヲ初メトシ、博覽會開會中屢「ヴァンセンヌ」公園内ニ催サレタリ。其ノ狀況ハ第四節郊外（スバル）競技ノ部ニ於テ陳フヘシ。

（二）農業用各種ノ器具、園藝及ヒ樹木培養法

農業ハ第七部ニ屬シ、其ノ本館ハ「シャン、ド、マルス」ニ在リト雖モ、是レ亦場所ノ狹隘ナルカ爲ニ同部ノ第三十六類ノミヲ當地ニ移シタリ。即チ葡萄培養ノ器具一般、例ヘハ葡萄園ニ要スル各種建物ノ模型、葡萄樹ノ類聚及葡萄酒醸造ヲ擧テ之ヲ「ヴァンセンヌ」ニ陳列シタリ。

英國、西班牙及ヒ伊太利等ハ各自國專用ノ農業機械館ヲ設ケ以テ農業ニ關スル全般ノ機械ヲ陳列シテ市内會場ノ本館ニ出品シタル自國ノ農業部ヲ補充シタリ。

此ノ他佛國農務省ハ當地ニ家畜改良ノ大共進會ヲ催シ、又飼鳥ノ競爭會等アリト雖モ、此ノ二ツハ農業大博覽會ノ出品ニアラスシテ、寧ロ時期ヲ利用シテ斯ル共進會ヲ催シタルモノニ過キス。故ニ此等ハ第四節ノ範圍ニ入ルヘキモノトス。

園藝及ヒ樹木培養ニ關スル出品モ亦「ヴァンセンヌ」ニ陳列セラレタルコトハ第七章ニ之ヲ述ヘタルカ如シ。

（四）山林及ヒ水產ノ支館ハ「ドムニル湖中「ベルシー」島内ニ建築セラレ、伊國ノ如キ現ニ其ノ處ニ出品シタレトモ觀覽者ノ多クハ此ノ支館ノ存在ヲタニ知ラサリシモノ多カリシナラン。然ルニ北米合衆國ハ別ニ自國專用ノ山林特別館ヲ設ケ、頗ル有益ニシテ加モ珍奇ノ材料ヲ陳列シ大ニ人目ヲ引キタルモノ、如シ。

其ノ他飼鷹共進會ヲ催シ、地ヲ「ドムニル」湖畔ニトシテ、其ノ技ヲ闘シタリ。然トモ此ハ博覽會ノ出品ニアラサルカ故ニ亦第四節ノ範圍ニ入ルヘキモノトス。

（五）武器館

海陸軍ノ武器本館モ亦「シャン、ド、マルス」會場「セーヌ」河畔ニ在リ、然ルニ尚之ニ加フルニ「ヴァンセンヌ」ノ附屬館ヲ以テシタリ。而シテ此ノ附屬館ニハ軍用自動車及ヒ双輪車、天幕ヲ始メトシ巨砲、野營具一切、其ノ他輜重列車等面積ヲ要スルモノヲ陳列シタリ。「シャン、ド、マルス」ノ本館ニ於テハ佛國ハ殆ト全館ノ三分一以上ヲ占領シ、又諸強國中ニ在テハ露、英ノ二國ヨリモ各種ノ武器ヲ出品シタレトモ、聊意外ナリシハ獨逸國カ精巧ヲ極メタル武器ヲ出品セサルコト是レナリ。而シテ「ヴァンセンヌ」ニ於テモ獨逸國ノ見ルヘキ出品ナク、其ノ多數ハ佛國海陸軍ノ出品ニ係レリ。

自働車ノ流行ハ近時益甚シク曾テ一部ノ嗜好者間ニ行ハルヽノミナラス、今日ニ於テハ將ニ

重要ナル兵器ノ一ダランストスルノ勢アリ。蓋シ一時間ニ七八十哩ヲ走ルノ機關車ハ兵事家之ヲ等閑ニ附スルコト能ハサルナリ。目下佛國陸軍ニテハ各部門ニ於テ試驗中ナルノミナラス、現ニ傳令若クハ捜索等ノ場合ニハ之ニ依テ其ノ任務ヲ爲スト云フ。公評ニ依レハ自動車カ兵事上重要ナル任務ヲ任フヘキヤ否ヤハ最早過去ノ問題ニ屬シ、唯殘ル所ハ之ヲ採用スル時期ノ問題ニ過キスト云フ。而シテ今日歐洲ニ於テ最モ之ヲ利用スル邦國ハ佛國ナリトス。

(七) 教育

教育部中第三類ニ屬スル高等教育及ヒ學術調査派遣員ニ關スル事物ノミ之ヲ「ヴァンセンヌ」ノ附屬館ニ移セリ。故ニ本館ニ充分ナル場所ヲ有セサル邦國ハ何レモ當附屬館ニ陳列シタリ。」

以上第一區ヨリ第七區マテハ總テ本館タル市内會場ノ附屬館ニシテ、所謂千九百年大博覽會ノ之ヲ待テ全キヲ得ルナリ。然トモ第一區ハ其ノ他ハ左マテ重要ナルモノナク、從テ觀覽者ノ數モ市内ニ比スレハ頗ル少數ナリキ。而モ其ノ多クハ出品ヲ見ルヨリハ寧ロ各種ノ共進會ト郊外競技トニ重キヲ置キテ之ヲ見ンカ爲ニ來リシモノナラント察セラル。本邦ノ出品ハ總テ皆市内會場ニ陳列シ、當「ヴァンセンヌ」ニ出品シタルモノナシ。

第三節 特別館並ニ各種ノ共進會

「ヴァンセンヌ」會場内ニ館ヲ設ケタルモノ大小數十アリ、就中其ノ重要ナルモノヲ擧クレハ勞働者部落、北米合衆國器械館、家畜改良共進會、飼鳥術共進會、飼廩共進會、料理店及ヒ珈琲店、弓術競銃、合衆國山林館、其ノ他英、伊等ノ農業館是レナリ。

(一) 勞働者部落

勞働者部落トハ各國ノ勞働者生活ノ狀態ヲ示スモノニシテ、所謂社會經濟ノ問題ニ屬セリ。現今歐洲各強國ハ競フテ勞働者保護ノ途ヲ講シ、或ハ制度ヲ設ケ或ハ法律ヲ發シ、衞生ニ、日常ノ生活ニ、各種ノ方面ヨリ救助ヲ與ヘテ社會問題ノ解決ニ汲々タリ。本博覽會ニ際シ特ニ勞働者ノ住居並ニ之ニ適當ノ住居ヲ供與スル組織ヲ出陳シ勞働者住居問題ニ好箇ノ研究資料ヲ與ヘタリ。

英國　英國勞働者ノ住居ノ見本ハ小ナル建物ニシテ甚タ嫻雅ナリ。此ノ家屋ハ下部ハ赤煉瓦ニテ造リ、上部ハ白壁以テ塗リ、骨材ハ木ニシテ、屋蓋ハ瓦ナリ。一見頗ル人意ニ適シ、優暢ノ態ヲ示セリ。只遺憾ナルハ窓口ノ小ニ過キ、加フルニ小格子ニ玻璃ヲ嵌裝シタルハ其ノ狀恰モ中古時代ニ於ケル窓口ニ類似シ、空氣ノ流通上非難ヲ免レス。衞生上一層窓口ヲ廣クシ光線ヲ通スルノ設計ヲ希望セサルヲ得ス。

然トモ内部ノ構造ニ至テハ佛國勞働者ノ住居家屋ノ内部ニ比スレハ遙ニ高等ニシテ、其ノ裝飾華麗ナリ。一方ニハ華奢ナル食堂ト洗濯場トヲ有シ、他ノ一方ニハ修飾サレタル客室ヲ設ク。是レ既ニ過分ノ觀アルニ尚階段ニハ厚キ敷物ヲ敷キ、階上ニハ裝飾セラレタル三個ノ室ヲ擁ヘタリ。佛人歎シテ曰ク、若シ佛國ノ勞働者ヲシテ此ノ家屋内ニ入ラシメハ彼レ必ス云ハン、是レ紳士ノ住居ナルカト、眞ニ然リ。然リト雖モ是レ畢竟社會ノ組織ヲ異ニシ又風俗ノ異ナ

ルニ歸セサルヘカラス。現ニ英國ノ勞働者ハ概シテ佛國ニ於ケルヨリモ多額ノ賃銀ヲ獲ルコト容易ナルカ故ニ其ノ生活モ亦從テ容易ナルコトヲ得ルカ爲ナリ。

瑞西國　瑞西國モ亦吾人ニ勞働者住宅ノ模型ヲ示シタリ。其ノ構造タル頗ル實際的ニシテ床高ク二階造リナリ、窓口及ヒ入口頗ル廣ク一見清潔ニ且快活ニシテ、八ヲシテ爽快ヲ感セシム。又其ノ周圍ハ野菜園ヲ繞ラレ「サラダ」ヲ初メトシ、各種類ノ果實ト野菜トハ今ヤ正ニ成熟ノ期ニ達セリ。此ノ家屋ニハ二家族同時ニ住居シ得ルノ仕組ミナリ。

白耳義國　白耳義國ハ同形ノ小家屋數軒ヲ建築シタリ。此ノ種ノ家屋ハ近年巴里ノ近郊ニモ設置セラレタレトモ、欠點トスル處ハ單調ニシテ無味ナルニアリ。然トモ又他ノ一方ヨリ評スレハ質素清潔ニシテ且各家ノ間ニ野菜園ヲ配置シ、頗ル經濟的ノ建築ナリトイフヲ得ヘシ、況ンヤ家屋ノ建築ト云ヒ、將タ間取リト云ヒ、最モ嚴格ニ衛生ノ規則ヲ遵守シタルニ於テヲヤ。

獨逸　獨逸國ノ建設シタル勞働者ノ家屋モ亦有益ナリ。其ノ他ト異ナリタル點ハ煉瓦ト赤色ニ塗抹シタル木材トヲ以テ構造シ、且屋蓋ノ傾斜甚タ急ナルカ爲ニ窓アル屋室ヲ設クルコトヲ得サルニアリ。加フルニ裝飾ナクシテ寂寥ノ感アリト雖トモ、居住者ノ爲ニハ甚タ便利ナル如シカ。」

墳地利國　墳地利國ハ勞働者ヲ入ル可キ病院ノ模型ヲ建築シ、大ニ世ノ注意ヲ喚起シタリ。是レ亦社會問題上一好材料タリ。

佛國　佛國ハ或ル慈善會ニ依テ建築セラレタル勞働者住居ノ模型ヲ示シタリ。其ノ他國ト異ナル點ハ家屋ヲ繞圍スル廣園カ野菜園又ハ果實園ニアラスシテ花蔵ナルニアリ。現ニ或ル家屋ノ庭園ニハ數種ノ三色菫菜ヲ集メタルヲ見タリ。世或ハ佛國ノ部ヲ評シテ曰ク、佛ハ實利ヨリ寧ロ愉快ヲ取ルニ重キヲ置クノ弊アリト。此ノ言或ハ眞ナラン。

勞働者家屋ノ模型ヲ建築シタルハ以上ノ六國ナリ。之ニ依リ吾人ハ節儉ニシテ衛生ニ適シタル住居ノ模型ト見本トヲ知ルヲ得、且或ハ屋主ニ依リ、或ハ慈善會若クハ勞働者自身ノ建築シタル個々獨立ノ家屋並ニ獨身ノ勞働者ニ適スル室又ハ長屋ノ見本ヲ實見シテ大ニ利益スル所アリタリ。

當ラ家屋ノ構型ヲ示スニ止マラス、尚進ンテ無賃貸屋ノ方法、低廉ナル家賃ヲ以テ貸與スルノ仕組、一定期限ノ約ヲ以テ月賦償還法ニ依リ屋主又ハ或ル團體ヨリ家屋ヲ供與シ、若クハ政府、市町村又ハ預金局ノ援助ヲ借リ勞働者自ラ適意ノ住宅ヲ建築スルノ方法等細大漏サス、一切ノ材料ヲ陳列シテ公衆ニ益ヲ與ヘタルコト頗ル多シ。

若シ「セーヌ」河畔ニ設置サレタル各強國特別館ノ一列ヲ稱スルニ列國街ノ名ヲ以テスルヲ穩當ナリトセハ「ヴァンセンヌ」會場ニ設ケラレタル勞働者家屋ノ一團ハ名稱シテ世界村（ヴィラージュ、デュ、モンド）ト云フモ甚タ趣味アルヲ覺ユ。蓋シ洒落ニシテ雅致ニ富ンタル此ノ部落アルニ依テ第百〇六類ノ無味乾燥ヲ補フコトヲ得タリトイフヘキナリ。

（二）　合衆國機械館

千九百年大博覽會ノ出品物ノ增加ト各種ノ特別館ノ建設多キ等ノ點ニ於テ正シク從前ノ諸

大博覽會ヲ凌駕シ、從テ面積モ亦甚タ擴張セラレタレトモ、而モ市俄古大博覽會ノ面積三百「ヘクタール」ニ及ハサルコト尚遠シ。

其ノ初メ合衆國政府ノ懇請ヲ却ケ難キ爲メ、佛國事務局ハ「シャン、ド、マルス」會場ノミニテモ四萬平方「メートル」ノ地ヲ三區ニ割愛シ、特ニ優待ノ情ヲ公表シテ、其ノ友邦ヲ待チタリ。然トモ輓近日ニ益ト發達スル日進月歩ノ工業國ハ別ニ尚廣大ナル土地ヲ領セサルニ於テハ、到底幾多ノ出品人ニ滿足ヲ與フルコト能ハサルカ故ニ「シャン、ド、マルス」會場ノ附近ニ特別館ヲ設ケン ト企テタレトモ、俄ナタル幾多ノ巨屋ヲ買收スルハ非常ナル出費ヲ爲サヽルヘカラス、是レ限リアル豫算ヲ以テ爲シ能ハサルノ業ナリ。是ニ於テ合衆國事務官長ハ更ニ佛國政府ニ懇請シ、「ヴァンセンヌ」會場内ニ合衆國專用ノ特別機械館建設ノ許可ヲ得ルニ至レリ。元來「ヴァンセンヌ」會場ハ運搬、農業、其ノ他二三ノ左マテ重要ナラサル部類ノ出品陳列ノミニ限ルノ目算ナリシニ、北米ノ爲メ今ヤ特ニ此ノ館ノ設置ヲ承認スルノ已ムヲ得サルニ至リシハ、亦以テ合衆國ニ於ケル機械術ノ進歩カ如何ニ盛ンナルカヲ想像セラルヽニ足ル。

「ヴァンセンヌ」會場内ニ特別機械館建築ノ承認ヲ得ルヤ、合衆國事務局ハ機械ニ關スル各出品人ニ約スルニ工作器械ノ中比較的重要ナルモノ二三ツヽヲ「シャン、ド、マルス」ニ出品シ、其ノ餘ハ擧テ附屬地ニ陳列スルコトヲ以テセリト云フ。合衆國ハ既ニ「シャン、ド、マルス」會場内ニ四萬平方「メートル」ヲ得、而シテ今ヤ又「ヴァンセンヌ」ニ廣大ナル土地ノ占領ヲ許サレタルカ故ニ、最初取極メタル分ニ比スレハ倍加ノ面積ヲ得ルニ至レリ。即チ特別機械館ノ面積ハ長サ百〇六「メートル」、

幅三十八「メートル」半ニシテ、而モ廊下ヲ設ケテ輕キ物品ノミヲ其處ニ陳列シ、辛フシテ其ノ出品ヲ整頓シ得タリト云フ。

近世最モ改良セラレタル工作機械ハ一トシテ陳列セラレサルモノナク、加之ナラス別ニ動力發源工場ヲ設ケ、夫レヨリシテ電氣ヲ送リ公衆ノ面前ニ於テ機械ヲ運轉シテ其ノ目的ヲ說明シ、並ニ種々ノ製作品ヲ示セリ。「インジェルソル、セルジアン」會社ノ如キハ空氣壓縮機械ヲ据付ケ、空氣ノ壓迫力ニ依リテ、各種ノ工作機械ヲ運轉セシメ、又ハ其ノ附近ニ建設セラレタル鐵道本館(第二項第一區ニ陳ベタリ)ニ陳列シタル機關車ニ壓縮空氣ヲ送リテ其ノ働キヲ示シタリ。流石ニ自負心ニ厚キ佛國人モ此ノ宏大ナル裝置ヲ見テ「巴里市ハ日ナラスシテ米國機械ノ生產物ニ支配セラル、時アルヘシ」トノ歎聲ヲ發セシタリ。此ノ言タル豈啻ニ佛國ニ付テノミ當レルモノナラシヤ、獨逸、英國ト雖モ米國較近ノ進歩ニ對抗スルコト能ハサルノ色アルハ人ノ一般ニ認ムル所ナリ。

(三) 家畜改良萬國共進會

家畜改良共進會ハ、「ヴァンセンヌ」會場内ニ於ケル重要ナルモノヽ一ニシテ、鐵道ニ關スル材料及ヒ米國特別機械館ヲ除キテハ彼ノ勞働者家屋ト相待チテ附屬會場中ノ呼ヒ物ノ一ナリ。

萬國共進會ハ佛國農務省ノ發意ニ出テ、且同省ノ所管ニ屬ス、其ノ出品ハ馬、驢馬、牛、豚、羊及ヒ兎又ハ鷄等ノ家畜ニシテ家禽ノ出品ヲ除クモ尚牛、馬、豚、羊五千頭以上ヲ算シタリ。牛種ノ最モ富裕ナルハ佛國ヲ以テ第一ト爲シ、食料用、耕耘用幷ニ搾乳用ノ牝牛等諸外國ノ出品中佛國ノ如

ク能ク種類ニ富ムモノ少ナシ。「ブルターギュ」「ガスコーヌ」「オーヴェルギュ」「ガロンヌ」縣等佛國ノ各方面ヨリ牛ヲ引キ來リテ參集シ、其ノ頭數ノ夥シクシテ種類ノ異ナルトハ其ノ參集シタル人ノ各語音ヲ異ニセルカ如シト云フモ亦ヲ得ヘシ。而シテ勝利ハ遂ニ「ガロンヌ」縣産出ノ牛ニ歸シタリ。若シ夫レ耕耘用ノ牝牛ヲ出品セハ佛國ノ優等ナルコト更ニ幾層ヲ加ヘタラン。如何トナレハ佛國ノ富源ハ農業ニ在リ、而シテ牝牛ハ農業上必要ノ家畜ナレハ佛國ニ於テ牝牛カ農事ニ貢獻スル處常ニ大ナルモノアレハナリ。

英國出品ノ牛ハ長角、短角及ヒ中庸ノ角ヲ有スル三種ニ區別スルコトヲ得ヘシ、尚全ク角ナキ牛ヲモ出品シタリ。

瑞西國モ亦「ベルス」「ブライブルグ」地方産出ノ搾乳用ノ牝牛ヲ出品シ、特ニ「スヴィツ」産出ノ牡牛ハ其ノ他ノ牛ト異常ニシテ、宛然印度象ノ如シ。和蘭ハ「ボルデン」地方及ヒ北海岸産出ノ牡牛ヲ出セリ。羊類ニ付テモ佛國ノ出品甚タ多シ。其ノ種類「メリノス」ト稱スル西班牙種ニシテ食羊トシテハ左マテ美味ナラサルモ毛羊トシテハ優等無比ノ種類ニ屬セリ。「ジャンバーギュ」「ブールゴーキュ」其ノ他三四ノ地方ヨリモ各種類ノ毛羊ヲ出シタリ。英國モ亦各洲ヨリ各種類ノ毛羊ヲ出品シ、就中「ザシレー」地方ノ毛羊ノ如キ如何ニモ良種ニシテ之ニ比スルモノナシ。

其ノ他牡豚、牝豚、鳩、七面鳥、兎等亦ヲ爲シ、一々茲ニ之ヲ評スルノ遑ナシト雖モ最モ公衆ノ眼ヲ引キシハ二羽ノ牝鷄ノ尾ノ長サ二「メートル」半以上ナルモノ是レナリ。

第一回ノ共進會ハ六月十日ニ開會シ、同月十九日ニ閉場シ次テ十月ニ至リ馬匹共進會ヲ催シ、

佛國大統領臨席シ自ラ賞牌ヲ授與シタリ。

(四)家禽及ヒ小鳥改良內國共進會

「ヴァンセンヌ」公園ハ千九百年大博覽會ノ附屬地トシテ指定セラレタルカ故ニ、彼ノ郊外競技ヲ初メトシ、若干同附屬地內ニ出品又ハ陳列シ終リシ建物アルモ、前項家畜改良共進會ノ如キ恰現ニ萬國共進會ノ性質ヲ有シ、諸外國中重モナル邦國ハ皆之ニ參列セサルハナシ。然ルニ本項家畜改良ノ共進會ハ其ノ目的ハ前段ト異ナル處ナシト雖モ唯佛國ノミノ內國共進會ニ過キスシテ、諸外國ハ毫モ之ニ關係セサルナリ。

出品ノ種類ハ兎、鳩、鷄、家鴨、小山羊、雉雀、家鷄及ヒ「カナソヤ」鳥等其ノ種類枚擧ニ遑アラス。同時ニ鳥籠、鳥網餌ノ見本、人造孵卵爐等一切ノ附屬品ヲモ陳列シタリ。其ノ出品中殊ニ重要ナルモノハ「セーヌ」「エ」「ヴァーズ」縣主府「ウーダン」市ニ設置セラレタル家禽術實業學校ノ出品ナリ。右「セーヌ」「エ」「ヴァーズ」地方ハ佛國中ニ於テ尤モ家禽飼養ニ長シ、從テ其ノ家禽ハ世ニ甚タ貴重セラルヽモノナリ。

博覽會ノ期間慶、共進會ヲ擧行セシカ、初回ハ五月二十日ニシテ、農務大臣「シャン、デュビュイ」氏臨場シテ自ラ賞與ヲ分與シ、其ノ數百二十四點ニ上レリ。最モ名譽ヲ得タルハ即チ前述「ウーダン」市ノ出品ナリ。現ニ「グレッサウ」ト稱スル種類ノ中ニテ一羽三十法、卵一打三法ノ定價ヲ附シタル見本ヲ見タリ。然トモ是レ尚廉ナリ、一打二十七法ノ價ヲ附シタル卵ノ見本アリタリ。

雲鳥ハ「ダアンデー」及ヒ「ヴールーズ」ノ兩地、最モ高タ從テ其ノ出品物モ亦卓絕セリ。公衆ノ最

モ驚歎シタルハ出陳セラレタル鳩ノ種類無慮數十ニ渉レルコト是レナリ。其ノ源ヲ尋ヌレハ岩鳩ト稱スル一種ニシテ、今日ノ鳩ハ其ノ多クハ人工ヲ以テ種類ヲ變化セシメタルノ結果ナリ。又兎ハ鳩、鷄等ノ如クニハ人工ニ依リ變化セシムルコト能ハサル性質ノモノナレトモ共進會ニ於テ亦數十種類ノ出品ヲ見タリ。

第二回ノ共進會ハ六月三日擧行セラレ、百八十點ノ賞與ヲ分與シ、第三回目ハ同月二十二日ニ擧行セラレ次テ七月ニ至リ二回ノ共進會ヲ催シ、而シテ九月中特ニ小鳥類ノ共進會ヲ擧行セラレタリ。

右ノ外尚飼鷹術共進會アリタレトモ茲ニ之ヲ詳說スルノ價値ナシ。

其ノ他獨逸國カ特ニ建設シタル火災救助及ヒ白耳義國ノ磨石工ノ特別出品、數戸ノ料理店及ヒ珈琲店等種々ノ建物アリト雖モ畧シテ之ヲ述ヘス。

第四節　各種ノ郊外競技

「ヴァンセンヌ」公園ハ一方ニ於テハ市內會場ノ附屬地ニシテ本館ニ對スル支館ノ關係ヲ有スルト同時ニ、又他ノ一方ニ於テハ大小各種ノ萬國郊外競技大會ノ場所タリ。最初ハ今日此ノ世界ニ存在スル郊外競技ハ其ノ物ノ何タルヲ問ハス一切網羅シテ之ヲ同公園內ニ擧行スルノ豫定ナリシモ種々ノ事情ハ遂ニ此ノ擧ヲ許サス、別テ各地ニ之ヲ行フノ止ムナキニ至レリ。其ノ綱目ハ大要左ノ如ク十二區ニ分類スルコトヲ得ヘシ。

(一)　野外競技

野外競技ハ「クトルブヴォワト」村ニ於テ施行セリ。其ノ重モナル遊戲ハ「ロンテニス」、徒步競爭及ヒ「フートボル」等ナリ。

徒步競爭ハ七回之ヲ催シ、一萬六千法ノ賞金ヲ授與シタリ。即チ七月一日世界ノ「チアンピヲン」並ニ本職者ノ競爭アリ、五十法ヨリ五百法マテノ賞金十五點ヲ授與シ、障碍徒步、平地徒步及ヒ飛ヒ越シ競爭等數番アリ。

七月三日ハ野外遊戲ノ本業者ノミヲ以テ六時間ノ徒步駈競ヲ行ヒ、且長距離又ハ高飛ヒノ競爭ヲ爲シ三十法以上三百法マテノ賞與ヲ授與セラレタリ。

七月十五日及ヒ二十二日ハ世界ノ「チヤンピオン」並ニ嗜好家ノ徒步競爭アリ、十五法乃至五百法ノ賞金ヲ授與セラレタリ。

二人競爭ノ「フートボル」ハ九月十六日、二十三日、三十日ノ外尚ホ十月中ニ數回アリ。而シテ十月十四日ハ佛獨兩國間、同月二十一日ハ英獨間ノ競爭アリ。同月二十八日佛英兩國間ノ競爭ハ頗ル盛大ヲ極メタリ。

「ホッキー」戲ハ九、十ノ兩月ニ催シ、或ハ佛英ノ間或ハ佛白ノ間ニ二人競爭アリ、又數群ノ嗜好者間ニ於テ之ヲ催シタリ。

「クリッケット」遊戲ハ七、八ノ兩月ニ開催シ、競爭者中ニハ婦人ノ有志者モ出テ、而シテ本業者ノ「チヤンピヲン」ハ三百五十法乃至千法ノ賞與ヲ受ケ、嗜好者流ノ「チヤンピオン」ハ百法乃至千

五百法ノ物品ヲ賞與セラレタリ。

球戲トハ佛語ハ之ヲ「ジユー、ド、プール」ト云ヒ全ク佛國ノ遊戲ニシテ、就中佛ノ南方ニ於テ盛ンニ行ハル「チヤンピオン」モ亦南方ノ團体ノ選出者ニシテ賞金ハ千法ナリ。

其ノ他各種ノ遊戲競爭ノ催シアリタレトモ之ヲ略ス。

(二) 器械体操（ジムナスチック）

器械体操ハ七月廿九日及ヒ三十日ノ両日ニ於テ萬國大競爭ヲ施行シ、都合十六回ノ組合セ競爭アリタリ。

(三) 擊劍（エスクリーム）

擊劍ノ萬國大競爭會ハ「ヴアンセンヌ」附屬地ニ開催セラレスシテ、二回ハ「シヤン、ド、マルス」ノ大式場ニ於テ、一回ハ「チュイルリー」公園ニ於テ行ヒタリ。右擊劍用ノ道具ニ三種アリ「フルーレー」、一劍（エペー）、一洋刀（サーベル）是レナリ。

「フルーレー」ヲ以テ勝敗ヲ決スル擊劍會ハ「シヤン、ド、マルス」大式場ニ於テ五月十四日ヨリ六月一日マテノ間ニ時々之ヲ施行シ、教師ニシテ勝利ヲ得タル者ハ名譽賞金五千法、一等二千法、二等千五百法、三等千法ヲ授與セラレ、好事者流ニシテ勝利ヲ得タルモノハ二千法以下數等ノ賞金ヲ受ケタリ。

劍（エペー）大競爭會ハ六月一日ヨリ同十五日マテ「チュイルリー」公園ニ於テ施行シ、一等賞三千法以下八等ニ區別シテ賞譽ヲ授與セラレタリ。

洋刀（サーベル）ノ大擊劍競爭會ハ「シヤン、ド、マルス」ノ大式場ニ於テ施行シ、一等賞千六百法以下百法マテ八等ニ分チテ授與セラレタリ。

(四) 射擊（チール）

射擊ニ數種ノ會アリ、小銃射擊萬國大競爭會、小銃射擊內國競爭會、佛國軍人射擊會、銃獵射擊萬國大競爭會、又大砲射擊萬國大競爭會等是ナリ。右ハ「フォンテヌブロー」ノ原野ニ於テ八月中ニ各國ノ選手間ニ行ハレ、其ノ他大弓並ニ弩ノ射的大會、放鳩射的大競爭會等博覽會ノ期間各地ニ於テ殆ト連月ニ渉リテ施行セラレタリ。就中小銃射擊萬國會ノ如キハ選手ト選手トノ競爭アリ、又ハ國ト國トノ競爭射擊、團体ト團体トノ競爭、若クハ一人ツヽノ獨立射擊、一齊射擊等數十種類ノ異ナル競爭アリテ、郊外競技中輕氣球競爭ニ次テ有益且ツ盛大ナルモノハ是レナリ。

(五) 馬匹競爭會（コンクール、イピック）

馬匹競爭會ハ市內「ブルドウイユ」街ニ於テ擧行セラレ、五月二十九日ニハ障碍物競爭アリ、一等六千法ヨリ以下數等ノ賞與金ヲ授與セラル。次テ同三十一日ニハ乘馬ノ幅ハ飛ヒ競爭ヲ行ヒ、一等賞四千法以下數等ヲ受ケ、六月二日ニハ駄馬ノ競爭アリ、是レ亦應分ノ賞譽ヲ受ケタリ。

(六) 雙輪車大競爭會

雙輪車ハ自動車ト共ニ運搬ノ部ニ屬シ、大博覽會ノ出品物タルト同時ニ又郊外（スボル）競技ノ目的物タリシナリ。第一回ノ大競爭會ハ九月九日ニ初マリ、同十六日ニ閉會シ其ノ間十數回ノ大小競爭ヲ行ヒ、賞與金亦頗ル多額ニ達セリ。

(七)自動車大競爭會

自動車ハ近時歐洲ニ在リテハ交通上大ニ機關タルノ下同時ニ佳良ナル遊戲ニ供セラレ又ハ競爭ニ用ヒラルヽモノ多キニ至レリ。近時我帝國ニ於テモ日々駛走スルモノ增加スル傾向アリ。從テ自動車ノ如キ巴里ニ於テ最モ早流行後レト爲リタルカ如シ。所謂御用聞キノ丁稚間ニ影ヲ留ルノミ。

自動車ノ競爭會ニハ種アリ、一ハ國際的ニシテ諸外國間ニ行ハレ、五月十四日ヨリ初マリ十月十三日マデ數十回大小各種ノ競爭ヲ爲シ、其ノ競爭區域ハ公園內ノ限リアルモノヽ外ハ、又巴里全部ヲ駛走シタルカ如キモノアリ、甚キハ遠ク近縣ニ出ツルモノアリ。競爭ノ熱度ハ一時頗ル激甚ヲ極メタリ。然ルニ自動車ノ馳駈ニ付テハ既ニ一千八百九十九年三月十日ノ閣會以來制限ノ設ケタリシカ故ニ、如何ナル場合ト雖モ人家稠密ナル場所ニ於テハ其時間ニ二十キロ乃至二十五キロメートル以上ヲ馳走スル能ハザル定メナリシカ又聞ク所ニ依レハ大競爭會ニ於テハ七八十哩(マイル)即チ百十二粁(キロメートル)以上ヲ馳走スルモ差支ナキ由ニテ、其賞金ノ合計ハ無慮數萬法ニ達スルモノアリト。又其大競爭會ハ(八)萬噸(トン)船大競爭會ニシテ、諸外國間ニ施行セラレタリ、其ノ種類左ノ三種アリ。

一、佛國以外ノ諸國人間ニ行ハルヽモノ

第一種ハ以外ノ諸國人間ニ行ハルヽモノニシテ、初日ハ「マルヌ」河、次日ニ「アスニエール」ノ湖池ニ於テ施行セラレタリ、其ノ種類左ノ三種アリ。

第一種ハ以外ノ競走ハ二日間ニ渉リ、初日ハ二百粁(キロメートル)ノ競走ニシテ四日間ハ河上競走、三日間ハ海上競走ニシテ大抵潛水行

ヒタル七月下旬ヨリ八月上旬ニ又各種原動力ヲ有スル小艇ノ競走會アリ。

(九)各種救助會大競爭會

競走ヲ數日間繼續セシメ(九)各種救助會大競爭會ニ於テハ八月十三日ヨリ同十九日マデ施行シ、特ニ潛水夫大競爭會ハ「アルゼンテイユ」公園內ニ於テ八月十五日ヨリ同十九日マデ施行シ、特ニ十九日ハ如キ終午前八時ヨリ大演習ヲ始メ「ラ、セーヌ」河ニ於テ時ニ亞鉛消火及ヒ救助ノ大運動ヲ實施シタリ。

第二水難救助會ハ七月二十七日ヨリ二十五日間「アヴニュー、ド、ラ、グランド、アルメ」附近「アスニエール」ノ湖池ニ於テ施行セラレタリ。

第三負傷者救護大競爭會ハ、野戰病院ノ設置及ヒ看護夫ノ出張等アリテ、是レ亦頗ル大業タリ。七月二十五日ヨリ「マンセーヌ」ニ於テ施行セラレタリ。

第四遊泳術大競爭ハ八月十五日及ヒ二十日ノ兩日ニシテ水泳ノ術ヲ競フモノニシテ、賞與アリタリ。

(十)輕氣球大競爭會

輕氣球競爭會ハ「アンバリード」公園中呼出物ノ示ス所ニ從ヒ、佛國輕氣球倶樂部主催ノ下ニ施行セラルヽモノニシテ、各種ノ競爭ハ七月十七日ニ始マリ、九月二十日ニ終リヲ告ケ、其ノ間少クモ十個以上、多キ時ハ十五六個ノ輕氣球ヲ飛揚セリ。其ノ空中ニ列ヲ爲シタル有樣ハ實ニ壯觀ヲ極メタリ。七月十七日ヨリ同廿九日ニ至ル雨日ハ高度飛騰ヲ大競爭ヲ爲シ、八月十二日及ヒ九月九日ハ長距離飛行ノ爲ニ、又其ノ他ハ輕氣球上撮影ヲ競爭、同月廿日ハ夜間飛騰放光ノ競爭

同二十三日ハ輕氣球膨脹術ノ競爭アリ、同三十日ノ飛行大競爭會ヲ以テ終局トセリ。賞與金ハ五十法以上千法ノ範圍ニ於テ數等アリタリト云フ。

（十一）陸軍講武

佛國陸軍ハ「シャン、ド、マルス」武器本館ニ殆ト總面積ノ三分ノ一以上出品ヲナシタル外、尚「ヴァンセンヌ」附屬館ニ輕氣球、野戰病院ノ模型等ヲ出品シ、今又郊外競技ニモ參與シテ、出師準備、行軍、測地、器械体操、攻城野戰ノ實地演習、其ノ他學理等ヲ公衆ノ面前ニ執行シテ之ヲ示シタルハ中外ノ共ニ感歎スル所ナリキ。

（十二）小學校大會

小學校大會ハ當時佛國ノ各都府ニテ施行セラレタリ、其ノ重ナル都會ヲ擧クレハ「ボルドー」「ツールース」「馬耳塞、里昂」「グルノーブル」「ナンシー」「オルレアン」「カン」「ルーベー」及ヒ巴里市等ナリ。而シテ特ニ總大會ヲ六月五日及ヒ六日ノ兩日「ブーローギニ」公園ニ施行シ、尚七月一日ハ陸軍中佐「デリニエー」氏監督ノ下ニ巴里全小學校生徒ノ行軍式ヲ「ヴァンセンヌ」ニ施行シ、男女學生六千人以上ノ一隊ヲ組織シ、步兵第二十九聯隊附軍樂隊ヲシテ先頭ニ立タシメ、步調正シク行軍ヲ爲シタルノ狀ハ尤モ有益ナル壯擧ニシテ、亦一大壯觀タリシモノナリ。

大博覽會ノ時期ヲ利用シ、釣魚萬國大競爭會ヲ開キ「グルネル」ノ「シーボ」島ニテ八月五日ヨリ引續キ數日間競爭ヲ行ヒタリ。是レハ釣魚者一時間ツヽノ競爭ニシテ多額ノ賞與ヲ分配セラレタリト云フ。

第十八章　審査及ヒ褒賞

審査會ノ組織ハ博覽會總則第九章（第一編第三章附錄）ニ規定アリ、之ニ依レハ審査會ヲ三級ニ區別シ、第一ヲ高等審査會、第二ヲ部審査會、第三ヲ類審査會トス。

類審査會ハ總則第七十七條ニ定メタル如ク諸官衙、學士會員、諸協會及ヒ從來博覽會等ニテ高等ノ褒賞ヲ受ケタル者ノ內ヨリ總務部長及ヒ同部次長ノ協贊ヲ得テ事務官長之レヲ豫選シ、商工郵便電信大臣ノ申請ニ依リ大統領令ヲ以テ之ヲ任命ス。又外國ノ審査員ハ其ノ國事務局ニ於テ之ヲ任命シ、佛國博覽會事務局ニ通知スルモノトス。我事務局ニ於テ任命シタル審査員左ノ如シ。

審査正員

第一部	第三類	渡部董之助
第二部	第七類	杉竹二郎
第三部	第十二類	河村純藏
第七部	第四十一類	新渡戸稻造
第八部	第四十六類	福羽逸人
第九部	第五十類	白澤保美
第九部	第五十三類	河北道介
第十部	第五十八類	大塚琢造

第十部　第五十九類
第十部　第六十二類
第十一部　第六十三類
第十二部　第六十九類
第十二部　第七十一類
第十二部　第七十二類
第十三部　第七十七類
第十三部　第七十八類
第十三部　第八十三類
第十三部　第八十四類
第十四部　第八十八類
第十五部　第九十四類
第十五部　第九十七類
第十五部　第九十八類
審査補員
第二部　第七類
第三部　第十二類

山口鐵之助
渡邊徹
小川琢治
荒木眞弓
丹羽圭介
河原德立
大槻龍治
稻畑勝太郎
齋藤卯兵衛
鹽田眞
石川巖
執行弘道
齋藤甲子郎
西尾喜三郎

ラファエル、コラン
レイモン、ケクラン

第十二部　第七十類
第十二部　第七十二類
第十三部　第八十一類
第十五部　第九十四類
第十五部　第九十八類

右審査員ノ任命ニ付テハ我事務官長ト佛國事務官長ト交渉ノ上其ノ人員ヲ定メタリ。元來總則ニ依リ佛國人ト外國人トヲ合セテ大約出品人總數ノ六十分ノ一トストアルヲ以テ、佛國事務局ニ於テモ外國審査員ノ員數ニ嚴重ナル制限ヲ加ヘ、本邦ニ對シテハ正員二十二人以上ノ任命選出ヲ堅ク謝絶セシヲ以テ、事務官長交渉ノ末以上ノ如ク審査員選任制當ヲナシタルナリ。又審査補員モ以上ノ如ク選定シ、佛國事務局ニ通牒セシニ右ノ內「ラファエル、コラン」及ヒ「エミール、ギーメー」二氏ハ既ニ佛國選出ノ審査員タリシヲ以テ、我審査補員ヲ承諾スルヲ得ス。然トモ實際「コラン」氏ノ如キハ從來我國人トノ關係上、我出品物ノ審査ニ關シテハ非常ニ盡力スル所アリタリ。

エミール、ギーメー
シグフリード、ピング
オドン、ドミユシー
アンリー、ヴェヴェル
シャルル、ギユイヨー

要スルニ審査員ノ數ハ佛國及ヒ外國ヲ併セテ八百九十人ナリキ。其ノ選出員數ハ佛國外國共其ノ領シタル地區ノ大小ニ依リ之ヲ定メタルモノナリ。故ニ佛國ト其ノ他ノ外國トヲ比較スルトキハ佛國審査員ノ員數ハ百分ノ四十トス。從前ノ博覽會ノ例ニ依ルトキハ審査正員及ヒ補員ヲ合シテ二千乃至二千二百人ニシテ其ノ內外國審査員ハ八

九百ヲ占メタリ。然ルニ此ノ數ハ出品人ノ多寡ニ依テ之ヲ定メタルヲ以テ甚タ正確ナラサルモノアリ。例ヘハ團体、組合又ハ一個人ノ出品ニ數千枝ニ數人ノ大ナル出品物ヲ包含スルコトアリ、故ニ一等國ノ出品人ハ僅々數百人ナリト雖モ却テ二等又ハ三等國ノ出品人數千人ニ優ルノ出品アルカ如キ是レナリ。是ニ於テ今回ノ博覽會ニ方テハ各國カ領スル區域ノ大小ニ依リ其ノ員數ヲ定ムルコト、ナシタルナリ。各列國ノ審査正員及ヒ補員ノ比較數左ノ如シ。

國		人
英		九十四人
米		九十人
獨逸		八十四人
墺西		八十四人
白耳義		五十二人
匈牙利		五十人
埃及		四十六人
瑞西		四十四人
伊太利		四十三人
日本		二十九人
和蘭		二十九人
西班牙		二十四人
葡萄牙		二十二人
瑞典		二十一人
墨西哥		十九人
ルーマニヤ		十六人
丁抹		十六人
諾威		十四人
ブルガリヤ		十一人
秘露		十一人
セルヴィヤ		十人
エクアドール		九人
希臘		九人
ニカラガ、及グワテマラ		八人
土耳古		六人
暹羅		五人
モナコ		五人
ボスニヤ、ヘルゼゴヴイナ		五人
支那		三人

リユクザンブル		三	人
マロツコ		三	人
トランスヴァール		三	人
波斯		三	人
サルヴァドール		三	人
朝鮮		二	人
アルンドール		一	人
リベリヤ		一	人
オランジユ		一	人
サン、マラン		一	人

又外國審査員ニシテ部審査會ノ會長及ヒ副會長トナリシモノヽ國別ヲ擧レハ左ノ如シ。

第一部	敎育	副會長	葡萄牙	伊太利
第二部	美術	同	伊太利	和蘭利
第三部	文學科學	會長	米吉國	英吉利
第四部	機械	副會長	獨逸	白耳義
第五部	電氣	同	米國	瑞西
第六部	土木運搬	同	墺地利	白耳義
第七部	農業	同	露西亞	獨逸
第八部	園藝	同	日本	リユクザンブルグ
第九部	山林漁獵	同	米國	葡萄牙
第十部	食料品	同	露西亞	西班牙
第十一部	鑛山冶金	同	匈牙利	瑞典
第十二部	家具裝飾	同	墺地利	諾威
第十三部	織物	同	伊太利	西班牙
第十四部	化學工藝	會長	獨逸	英吉利
第十五部	各種ノ工業	會長	瑞西	獨逸
第十六部	社會經濟	同	露西亞	米國
第十七部	殖民	同	葡萄牙	丁抹
第十八部	海陸軍	會長	露西亞	ルーマニヤ

又會長總數十八人中外國ニ於テ五人ヲ占メ、副會長總數五十三人ノ內三十一人ハ外國ニ於テ之ヲ占メタリ。

審査員任命ノ通牒ヲ終リタル後、佛國事務局ヨリ千九百年五月二十三日ヲ以テ「トロカデロ」宮殿ニ參集スヘキ旨各審査員ヘ通牒アリ、同日ハ佛國審査員並ニ外國審査員悉ク集會セリ。此ノ集會ニハ外國事務官長及ヒ佛國事務官長並ニ商工郵便電信大臣等出席シ、席定マルヤ事務官

長「ピカール」氏立テ審査員ノ心得トシテ總則第九章ノ注釋ニ關スル演說ヲ爲シ、次ニ商工郵便電信大臣立テ謝辭的ノ演說ヲ終リ、一同退散セリ。此ノ集會ヲ以テ審査事務ノ開始ヲ告ケ、爾後日々各區ノ審査員豫定ノ時日ニ佛國事務局ニ參集シ、各部類ニ於テ會長、副會長、報告員及ヒ書記ヲ選任セリ。尤モ會長及ヒ副會長ノ內一人ハ外國審査員ノ內ヨリ之ヲ選任ス。

審査ノ方法ハ各類ニ依リ多少ノ差違アリト雖モ大体ハ略同樣ナリ。今其ノ方法ヲ擧クレハ得點數ヲ、二十五點トシ、一點ヨリ五點マテヲ褒狀、五點ヨリ十點マテヲ銅牌トシ、十點ヨリ十五點マテヲ金牌、二十點ヨリ二十五點マテヲ大賞トス。而シテ各審査員一々物品ニ就キ投票シ、其ノ人員數ヲ以テ投票合點ヲ割リ、之カ平均點ヲ取ルヲ通常トスレトモ、或ハ外國審査員ヨリ先ツ大賞、金牌等トシテ一々假リニ擬賞シ、之ヲ會議ニ提出シテ投票スルモノアリ、或ハ其ノ擬賞ヲ報告員等ヨリ提出シ投票スルモノアリ。此ノ會議ニ於ケル投票ノ結果ヲ製表シ、之ヲ部審査會ニ提出ン、部審査會ニ於テ調査決定セシモノヲ高等審査會ニ於テ判定ス。

部審査會ハ各類審査會ノ會長副會長及ヒ報告員其ノ他總則七十八條ニ定メタルモノヲ以テ組織シ、同第八十二條ノ職務ヲ行フモノナリ。本邦任命ノ審査員中部審査ノ副會長トナリタルモノハ福羽事務官ナリ。

高等審査會ハ部審査ノ會長、副會長、其ノ他總則第七十九條ニ定メタルモノヲ以テ組織ス、商工郵便電信大臣ヲ名譽會長トシ、敎育美術大臣、農務大臣及ヒ博覽會事務官長ヲ名譽副會長トス、

ルノ規定アリ且又千九百年六月二十二日ノ大統領令ニ依リ會長一名、副會長五名、書記五名ヲ任命シ、右書記五名ノ內二名ハ總務部書記官、外國課長、內國課長ハ當然書記タルヘキヲ發布セリ。其ノ職權ハ總則第八十三條ニ依リ之ヲ定ム。

此會議ニ於テハ外國事務官長ハ當然一員タルヲ以テ我國ニ於テハ林事務官長、福羽事務官出席覆審ノ請求、審査歲ノ誤謬等ニ付交涉ヲナセリ。

右ノ如ク三級ノ審査事務ヲ結了シ、千九百年八月十八日ヲ以テ褒賞授與式ヲ擧行セリ。當日ハ大統領及ヒ商工郵便電信大臣ノ演說アリ、佛國ノ高等官及ヒ外國ノ大使、公使、事務官等出席セリ。式ノ狀況ハ第一編第九章第一節ニ詳カナリ。此ノ授與式ニ於テハ大統領ヲ初メ高等審査會會長ヨリ書類ヲ授受スルノミニテ單ニ形式ニ過キサリキ、之ト同時ニ官報ノ附錄ヲ以テ受賞者人名錄ヲ發布セリ。然ルニ急速ノ際ナルヲ以テ其ノ間ノ誤謬少カラス、目下佛國事務局ニ於テ尙調査訂正中ニ係リ、更ニ受賞人名錄ノ完成ヲ待テ其ノ確定ヲ見ルニ至ルヘキナリ。即チ受賞者ノ數ハ尙未確定ナレトモ假リニ其ノ概略ヲ擧クレハ左ノ如シ。

本邦出品人ニテ受賞シタモノ

オール、コンクール（審査官タルヲ以テ審査以外トシテ授賞セラレサルモノ）

受賞人數		四百二十二名
金牌		四十名
銀牌		百二十八名
銅牌		三百五十六名
		七百六十七

銅牌　七百六十八
褒狀　五百七名
受賞總數左ノ如シ。　三百十六名

大牌　二、八二七
金牌　八、一六六
銀牌　一二、二四四
銅牌　一一、六六五
褒狀　七、九三八

又主要ナル諸國ノ受賞數ヲ國別ニ掲クレハ左ノ如シ。

佛蘭西

大賞牌　千四百〇五
金牌　六千百四十八
銀牌　一萬千九百三十二
銅牌　一萬二千二百〇六
褒狀　六千五百八十九
大賞　一百八十一

英吉利

大賞牌　四百八十六
金牌　六百七十二
銀牌　五百六十二
銅牌　四百六十九
褒狀　二百十一

北米合衆國

大賞牌　二百五十
金牌　八百三十八
銀牌　五百十
銅牌　三百七十二
褒狀　一百二十八

伊太利

大賞牌　四百八十八
金牌　七百二十三
銀牌　五百四十三
銅牌　四百六十九
褒狀　二百六十一

獨逸

大賞牌　七百六十九

大	賞	二百六十一
金	牌	五百四十五
銀	牌	六百四〇八
銅	牌	四百七十五
褒	狀	三百六十五
大	賞	百二十八
大	賞	百二十
金	牌	三百十百
銀	牌	四百百
銅	牌	六百三十百
褒	狀	百二十
大	賞	二百十一
大	賞	二百十一
金	牌	三百六七十
銀	牌	四百六十四
銅	牌	三百三十六
褒	狀	百九八十五

七百七十

瑞典

大	賞	二十八
金	牌	八十八
銀	牌	六十五
銅	牌	四十七
褒	狀	四十

西班牙

大	賞	三十
金	牌	百二十
銀	牌	二百
銅	牌	二百三十
褒	狀	百四十

墨西哥

大	賞	三十
金	牌	百十一
銀	牌	二百四十四
銅	牌	三百四十一

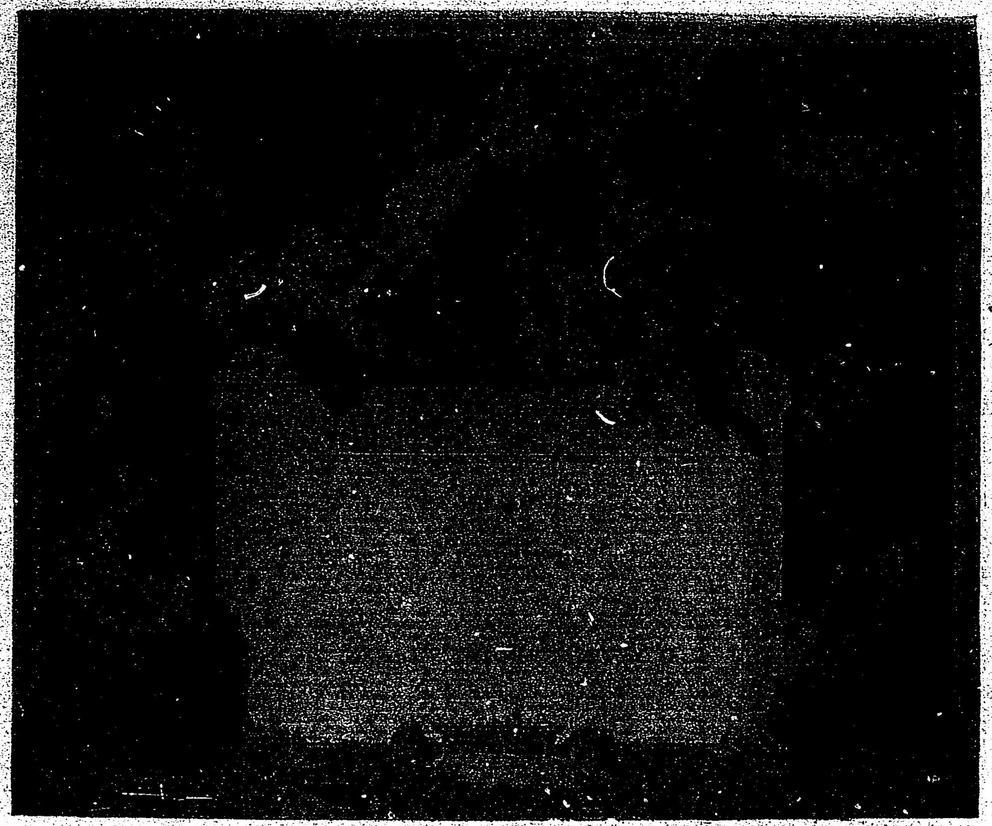
七百七十二

褒狀

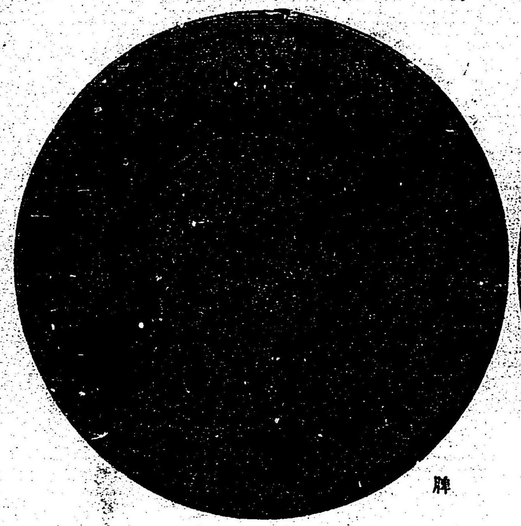
又賞狀、賞牌ノ意匠ハ佛國事務局ニ於テ賞テ競爭募集ヲ以テ採用シタ者モノニシテ其ノ圖別紙ノ如シ。

此ノ賞狀賞牌ハ人名錄完成ノ上、佛國及ヒ外國出品人ニ配付スルモノニシテ、愈〻之ヲ受領スルマテハ尚少カラサル時日ヲ要スルモノト知ルヘシ。

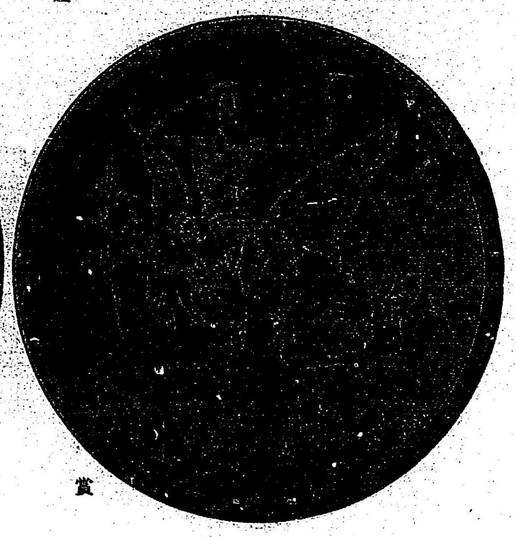
終リニ審査ニ付一言ヲ要スルモノアリ、西洋大國ノ如ク出品人多ク一定ノ地區ヲ得テ自ラ會場ノ一部ヲ裝飾シテ展列スルモノハ審査員ノ檢閲上甚タ便利アリト雖モ、我國ノ如ク飾箱等ハ政府之ヲ經營シ、展列ハ出品協會之ヲ擔當シ、出品人自ラ更ニ之ニ關與スルコトナク、勢一飾棚中數人ノ出品物ヲ展列シ、同一人ノ出品物ト雖モ或ハ各處ニ散列スルモノ少ナカラサルハ數ノ免レ難キ所ナリ。然ルニ數十人ノ審査員一時ニ展覽スル場合ノ如キハ是カ爲ニ不便ヲ感スルコト少ナカラス、啻ニ不便ヲ感スルノミナラス、出品人ノ利害ニ至大ノ關係アリ、或ハ之ヲ見殘シ或ハ最初ニ見タル物品ヲ以テ直ニ全班ヲ判スルモノアリ、故ニ審査ニ際シテ成ルヘク同一出品者ノ出品ヲ同一所ニ集ムルヲ必要ナリトス。若シ之ヲ合[illegible]ナシカタキモノハ少クモ明確ニ出品人ノ名及ヒ總目錄ノ番號ヲ記シ、其ノ出品ニ添付スル等都テ審査員ヲシテ一目直ニ何人ノ出品ハ如何ナル價値ヲ有スルヤヲ認識セシムルノ便ヲ圖ルニ深ク注意スルコトヲ要ス。何トナレハ萬國博覽會ニ擧ケル審査ハ其ノ出品ノ多數ナルト其ノ審査期日ノ短キトニ由リ意外ニ混雜ナルモノナレハナリ。



證狀



賞牌



褒　　狀

又賞狀、賞牌ノ意匠ハ佛國事務局ニ於テ賞ヲ競爭募集ヲ以テ採用シタルモノニシテ其ノ圖別紙ノ如シ。

此ノ賞狀賞牌ハ人名錄完成ノ上、佛國及ヒ外國出品人ニ配付スルモノニシテ、愈之ヲ受領スルマテハ尙少カラサル時日ヲ要スルモノト知ルヘシ。

終リニ審査ニ付一言ヲ要スルモノアリ、西洋大國ノ如ク出品人多クハ一定ノ地區ヲ得テ自ラ會場ノ一部ヲ裝飾シテ展列スルモノハ審査員ノ檢閱上甚タ便利アリト雖モ、我國ノ如ク飾箱等ハ政府之ヲ經營シ、展列ハ出品協會之ヲ擔當シ、出品人自ラ更ニ之ニ關與スルコトナク、勢一飾棚中數人ノ出品物ト雖モ或ハ各處ニ散列スルモノ少ナカラサルハ數ノ兒レ難キ所ナリ。然ルニ數十人ノ審査員一時ニ展覽スル場合ノ如キハ是カ爲ニ不便ヲ感スルコト少ナカラス、當ニ不便ヲ感スルノミナラス、出品人ノ利害ニ至大ノ關係アリ、或ハ之ヲ見殘シ或ハ最初ニ見タル物品ヲ以テ直ニ全班ヲ判スルモノアリ、故ニ審査ニ際シテ成ルヘク同一出品者ノ出品ヲ同一所ニ集ムルヲ必要ナリトス。若シ之ヲ合一ナシ難キモノハ少クモ明確ニ出品人ノ名及ヒ總目錄ノ番號ヲ記シ、其ノ出品ニ添付スル等都テ審査員ヲシテ一目直ニ何人ノ出品ナル價値ヲ有スルヤヲ認識セシムルノ便ヲ圖ルニ深ク注意スルコトヲ要ス。何トナレハ萬國博覽會ニ擧ケル審査ハ其ノ出品ノ多數ナルト其ノ審査期日ノ短キトニ由リ意外ニ混雜ナルモノナレハナリ。

證　狀

牌

賞

ク且厚キハ固ヨリ當ニ然ルヘキ所ニシテ、因テ以テ本報告ニ述フル如キ盛大ノ活劇ヲ巴里市ニ現出スルニ至リタルモノナリ。

是ノ時ニ當リ、本邦曩ニ條約改正ノ大事業ヲ成就シ、今又新ニ比類ナキ戰勝ノ光榮ヲ荷ヒ、國威張リ、名譽揚リ、從來極東ノ一邊島ヲ以テ目セラレタルモノ、忽チニシテ列強ノ伴ニ加ハリ、世界的交際ノ舞臺ニ上ラントスルノ時運ニ際會ス。宜シク盛ニ各般ノ事業ニ於ケル進歩ノ狀態ヲ天下ニ誇示シ、先ニ日清戰爭ニ於テ得タル勝利ヲ再ヒ此ノ平和的競爭ノ場裡ニ於テ反覆スルコトヲ期スヘキナリ。是レ官民力ヲ一ニシ鞠躬盡瘁以テ盛ニ參同ノ實ヲ擧ケタル所以ナリトス。是ニ於テ第一ニ吾人ノ念頭ニ上ル所ノ問題ハ他ナシ、本邦ハ今回ノ博覽會ニ於テ果シテ能ク此ノ目的ヲ達シタルヤ否ヤトイフコト是ナリ。然トモ此ノ問題ニ對シテハ之ヲ世ノ公評ト自然ノ成果トニ任スヲ可トシ、報告者等ハ肯テ茲ニ斷定ヲ下スヲ欲セス。唯聊細目ニ亘テ將來ニ注意ヲ要スル二三ノ點ヲ擧示スルニ止メントス。

先ツ各國ノ出品ニ就テ其ノ大体ノ優劣ヲ較フルニ、今回參同ノ各國中最モ世人ノ注意ヲ喚起シタルモノハ先ツ第一ニ北米合衆國及ヒ獨逸ノ二個國ヲ推サヽルヘカラス。蓋シ此ノ二國ハ共ニ輓近ニ至テ頓ニ長足ノ進歩ヲ遂ケタルモノニシテ、殊ニ米國ノ如キ其ノ近來ノ進歩實ニ天下ノ耳目ヲ聳動シ、歐洲先進國ヲシテ後ニ瞠若タラシメ、遂ニ各國聯合シテ之ニ對抗スルノ必要ヲ說クモノアルニ至ル。又獨逸ハ最近數十年來ニ爲シタル稀有ノ進歩ヲ今回ノ佛國博覺會ニ於テ始メテ天下ニ表示スルノ機ニ遭遇シタルヲ以テ共ニ全力ヲ擧ケテ是ニ務メ、大ニ其ノ進歩ノ實ヲ誇示センコトヲ企圖シタルモノナリ。次ニ露國ハ現ニ佛國ノ同盟國トシテ佛國ヨリ異常ノ厚遇ヲ受クルノミナラス、今ヤ内ニ藏相「ヴィッテ」アリテ盛ニ商業ノ振張ヲ圖レリ。即チ其ノ與國ニ對スル交誼上ヨリイフモ、將タ產業奬勵ノ方針ヨリイフモ、今回ノ博覽會ニ於テ深ク力ヲ用ヰル所アリタルハ、固ヨリ怪ムニ足ラサル所ナリ。實ニ同博覽會ヲ通シテ參同各國中最モ廣キ面積ヲ占メ最モ盛大ナル設備ヲ遂ケタルモノハ露國ナリトス。之ニ反シテ英國ハ大体ニ於テ頗ル冷澹ノ態度ヲ取リ、出品ノ數少ナク又殊ニ見ルヘキノ出品ニ乏シク、人ヲシテ甚タ寥々ノ感ヲ爲サシメタルハ遺憾トスヘシト雖モ、特ニ殖民部ニ於テハ他部ノ索莫タルニ似ス盛大ノ設備ヲ遂ケ、多數ノ出品ヲ成シ、以テ暗ニ其ノ富源ノ無窮ナルヲ示シタルカ如キハ其ノ意ノ在ル所ヲ推知スルニ難カラス。將タ彼ノ列國街ニ於ケル英國特別館ノ建築並ニ列品ハ自ラ自重尊大ノ趣ヲ存シ、巍然トシテ列國ノ間ニ吃立シ、大ニ異彩ヲ放チタルカ如キ、能ク其ノ國風ヲ表彰スルモノトイフヘク、其ノ他二等國以下ニ至テモ各其ノ分ニ應シテ、孰レ劣ラヌ壯觀ヲ呈シタリ。就中匈牙利ハ特ニ其ノ出品ヲ盛ニシ、各部ニ於テ動モスレハ墺國ヲ凌カントスルノ色アリ、鬱勃タル國民ノ英氣ヲ觀ルニ足ル。佛國ニ至テハ固ヨリ主催國タルカ故ニ、各部何レモ略各國ノ半ニ相當スル場處ヲ獨占シ、各國ヲシテ不平ヲ漏ラサシムルニ至ル、其ノ出品ノ饒多ナリシハ固ヨリ當然トイフヘキモ、各部ヲ通シテ優等ノ出品少カラス、殊ニ美術及ヒ優等工藝ノ部ニ於テハ、其ノ優秀卓越ノ作品ニ富メルコト列國ノ能ク企及スル所ニアラス、以テ其ノ舊來ノ名聲ヲ確ムルニ足レリ。

顧フ本邦人出品ヲ見ルニ我事務局ニ於テハ當初ヨリ最モ出品ノ撰擇ヲ愼ミ、務メテ國家ノ進運ヲ表シ、本邦ノ實形ヲ反映セシメンコトヲ期シ、品類ノ整正完備ヲ圖リ、偏重偏倚ノ弊ニ陷ルヲ避ケ、出品ニ種々ノ制限ヲ附シ、嚴重ニ之ヲ取捨シタルコト亦第二編ニ於テ述フル所ノ如シ。幸ニシテ其ノ出品ヲ通シテ概ネ佳評ヲ博シ、試ニ之ヲ往年ノ博覽會ニ比スルトキハ一層ノ成効ヲ得タルヲ疑ハスト雖モ、晩近數年間世界各國ノ進歩ハ眞ニ異常ナルモノアリ、本邦ノ出品又以テ他ノ各國ニ比スルニ過去十年間本邦工藝ノ進歩ニ及ハサルモノアルヲ感シタリ。本邦出品物中最モ重要ナルモノニシテ、繊物、刺繍、陶磁器、金屬器ノ類ハ實ニ本邦各部出品ノ心髄タリ。然ルニ之ヲ各國同種ノ出品ニ比スルニ概シテ意匠ノ變化ニ乏シク、技術上改良ノ點少ク、徒ニ舊技ヲ追フニ過ギサルノ感ナシトセス、晩近歐洲諸國頻リニ工藝ノ發達ニ力ヲ致シ、着々改良ノ實ヲ擧ケ競フテ新奇巧妙ノ作品ヲ出シ、之ヲ十年以前ニ比スレハ眞ニ面目ヲ一新セリ。此ノ間ニ立テ本邦ハ依然トシテ舊技能ヲ反覆スルノ感ヲ抱カシメタルハ眞ニ嘆スヘキ所ニアラスト雖モ、其ノ果シテ能ク本邦各種事業ノ進歩ヲ遺憾ナク表彰シ、列強ト肩ヲ駢フルノ實ヲ示シタルヤ否ヤニ至テハ報告者等ノ容易ニ雅言シ能ハサル所ナリ。今茲ニ本邦ノ出品並ニ之ニ對スル諸般ノ用意ニ付キ本博覽會ノ成蹟ニ徴シ、其ノ特ニ短所ト認ムヘキ所ヲ指摘シ、聊將來ノ參考ニ資セントス。蓋シ是レ報告者ノ光榮タル義務ナリト信スレハナリ。

第一　本邦出品ニ就キ事務局ニ於テ撰擇ニ心ヲ用ヒタルコトハ前ニ述フル所ノ如シト雖モ、倘實際其ノ出品ニ就テ之ヲ見ルニ及ヒテ其ノ撰擇ノ一層嚴密ナラシムルノ必要ヲ認メタリ。各國ノ出品ニ就テ之ヲ見ルニ各部必ス特ニ雄大宏壯ノ出品ヲ備ヘ卓然トシテ眸ニ其ノ部ヲ代表セル、由ホ以テ又全部ノ壯觀ヲ添スルモノノ如シ。本邦出品モ亦往々壯大ノ作品タキニアラサルト雖モ、概シテ細小同品等ノ多ク、雜然相併ンテ互ニ其ノ色彩ヲ奪フノ趣アリ、爲ニ大体ノ觀ニ於テ甚タ昂ラス。換言スレハ彼レハ一國出品者ノ系統的ニシテ、我レハ烏合的ナリ、彼レハ一國出品者ノ協同ヲ表示シ、我レハ各個ノ競爭ヲ意味スルモノト謂ハン歟。願フニ萬國博覽會ハ出品者各自ノ技巧勢力ヲ角スルヨリハ、寧ロ各國間ノ實力ヲ爭フノ場タリ、從テ其ノ出品ノ撰擇ハ出品者各自ノ便ヲ謀ルヨリハ、寧ロ一國事業ノ大勢ヲ代表セシムルノ方針ヲ以テ之ヲ取捨スルヲ要ス。場所限リアルノ場處ニ於テ徒ニ同一樣ノ物品ヲ多數ニ陳列スルカ如キハ甚タ策ノ得サルモノト謂ハサル可ラス。彼ノ特ニ國費ヲ以テ優秀ノ作品ヲ募リ、又ハ其ノ費ヲ補助スル等ノ措置アルハ所以ノモノハ實ニ此ノ趣旨ヲ以テ各部ノ代表者ヲ得ントスルニ外ナラス。而シテ其ノ成績尚遂ニ是ノ如クナルモノハ抑モ實力ノ及ハサルニ由ルカ、將タ用意ノ足ラサルニ座スルカ。要スルニ將來ニ於テ最モ注意ヲ要スル所ナリトス。

第二　本邦出品ニ用ヒタル用意甚タ疎漫ナリシハ各部ニ於テ明ニ認ムル所ナリ。本邦出品ハ其ノ陳列裝飾ニ關ス

裏ニ同情ヲ之ニ寄セシムルニ至ル。蓋シ陳列裝飾ノ方法如何ハ出品ノ光彩ヲ煥發スルニ付最大緊要事タルコトハ茲ニ牒々ノ論ヲ要セスシテ明ナル所ナリ。將來是等ノ設備ニ付テハ獨リ政府ノ施設ニ依賴セス、出品者自ラ奮テ之ニ當ルノ覺悟ナカルヘカラス。蓋シ本邦出品者ト雖モ亦固ヨリ之ヲ知ルモノ多カランモ、國土ノ隔絶セル、比較的資力ノ豐富ナラサル等ノ事情ニ依リ、己ムヲ得ス是ニ至ルモノナルヘシ。然トモ一タヒ博覽會場内ニ入テ目前ニ本邦部ノ落莫蕭條タルヲ見ルトキハ誰カ赧然タラサルヲ得シヤ。然ラハ則チ之ヲ如何セハ可ナラシ、他ナシ、出品者ノ共同一致ヲ促ニアルノミ。獨逸其ノ他各國ヲ見ルニ共同出品、共同陳列ノ手段ヲ取リタルモノ甚タ多ク、彼等カ各個ノ便宜ヲ犧牲ニ供シテ專ラ大体ノ壯觀ヲ希圖シ、一般ノ聲譽ヲ博シテ間接ニ自己ノ利益ヲ擧ケントスルノ策ニ出ツルモノタルコトヲ想見スヘシ。顧フニ各自相爭フテ其ノ譽ヲ專ニセントスルモ、獨力以テ世ノ注意ヲ惹クモノハ是レ極テ有數ノモノニ限リ、多數者ニ於テ强テ其ノ顰ニ倣フトキハ自己ニ損アリテ他ニ益ナク、遂ニ相共ニ得ル所ナクシテ已マンノミ。彼等ハ蓋シ能ク此ノ理ヲ解スルモノナリ。既ニ多數ノ共同アリ、即チ資金ヲ得ルニ易キハ勿論、從テ餘力ヲ裝飾ニ用ヰルノ便固ヨリ單獨行動スルモノヽ比ニアラサルナリ。本邦ノ出品者モ亦此ノ理ニ由テ行動セハ多ク資ヲ費スコトナク、甚シキ煩勞ヲ忍ラコトナクシテ萬般ノ裝置完備ヲ期スルコトヲ得ルニ庶幾カンカ。特ニ本邦ノ如キ商工業尚概シテ小規模ナル場合ニ於テハ最モ此ノ方針ニ出ルノ適當ナルヲ認ム。

第三　本邦ノ出品概シテ好評ナリシト雖モ、其ノ出品ノ種類ハ多ク本邦傳來ノ舊技ニ依ルモノニシテ、新規ニ發ル達タシ所謂文明的事業ノ表示ニ於テ尚甚タ缺ケタリ。蓋シ本邦傳來ノ特技ハ因ヨリ之ヲ守ルヘシト雖モ、而モ本邦將來立國ノ基礎ハ獨リ之ノミニ依賴スヘカラサルハ勿論ニシテ、盛ニ文明ノ利益ヲ採テ之カ應用ヲ勗ムヘキハ維新以來動カスヘカラサル所ノ國是ナリ、而シテ世ニ本邦長足ノ進歩ヲ歌フモノ亦之ヲ意味スルモノニ外ナラス。況ンヤ廿七八年戰役以來本邦ノ武威赫々トシテ宇内ニ輝クアリ、是ノ時ニ當リ萬國博覽會ノ擧アルハ實ニ千歳ノ一遇トイフヘク、宜ク盛ニ新規文明ノ事業ヲ發揚シ、天下公衆ヲシテ本邦ノ獨リ武力ニ長シタルノミニアラス、社會萬般ノ事業ニ於テ敢テ文明ヲ以テ自ラ許ス所ノ各國ニ劣ラサルノ實アルヲ知ラシムヘキナリ。然ルニ却テ比較的冷澹ニ此ノ好機ヲ逸シ去リ、觀覽者ヲシテ往々尚舊日本ノ態ヲ想ハシメタルハ豈遺憾ナラスヤ。若シ次回再ヒ萬國博覽會ノ擧アラントキハ必ヤ先ツ此ノ一事ヲ記シ、主トシテ新日本ヲ代表スルニ足ルノ出品ヲ促サンコトヲ切望シテ已マサルナリ。

第四　各國ノ出品者ハ獨リ其ノ出品ニ力ヲ盡スノ厚キノミナラス、之ニ關スル詳細ナル說明書等ヲ添ヘ且多數ニ之ヲ印刷シテ廣ク公衆ニ配布スル等最モ廣告ニ務メタルモノ多シ。本邦出品者ハ概シテ此等ノ用意ナク、一旦其ノ作品ヲ博覽會場ニ輸致スルヤ徒ニ拱手シテ人ノ觀ルニ任セ、之カ說明ニ勗ムルモノ甚タ少シ。殊ニ本邦ノ事情ハ歐米人ノ多ク理解セサル所ナルヲ以テ、單ニ出品其ノモノノミヲ以テ彼等ノ信用ヲ惹クコト甚タ難キノミナラス、審査上往々正鵠ヲ誤ラシメムルノ虞ナシトセス。左レハ將來ニ於テハ出品者各自一層此ノ點ニ注意シ、主

催國ノ國語ヲ以テ解說書ヲ作リ、之ヲ配布スル等出品ノ性質、各自事業ノ勢力等ヲ明カニスルヲ期スルコト最モ肝要ナリトス。

終リニ臨シテ報告書編纂ノ事務ニ就テ一言セント欲ス。總則ニ關スル佛國事務官長ノ報告書中ニ曰ク「既往ニ於テ失錯ノ甚シカリシハ報告委員長ノ任命極テ遲ル、ニアリ「ジュール、シモン」ハ千八百七十八年ノ大博覽會後ニ於テ既ニ此ノ事ヲ論難シタリ、斯ル名譽ヲ有シ且重荷アル要務ヲ期ニ迫リ就任セシムルハ主務者ノ苦心勤勞ヲシテ二層繁劇ナラシムルハ實驗ニ徵シ明カナリトス、故ニ千九百年ニ當リテハ博覽會事務ノ始メヨリ報告委員長ヲ撰任シ其ノ進行ノ時期ニ從ヒ、逐次必要ノ材料ヲ集ムルヲ得セシムヘシ」ト。今翻テ本邦ニ於ケル報告事務ヲ見ルニ亦同一ノ嘆ナキ能ハス。

抑萬國博覽會ノ擧タルヤ、佛國ニ於テハ凡ソ十年ヲ以テ一回之ヲ開設シ、其ノ間他ノ諸國ニ於テ間々臨時ニ之ヲ行フモノアリト雖モ、本邦政府ノ之ニ參同スルハ概ネ五年ニ一回、十年ニ一回ニ過キス。故ニ前回ノ當局者ハ多ク次回ノ門外漢タリ、回ヲ重スル毎ニ少クモ當局者ノ大部分ヲ更新スルハ從來ノ例ニ徵シテ免レサル所トス。是ニ於テ其ノ間ノ連鎖トナリ、前回ニ收メ得タル經驗ヲ次回ノ博覽會ニ應用シ、過ヲ再セシメサル所以ノモノ、主トシテ之ヲ報告書ニ俟タサルヘカラス。是レ報告書ノ忽カニス、ヘカラサル所以ノ一ナリ。次ニ博覽會ハ各國ノ精華ヲ一堂ニ集メラ所謂活教育ヲ天下民衆ニ與フル所以ニシテ、活智識ヲ研クノ機實ニ之ニ如クモノナシ。左レハ各國ヨリ學者、技術家ノ集リ來リタル者固ヨリ多々ナルノミナラス、附近諸國或ハ國資ヲ投シ、或ハ團体ノ費用ヲ以テ多數ノ職工ヲ巴里ニ派遣シ、實地ニ就テ其ノ狀況ヲ視察セシムルニ至リタルハ、既ニ第一編第十章ニ於テ述ヘタル所ノ如シ。本邦政府モ亦是ニ見ルアリ、國資ヲ投シ、其ノ他直接間接ニ種々ノ便宜ヲ圖リ、成ルヘク多數者ノ渡航ヲ促カシタレトモ、東西遠隔ノ地交通ニ不便ニシテ、且失費多キハ彼ノ附近諸國ノ比ニアラス、是レカ爲メ一層廣ク關係者ヲ渡航セシメ、親シク其ノ狀況ヲ視察セシムルコト能ハサリシハ遺憾トセサルヘカラス。殊ニ本邦ハ新進ノ國、尚彼レニ學フヘキ所一層多キニ於テオヤ。即チ知ルヘシ、一般本邦當業者ヲシテ博覽會ノ狀況ヲ傳ヘ、之ニ依テ採ルヘキハ採リ、戒ムヘキハ戒シムルヲ得セシムル所以ニ於テ、亦大ニ報告書ニ俟ツ所アルヲ。宜シク各部ノ出品ニ就テ、巨細トナク其ノ狀況ヲ記述シ、人ヲシテ目親シク之ヲ視ルノ感アラシムヘキナリ。是レ報告書ノ重要ナル所以ノ二ナリトス。詳言レハ第一ノ目的ノ爲メニハ主催國各般ノ施設、之ニ對スル各國ノ關係、並ニ本邦當局者ノ擧措進退一切ヲ擧ケテ仔細ニ之ヲ記述シ、其ノ實際ノ利害得失ヲ詳ニシ、以テ後世ノ參考トナスヘク、又第二ノ目的ノ爲ニハ各部出品ヲ技術的ニ研究シテ著キ斯發明、盛大ナル出品卓越ナル技能ヲ探テ之ヲ本邦人ニ紹介シ、並ニ本邦及ヒ各國出品ヲ衡査品騭シ、其ノ長短ヲ批判シ、當業者ヲシテ依ル所ヲ知ラシメンコトヲ期セサルヘカラス。是ノ二ノ目的ヲ達スルハ實ニ容易ノ業ニアラストス。殊ニ第二ノ目的ニ關シテハ各專門ノ智能ヲ籍ラサルヘカラス、繁劇ナル當局者ヲシテ日々事務ニ軼掌スルノ傍、之ニ當ラシムルカ如キハ、到底爲シ難キ所トス。左レハ最初ヨリ特ニ報告ノ主務者ヲ置キ、主トシテ報告編纂ノ任ニ當ラシメ、且ツ愈開會ノ後ニ

23/6/35

至テハ少クモ重要ノ部類ニ關シテ特ニ專門家ヲ現場ニ派遣シ、出品ニ關スル詳細ノ報告ヲ爲サシムル等ノ用意ナカルヘカラス。本報告者等ハ多クハ事務局閉鎖後ニ至リ自ラ願ミスシテ編纂ノ任ヲ冒シタルモノニシテ、編纂上種々ノ困難ヲ感シ、就中出品ノ概評ニ至テハ或ハ之ヲ專門家ニ質シ、或ハ僅ニ備ハレル二三ノ完全ナル報告書ニ採リ、百方苦心セリト雖モ尚往々隔靴搔痒ノ歎ナキ能ハス、實際ノ成績ハ多ク報告者等ノ理想ニ反シタルハ深ク憾ミ且自ラ恥ツル所ナリ。畢竟是レ報告者等カ微力ノ致ス所ナリト雖モ抑又報告者等ニ於テ最初ヨリ其ノ覺悟ナカリシニ基因セスンハアラス。「ピカール」氏ノ報告中上述ノ言アルヲ見テ益此ノ感ヲ深ウスルモノナリ。卷尾聊之ヲ附記ス。觀者其ノ自ラ辨スルニ似タルヲ咎メス、其ノ微意ノアル處ヲ諒トセラルレハ幸甚。

臨時博覽會事務局報告畢

明治三十五年三月廿五日印刷
明治三十五年三月三十日發行

農商務省

東京市京橋區山城町六番地
印刷者　堀田道貫
（電話新橋　一一七七番）
仝所
印刷所　堀田印刷所

28
167

28
167
M

21513